

1 近世

近世以降に属する遺構は、溝2条、土坑55基、ピット60基がある。第1層の土を覆土とする遺構（宝永火山灰以降の遺構）と、IIa層とした茶褐色土を覆土とする遺構および茶色味を帯びた土を覆土とする遺構（宝永火山灰以前）の2種類がある。中世の遺構と区分が難しいものもある。遺物は、陶器272点（3,196g）、石製品8点（443g）、鉄製品24点（634g）、銅製品4点（19g）の合計308点（4,292g）である。

（1）溝

K1号溝（第162図）

覆土上層は宝永火山灰を含む土で埋まっているが、覆土下層は宝永火山灰を含まない土層であり、近世前期もしくは中世に掘削され近世に埋まった遺構と考えられる。全長で20.62mを調査し、東西両端は調査区外に延びている。最大幅は2.42m、深さは0.78m、で断面は皿状を呈している。この溝は西端では浅くなっているが一旦途切れる可能性があるが、直線的に掘られているので、このまま西方へ続いているとすれば、ビア16（下り）区で発見された南北に掘削されているK7号溝と本調査地区の西側で接続もしくは交差する可能性がある。一連の区画施設とも考えられる。本調査地区では、この溝を境に北側と南側では高低差があり、南側は一段低く削平されているのであるが、本溝と同時期に行われた削平であるかどうかは明らかではない。遺物は39点（903g）出土しており、その内訳は瀬戸・美濃系陶器碗8点（34g）・皿4点（39g）・鉢5点（74g）・壺1点（252g）・肥前系陶器皿2点（38g）・鉢1点（8g）・瓶1点（8g）・肥前系磁器碗8点（143g）・瓶1点（7g）・京・信楽系陶器碗2点（11g）、砥石1点（80g）、不明銅製品1点（1g）、鉄滓2点（208g）である。上記以外に本遺構とC99ピットから瀬戸・美濃系陶器鉢が2点（58g）が出土しており、接合する。K1号溝出土遺物（第168図、第21～23表、図版47・50）

k55は瀬戸・美濃系陶器の壺、k56は砥石、k57は鉄滓である。

K4号溝（第162図）

調査区西側5G-38グリッドに位置し、全長2.80mを調査した。最大幅は0.78mで、耕作土を覆土として、断面は箱形を呈している。遺物は出土していない。

（2）土坑

近世の土坑は、55基確認されている。幅のある長方形を呈するもの、幅の狭い長方形を呈するもの、幅が狭く長さが2m以上に及ぶ超長方形を呈するもの、直径0.5m程度の円形を呈する小形のもの、直径が1m以上の円形を呈する大形のもの、不定形もしくはその他の形状のもの、等に分けられる。3種類の長方形を呈するタイプは、軸方向がやや西へ振れた南北方向のものとそれにほぼ直交する東西方向のものがあるが、いずれも覆土の質から耕作に関連する遺構と推定される。これらの土坑の軸方向は、K1号溝の走向とは若干異なる方向でほぼ揃っている。小型の円形を呈する土坑も、覆土の状況からは耕作に関する遺構であると考えられる。大型の円形を呈する土坑は、調査区北西部に3基まとまっている。この周辺は旧地形では調査区内で最も小高い位置になるのであるが、現状では削平されて平らになっていて、耕作関連と推定される土坑は分布していない。削平を受けた結果によるものかもしれないが、大型の円形土坑が分布することと関連している可能性がある。大型の円形土坑のうちの1基であるK70号土坑は、木桶（棺桶？）の痕跡が認められたので墓坑の可能性があり、並んでいる他の2基も同じ用途であることが考えられる。遺構の種類の偏在は、土地利用が同一ではないこと、もしくは時期の異なる土地造作が行われていることが反映されて

いる結果であろう。

なお、K土坑の覆土は、宝永火山灰の有無により二通りに分けられる。K1～9・11～13・21・34・35・37～41・46号土坑は、茶褐色の砂質土で宝永火山灰を含む。K10・15～20・22・23・25～29・31～33・36・40・44・47・48・50・53・63～66号土坑は茶褐色土で宝永火山灰を含まない。

K1号土坑(第163図)

ビア16(上り)区北東、5H-38グリッドに位置する。平面は長円形を呈す。主軸はN-10°-Wを指す。長軸3.48m、短軸0.40m、深さ0.10mを測り、断面は逆台形を呈する。出土遺物は、肥前系磁器鉢片1点(2.0g)である。

K2号土坑(第163図)

ビア16(上り)区北東、5H-38・39グリッドに位置する。北側は調査区外に延びる。平面は長円形を呈す。主軸はN-5°-Eを指す。長軸(2.12)m、短軸0.38m、深さ0.12mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K3号土坑(第163図)

ビア16(上り)区北東、5H-38グリッドに位置する。平面は長円形を呈す。主軸はN-5°-Eを指す。長軸1.04m、短軸0.38m、深さ0.06mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K4号土坑(第163図)

ビア16(上り)区北東、5H-38グリッドに位置する。平面は長円形を呈す。主軸はN-5°-Eを指す。長軸(0.96)m、短軸0.34m、深さ0.06mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K5号土坑(第163図)

ビア16(上り)区北東、5H-38グリッドに位置する。平面は長円形を呈す。主軸はN-6°-Wを指す。長軸(1.50)m、短軸0.40m、深さ0.06mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K6号土坑(第163図)

ビア16(上り)区中央北半、5H-38グリッドに位置する。平面は長円形を呈す。主軸はN-5°-Wを指す。長軸2.48m、短軸0.34m、深さ0.06mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は 肥前系磁器碗1点(1.4g)が出土している。

K7号土坑(第163図)

ビア16(上り)区中央北半、5H-38グリッドに位置する。平面は長円形を呈す。主軸はN-9°-Wを指す。長軸1.82m、短軸0.34m、深さ0.04mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K8号土坑(第163図)

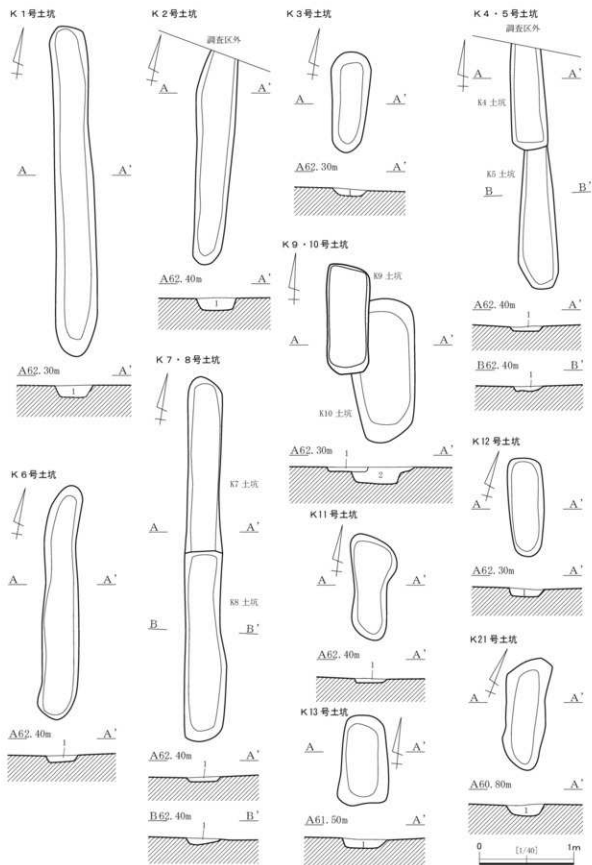
ビア16(上り)区調査区中央北半、5H-38グリッドに位置する。平面は長円形を呈す。主軸はN-9°-Wを指す。長軸1.98m、短軸0.38m、深さ0.06mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K9号土坑(第163図)

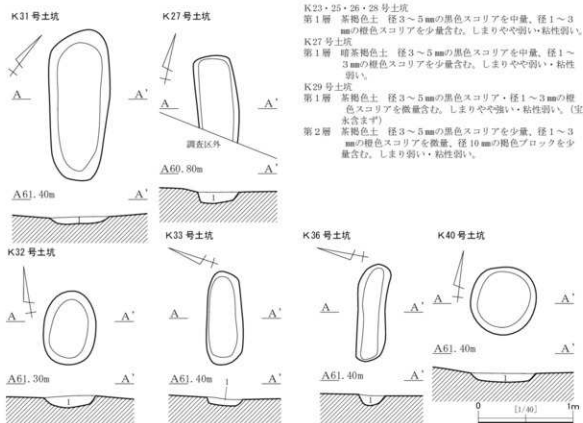
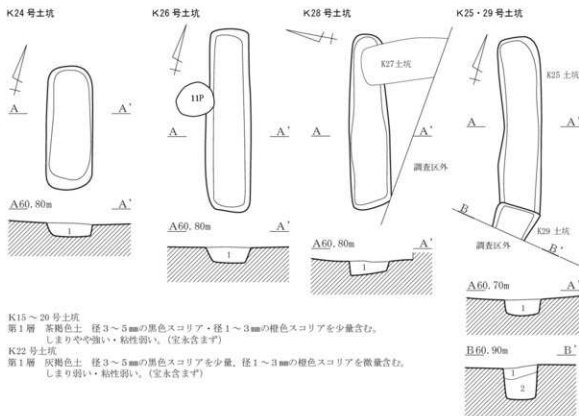
ビア16(上り)区中央、5H-38グリッドに位置する。平面は長円形を呈す。主軸はN-0°を指す。長軸1.16m、短軸0.42m、深さ0.04mを測り、断面は逆台形を呈する。瀬戸・美濃系陶器鉢片1点(9g)が出土している。

K10号土坑(第163図)

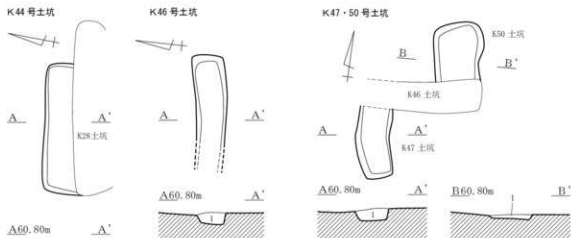
ビア16(上り)区中央、5H-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-0°を指す。長軸1.50



第163図 K1～K13・21号土坑 [1/40]



第165図 K24・25～29・31～33・36・40号土坑 [1/40]



K31 ~ 33・36・40・47・48・50号土坑

第1層 茶褐色土 径3~5mmの黒色スコリア・径1~3mmの橙色スコリアを少量含む。
しまり弱い・粘性弱い。(宝水含まず)

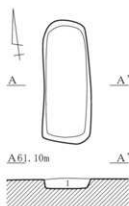
K44号土坑

第1層 灰茶褐色土 径3~5mmの黒色スコリアを少量、炭化物を微量含む。
しまりやや弱い・粘性弱い。

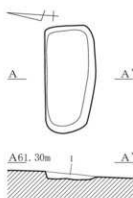
K46号土坑

第1層 灰茶褐色土 宝水火山灰を少量含む、やや砂質。径1~3mmの橙色スコリアを少量含む。
しまり弱い・粘性弱い。

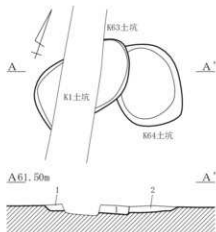
K48号土坑



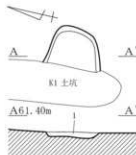
K53号土坑



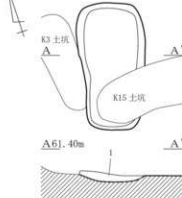
K63・64号土坑



K65号土坑



K66号土坑



K53・63・64・65・66号土坑

第1層 茶褐色土 径3~5mmの黒色スコリア・
径1~3mmの橙色スコリアを少量含む。
しまり弱い・粘性弱い。
第2層 茶褐色土 径3~5mmの黒色スコリア・
径1~3mmの橙色スコリアを少量含む。
しまり弱い・粘性弱い。
色調1層よりやや暗い。



第166図 K44・46~48・50・53・63~66号土坑 [1/40]

m、短軸 0.72 m、深さ 0.20 m を測り、断面は逆台形を呈する。瀬戸・美濃系陶器碗片 1 点 (1g) が出土する。

K 11 号土坑 (第 163 図)

ピア 16 (上) 区北西、5 G-38 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸は N-0° を指す。長軸 1.04 m、短軸 0.34 m、深さ 0.04 m を測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K 12 号土坑 (第 163 図)

ピア 16 (上) 区中央、5 H-38 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸は N-18° -W を指す。長軸 1.02 m、短軸 0.36 m、深さ 0.08 m を測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 13 号土坑 (第 163 図)

ピア 16 (上) 区北壁より中央、5 H-38・39 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸は N-5° -W を指す。長軸 0.92 m、短軸 0.50 m、深さ 0.10 m を測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 15 号土坑 (第 164 図)

ピア 16 (上) 区中央東より、5 H-38 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸は N-87° -E を指す。長軸 1.18 m、短軸 0.46 m、深さ 0.20 m を測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 16 号土坑 (第 164 図)

ピア 16 (上) 区中央、5 H-38 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸は N-85° -E を指す。長軸 2.30 m、短軸 0.40 m、深さ 0.06 m を測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K 17 号土坑 (第 164 図)

ピア 16 (上) 区中央、5 H-37 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸は N-94° -E を指す。長軸 1.74 m、短軸 0.56 m、深さ 0.10 m を測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K 18 号土坑 (第 164 図)

ピア 16 (上) 区中央、5 H-37 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸は N-9° -W を指す。長軸 1.48 m、短軸 0.44 m、深さ 0.12 m を測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 19 号土坑 (第 164 図)

ピア 16 (上) 区中央、5 H-37 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸は N-16° -W を指す。長軸 1.56 m、短軸 0.52 m、深さ 0.14 m を測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K 20 号土坑 (第 164 図)

ピア 16 (上) 区中央、5 H-37 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸は N-9° -W を指す。長軸 1.30 m、短軸 0.40 m、深さ 0.08 m を測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K 21 号土坑 (第 163 図)

ピア 16 (上) 区南東、5 H-37 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸は N-18° -W を指す。長軸 1.18 m、短軸 0.40 m、深さ 0.12 m を測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 22 号土坑 (第 164 図)

ピア 16 (上) 区南東、5 H-37 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸は N-17° -W を指す。長軸 1.12 m、短軸 0.30 m、深さ 0.12 m を測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

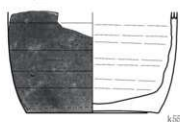
K 23 号土坑 (第 164 図)

ピア 16 (上) 区南東、5 H-37 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸は N-87° -E を指す。



第167図 K68～70・73・75・79号土坑 [1/40・1/30]

K1号溝



k55



k56

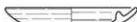


k57

K70号土坑



k58



k59



k60



k63



k64



k65



k66



k67

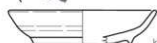


K28号土坑

遺構外



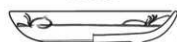
k68



k69



k70



k71



k72



k73



k74



k75

第168図 近世出土遺物 (1) [1/3]

長軸1.68 m、短軸0.62 m、深さ0.16 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 24号土坑 (第165図)

ビア16(上り)区南東、5H-37グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-12°-Wを指す。長軸1.30 m、短軸0.98 m、深さ0.14 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は瀬戸美濃系陶器皿片1点(7.3g)が出土している。

K 25号土坑 (第165図)

ビア16(上り)区南東、5H-37グリッドに位置する。平面は長円形を呈す。主軸はN-17°-Wを指す。長軸(1.80) m、短軸0.38 m、深さ0.16 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 26号土坑 (第165図)

ビア16(上り)区南東、5H-37グリッドに位置する。平面は長円形を呈す。主軸はN-14°-Wを指す。長軸1.90 m、短軸0.48 m、深さ0.18 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 27号土坑 (第165図)

ビア16(上り)区南東、5H-37グリッドに位置し、調査区外に広がりを見せる。平面は楕円形を呈す。主軸はN-17°-Wを指す。長軸1.90 m、短軸0.48 m、深さ0.18 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 28号土坑 (第165図)

ビア16(上り)区南東、5H-37グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-76°-Eを指す。長軸1.82 m、短軸0.40 m、深さ0.14 mを測り、断面は逆台形を呈する。瀬戸・美濃系陶器皿4点(30g)が出土している。

K 28号土坑出土遺物 (第168図、第21表、図版47)

k61は陶器の瀬戸・美濃系陶器の菊花皿である。

K 29号土坑 (第165図)

ビア16(上り)区南東、5H-37グリッドに位置し、調査区外に広がりを見せる。平面は楕円形を呈す。主軸はN-0°を指す。長軸0.44 m、短軸0.24 m、深さ0.36 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 31号土坑 (第165図)

ビア16(上り)区北東、5I-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-38°-Wを指す。長軸1.60 m、短軸0.64 m、深さ0.06 mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K 32号土坑 (第165図)

ビア16(上り)区北東、5I-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-17°-Eを指す。長軸1.15 m、短軸0.80 m、深さ0.10 mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K 33号土坑 (第165図)

ビア16(上り)区中央、5H-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-73°-Eを指す。長軸0.98 m、短軸0.36 m、深さ0.08 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 34号土坑 (第164図)

ビア16(上り)区中央北半、5H-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-93°-Wを指す。長軸0.80 m、短軸0.42 m、深さ0.08 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 35 号土坑 (第164図)

ピア16(上)区中央北半、5H-38グリッドに位置する。平面は方形を呈す。主軸はN-98°-Wを指す。長軸0.56m、短軸0.44m、深さ0.08mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 36 号土坑 (第165図)

ピア16(上)区中央北半、5H-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-85°-Eを指す。長軸1.26m、短軸0.50m、深さ0.10mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K 37 号土坑 (第164図)

ピア16(上)区中央北半、5H-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-4°-Wを指す。長軸0.56m、短軸0.24m、深さ0.08mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K 38 号土坑 (第164図)

ピア16(上)区中央西より、5G-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-84°-Eを指す。長軸(1.05)m、短軸0.60m、深さ0.08mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 39 号土坑 (第164図)

ピア16(上)区中央西より、5G-38グリッドに位置する。平面は円形を呈す。長軸1.14m、短軸0.58m、深さ0.08mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K 40 号土坑 (第165図)

ピア16(上)区中央西より、5G-37・38グリッドに位置する。平面は円形を呈す。長軸0.78m、短軸0.74m、深さ0.10mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 41 号土坑 (第164図)

ピア16(上)区南西、5G-37グリッドに位置する。平面は長円形を呈し、K1溝と並行する。主軸はN-84°-Eを指す。長軸3.26m、短軸0.76m、深さ0.26mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K 44 号土坑 (第166図)

ピア16(上)区南東、5H-37グリッドに位置し、南側をK28号土坑に切られる。平面は長円形を呈す。主軸はN-81°-Eを指す。長軸1.36m、短軸0.28m、深さ0.10mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は肥前系磁器碗片2点(37g)が出土している。

K 46 号土坑 (第166図)

ピア16(上)区南東、5H-37グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-84°-Eを指す。長軸(0.92)m、短軸0.30m、深さ0.12mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 47 号土坑 (第166図)

ピア16(上)区南東、5H-37グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-7°-Wを指す。長軸0.76m、短軸0.36m、深さ0.12mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 48 号土坑 (第166図)

ピア16(上)区中央東より、5H-37・38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-7°-Eを指す。長軸1.28m、短軸0.48m、深さ0.10mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 50 号土坑 (第166図)

ビア16（上り）区南東、5H-37グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-7°-Wを指す。長軸0.62m、短軸0.46m、深さ0.04mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K53号土坑（第166図）

ビア16（上り）区中央西より、5G-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-85°-Eを指す。長軸1.12m、短軸0.54m、深さ0.08mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K63号土坑（第166図）

ビア16（上り）区北東、5H-38グリッドに位置し、中央をK1号土坑に切られる。平面は楕円形を呈す。主軸はN-40°-Eを指す。長軸（1.06）m、短軸（0.66）m、深さ0.08mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K64号土坑（第166図）

ビア16（上り）区北東、5H-38グリッドに位置し、中央をK63号土坑に切られる。平面は楕円形を呈す。主軸はN-37°-Wを指す。長軸0.88m、短軸0.70m、深さ0.08mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K65号土坑（第166図）

ビア16（上り）区北東、5H-38グリッドに位置し、西側をK1号土坑に切られる。平面は楕円形を呈す。主軸はN-90°-Wを指す。長軸0.60m、短軸（0.40）m、深さ0.06mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K66号土坑（第166図）

ビア16（上り）区北東、5H-38グリッドに位置し、南側をK15号土坑に切られる。平面は円形を呈す。主軸はN-20°-Eを指す。長軸1.34m、短軸0.68m、深さ0.08mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

K68号土坑（第167図）

ビア16（上り）区北西、5G-38グリッドに位置する。平面は円形を呈す。長軸1.28m、短軸1.22m、深さ0.22mを測り、断面は逆台形を呈する。肥前系磁器碗1点（1g）が出土している。

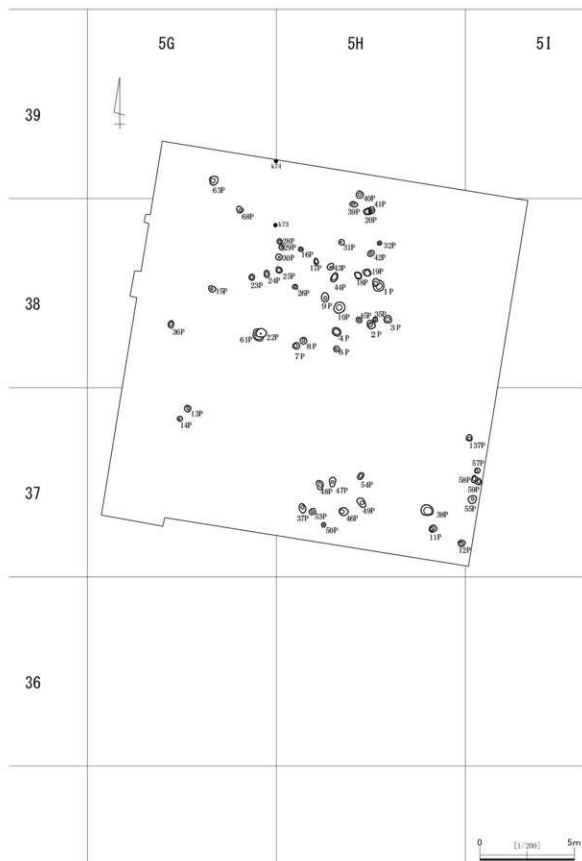
K69号土坑（第167図）

ビア16（上り）区北西、5G-38・39グリッドに位置する。平面は円形を呈す。長軸1.10m、短軸1.00m、深さ0.24mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K70号土坑（第167図）

ビア16（上り）区北西、5G-39グリッドに位置する。平面は円形を呈し、周辺に周溝上状掘り込みがある。北側は一部調査区外に広がりを見せる。長軸1.20m、短軸0.90m、深さ0.50mを測り、断面は逆台形を呈し、土坑底面に周溝を設けている。底面には遺存状態は悪かったが木片の痕跡が残存しており、木桶状のものが設置されていた可能性がある。遺物は44点（1,101g）出土していて、その内訳は瀬戸・美濃系陶器碗2点（59g）・皿1点（5g）・蓋2点（18g）、瀬戸美濃系磁器瓶5点（96g）、肥前系磁器碗11点（150g）・皿6点（175g）、産地不明陶器台1点（29g）・器種不明陶器1点（11g）・不明土製品1点（15g）、砥石2点（164g）、鉄刀子・壺金・棒状鉄製品・不明鉄製品10点（129g）、鉄滓2点（250g）である。その他、本遺構とK76号土坑から産地不明陶器器台2点（56g）があり、これらは接合する。

K70号土坑出土遺物（第168図、第21～23表、図版47・50・52）



第169図 近世ビット全体図及び遺構外出土遺物分布図 [1/200]



第170図 近世出土遺物(2) [1/3・1/2]

k58は瀬戸・美濃系陶器の鉄碗、k59・k60は産地不明陶器の灯明受皿、k63・k64は肥前系磁器の碗、k65は肥前系磁器の皿である。

k69・k70は石製品の砥石、k66は鉄製の刀子、k67は壺金、k68は棒状鉄製品、k71は椀形洋である。

K 73号土坑 (第167図)

ビア16(上り)区中央西より、5G-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-86°-Eを指す。長軸(1.40)m、短軸0.36m、深さ0.16mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

K 75号土坑 (第167図)

ビア16(上り)区北西、5G・H-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-80°-Eを指す。長軸0.50m、短軸0.38m、深さ0.32mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は肥前系磁器瓶1点(279g)が出土する。

K 75号土坑出土遺物(第170図、第21表、図版47)

k72は肥前系磁器の瓶である。

K 79号土坑 (第167図)

ビア16(上り)区南西隅、5G-37グリッドに位置し、西側は調査区外に広がる。平面は不整形を呈す。長軸(0.90)m、短軸3.10m、深さ0.34mを測り、断面はビット状を呈する。遺物は出土していない。

(3) ビット (第169図、第12表)

ビア16(上り)区中央北側と南東隅に集中して60基のビットが検出された。ビットは余り深くないものが多い。K1号溝より南側では、極端に深いものもある。調査時点では、掘立柱建物跡になる組合せは見出せていない。平面形は円形のものが多く、径0.2~0.8m、深さ0.2~0.6mのものがある。3基のビットから遺物が出土していて、K35ビットから鉄滓1点(18g)、K38ビットから肥前系磁器種不明磁器1点(1g)、K137ビットから不明鉄製品1点(17g)出土している。

(4) 遺構外出土遺物

遺物は214点(2,220g)出土しており、その内訳は瀬戸・美濃系陶器碗39点(425g)・皿16点(62g)・鉢20点(233g)・瓶5点(40g)・甕1点(19g)・陶器水注16点(235g)・乗燭1点(2g)、肥前系陶器碗1点(26g)・皿2点(10g)、肥前系磁器碗70点(711g)・皿6点(48g)・鉢6点(171g)・瓶2点(19g)・水注2点(7g)、京・信楽系陶器碗3点(16g)、堺・明石系磁器鉢1点(26g)、常滑系磁器甕2点(41g)、産地不明陶器壺1点(7g)・陶器水注1点(8g)、産地および器種不明陶器1点(16g)・不明土製品1点(32g)。

砥石・硯等4点(195g)、火打石(石英)1点(1g)、不明銅製品2点(17g)、銭貨1点(1g)、不明鉄製品3点(30g)、鉄滓7点(17g)である。

遺構外出土遺物(第168・170図、第21・23・24表、図版47・52)

k73は瀬戸・美濃系陶器の碗、k74は肥前系磁器の碗、k75は銭貨の寛永通宝である。K62は不明鉄製品である。

2 中世

中世の遺構は、掘立柱建物跡6棟、硬化面2箇所、溝2条、土坑24基、ビット187基がある。基本土層のⅡ層に類似する土を覆土の基調とする遺構である。近世とした遺構の一部と区分が難しいものもある。ピア16(上り)区北側に遺構が分布していないのは、近世以降に削平されているためと考えられる。遺物は、陶器7点(93g)、土器10点(196g)、銭貨9点(20g)点、鉄製品7点(56g)である。

(1) 掘立柱建物跡(第172～178図)

掘立柱建物跡はビット調査後に組み合わせを図上で確認したもので、6棟確認された。調査区域外へ続いているものであり、規模の詳細は明らかではないが、1・2号掘立柱建物跡は立て替えと思われる重複遺構である。この3棟以外にも掘立柱建物の柱穴となりそうなビットはあるのであるが、配置を見いだせていない。いずれも方形を基調とする柱穴で構成される。なお、柱穴の覆土はⅡ層の暗褐色土をベースとする。

C1号掘立柱建物跡(第173図)

ピア16(上り)区の南端に重複してあり、5G37グリッドに位置する。南側は調査区外に広がり、調査した部分で2間×4間は確認されるが、全形は不明である。遺物は出土していない

C2号掘立柱建物跡(第172図)

ピア16(上り)区の南端に重複してあり、5G37グリッドに位置する。C1号掘立柱建物と重複するが、南側は調査区外に広がり、調査した部分で2間×3間は確認されるが、全形は不明である。遺物は出土していない。

C3号掘立柱建物跡(第174図)

調査区南東部にあり、5H・137グリッドに位置する。東側調査区域外へ続いていたため2間×3間は確認されるが、全形は不明である。遺物は出土していない

C4号掘立柱建物跡(第175図)

ピア16(上り)区は調査区南東部にあり、5H37・38グリッドに位置する。主軸はN-85°—Eを指す東西棟で1軒×4間が確認される。遺物は出土していない

C5号掘立柱建物跡(第176・178図)

調査区南東部にあり、5H・137グリッドに位置する。C4号掘立柱建物跡と同軸で重複する。主軸はN-87°—Eを指す東西棟で、3間×3間が確認される。遺物は出土していない

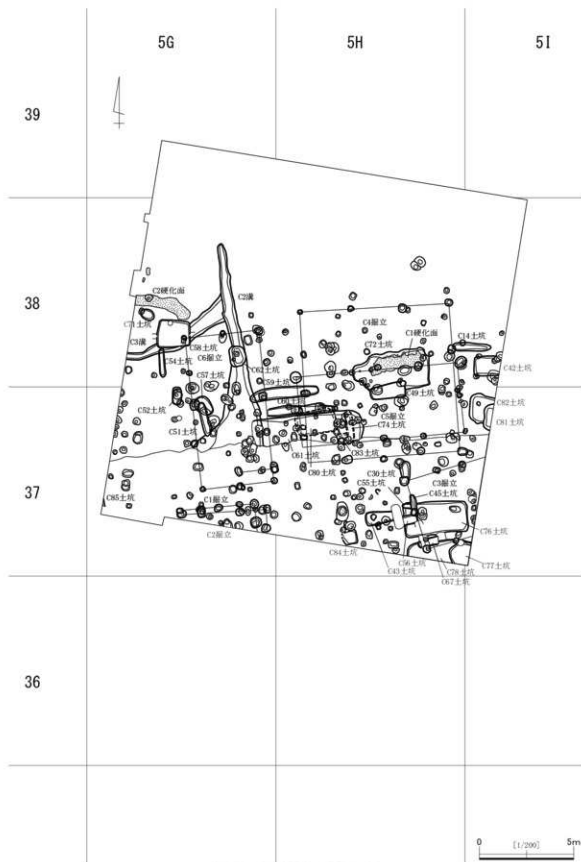
C6号掘立柱建物跡(第177・178図)

調査区中央南にあり、5G37グリッドに位置する。主軸はN-5°—Wを指す、南北棟であり、2間×4間は確認される。遺物は出土していない

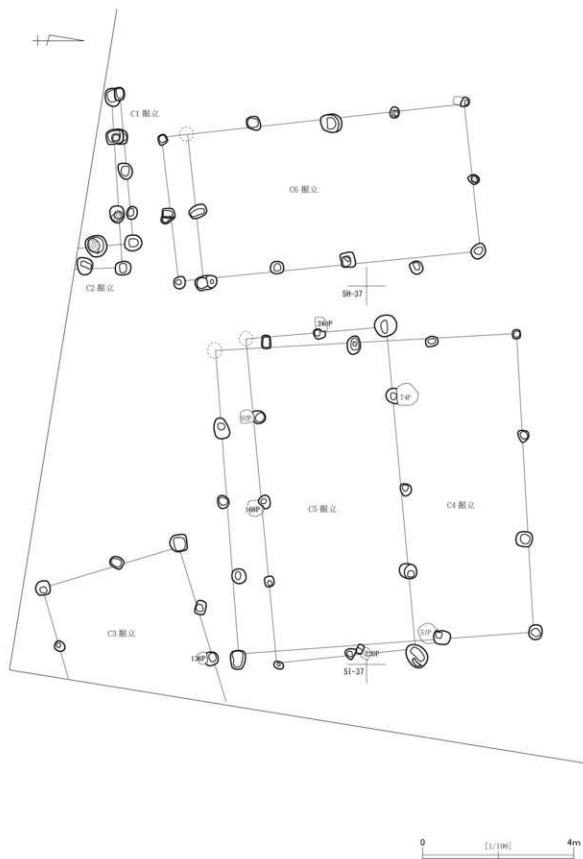
(2) 溝

C2号溝(第179図)

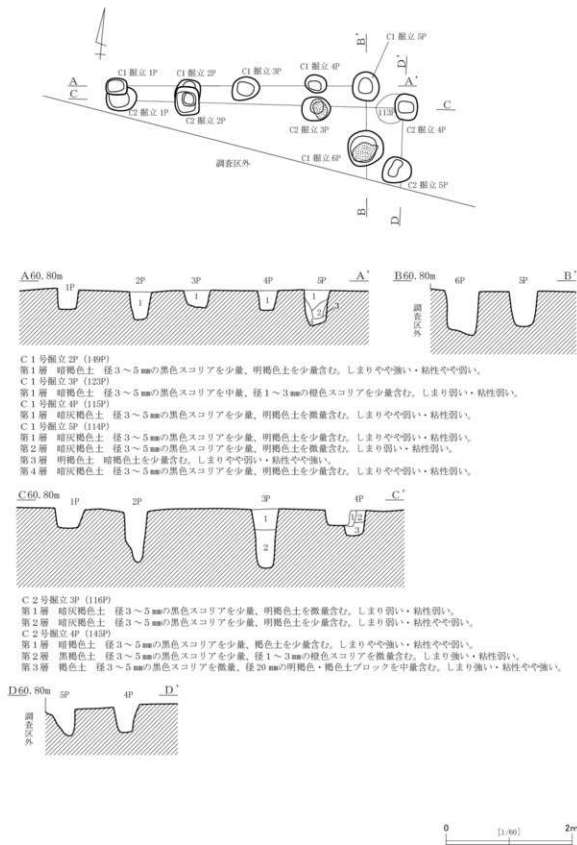
南北方向に作られ、K1号溝に繋がりが終わっている。全長10.57mを調査した。北側は削平されて徐々に浅くなって消滅する。深さ0.14mで皿状を呈す。遺物は3点出土しており、その内訳はかわらけ1点(12g)、

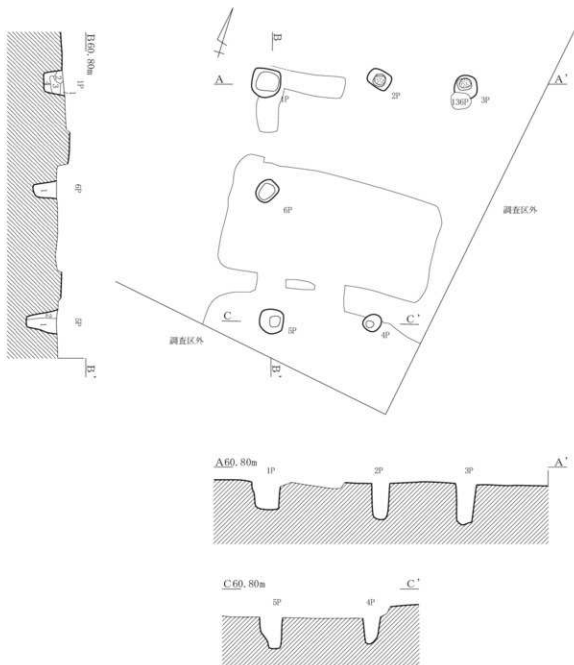


第171図 中世遺構配置図〔1/200〕



第172図 C1～6号竪立建物跡配置図 [1/100]





C 3号掘立 1P (52P)

第1層 暗灰褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量、径1～3mmの褐色スコリアを微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量、明褐色土を微量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。

第3層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、褐色土・暗褐色土のブロックを少量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。

第4層 明褐色土 黄褐色土ブロックを中量、暗褐色土を少量含む。しまり弱い・粘性やや弱い。

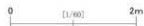
C 3号掘立 2P (138P)

第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、明褐色土を少量含む。しまり弱い・粘性やや弱い。

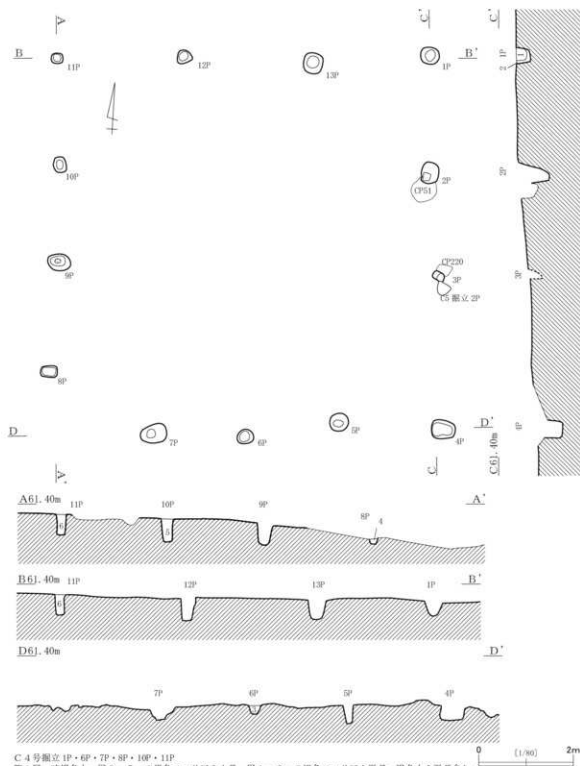
第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量含む。しまりやや弱い・粘性やや弱い。

C 3号掘立 6P (161P)

第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量、明褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。



第174図 C 3号掘立柱建物跡 [1/60]



C 4号掘立 1P・6P・7P・8P・10P・11P

第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを微量、褐色土を微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。1P (269P)

第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量含む。しまりやや強い・粘性弱い。

第3層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを微量、径20～30mmの褐色土ブロックを中量含む。しまりやや強い・粘性強い。6P (142P)

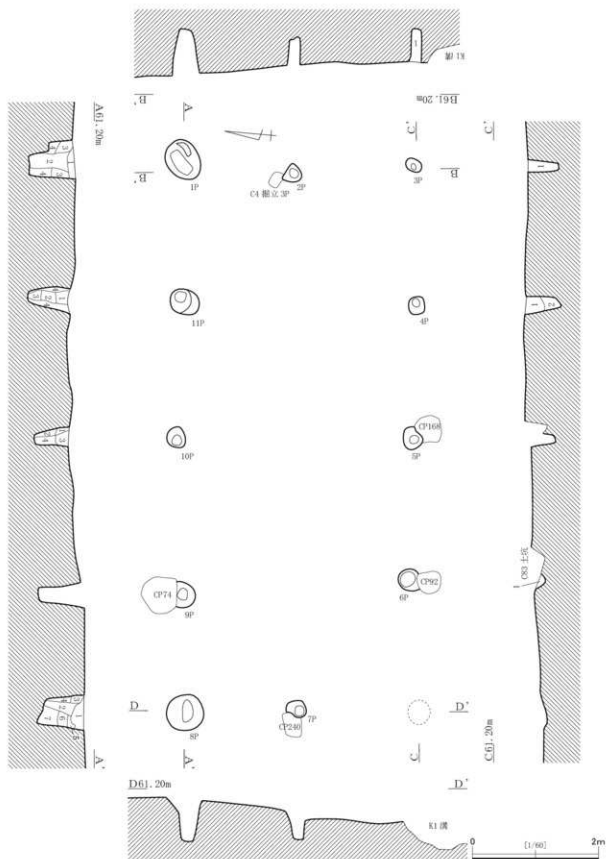
第4層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを微量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。8P (267P)

第5層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを微量、褐色土・明褐色土を少量含む。

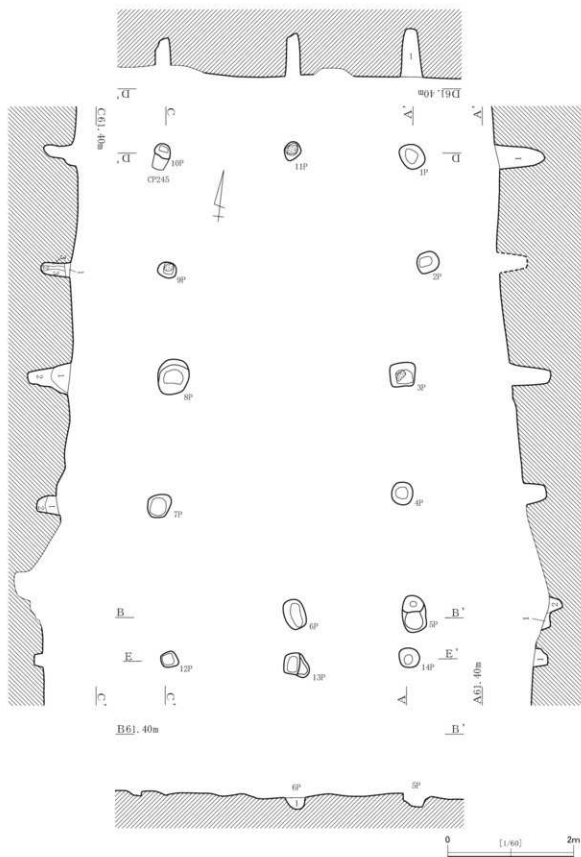
しまりやや強い・粘性やや弱い。10P (242P)

第6層 明褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを微量含む。しまりやや強い・粘性強い。11P (202P)

第175図 C 4号掘立柱建物跡 [1/80]



第176図 C5号掘立柱建物(1) [1/60]



第177図 C6号掘立柱建物跡(1) [1/60]

C5号掘立柱建物跡(2)

C5号掘立柱 1P (CP192)※2層は柱痕

第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリア・径3mm程の橙色スコリアを少量含む。しまり強い・粘性弱い。

第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量。褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性やや弱い。

第3層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量。褐色土を少量含む。しまりやや強い・粘性弱い。

第4層 褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを微量含む。しまりやや強い・粘性やや強い。

C5号掘立柱 3P (CP232)

第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量。褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

C5号掘立柱 4P (CP297)

第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量。暗褐色土を微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量。褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性やや弱い。

第5号掘立柱 6P (CP223)

第1層 褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量。暗褐色土・明褐色土を少量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。

C5号掘立柱 8P (CP73)※2層は柱痕

第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリア・径1～3mmの橙色スコリアを中量。明褐色土を微量含む。しまり強い・粘性弱い。

第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量。明褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

第3層 明褐色土 暗褐色土と明褐色土の混合層。径3～5mmの黒色スコリアを微量。径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまり強い・粘性弱い。

第4層 褐色土 明褐色土 暗褐色土と明褐色土の混合層。径3～5mmの黒色スコリアを微量含む。しまりやや強い・粘性やや強い。

第5層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量含む。しまりやや強い・粘性やや強い。

第6層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを微量。褐色土ブロックを少量含む。しまり強い・粘性やや強い。

第7層 褐色土 暗褐色土と褐色土の混合層。褐色土ブロックを中量。明褐色土を少量含む。しまりやや強い・粘性やや強い。

C5号掘立柱 10P (CP76)※1、2層は柱痕

第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量。褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量含む。しまり弱い・粘性弱い。

第3層 褐色土 暗褐色土と褐色土の混合層。径3～5mmの黒色スコリアを少量。明褐色土を中量含む。しまりやや強い・粘性弱い。

第4層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

C5号掘立柱 11P (CP284)※1～3層は柱痕

第1層 暗灰褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量。明褐色土を微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

第2層 暗灰褐色土 1層より灰白色が強い。径3～5mmの黒色スコリアを中量含む。しまり弱い・粘性弱い。

第3層 暗灰褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量。褐色土を少量含む。しまり弱い・粘性弱い。

第4層 褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量。褐色土・明褐色土を少量含む。しまり強い・粘性やや弱い。

C6号掘立柱建物跡(2)

E61・40m

E'



C6号掘立柱 1P (CP250)

第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量。褐色土・明褐色土のブロックを中量含む。しまりやや弱い・粘性やや弱い。

C6号掘立柱 5P (CP97)

第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量。明褐色土を中量含む。しまりやや強い・粘性やや強い。

第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量。明褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

C6号掘立柱 6P (CP103)

第1層 明褐色土 明褐色土を土体として。暗褐色土を少量。黄褐色土ブロックを微量。径3～5mmの黒色スコリアを少量含む。

しまりやや弱い・粘性やや弱い。

C6号掘立柱 7P (CP302)

第1層 暗褐色土 やや褐色気味あり。径3～5mmの黒色スコリアを中量。径1～3mmの橙色スコリアを微量。褐色土を少量含む。

しまりやや弱い・粘性弱い。

第2層 暗褐色土 黒味あり。径3～5mmの黒色スコリアを中量。褐色土を微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

C6号掘立柱 8P (CP176)

第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量。褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性やや弱い。

第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量。褐色土を中量。径20mm程の明褐色土ブロックを少量含む。

しまりやや弱い・粘性やや強い。

C6号掘立柱 9P (CP291)※2層は柱痕

第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量。褐色土を微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量。褐色土を微量含む。しまり弱い・粘性弱い。

第3層 褐色土 明褐色土を中量。暗褐色土を少量含む。しまりやや強い・粘性弱い。

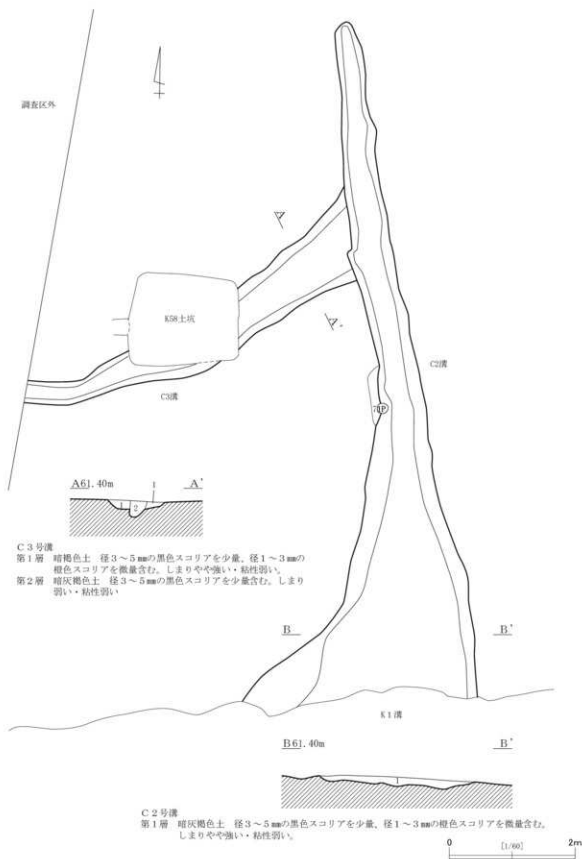
C6号掘立柱 12P (CP153)

第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量。明褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

C6号掘立柱 14P (CP131)

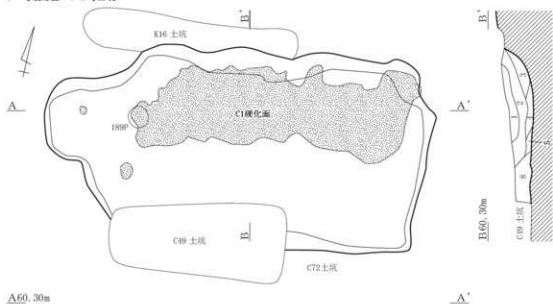
第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリア・径1～3mmの橙色スコリアを微量。明褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

第178図 C5号掘立柱建物跡(2)・C6号掘立柱建物跡(2) [1/60]



第179図 C2・C3号溝 [1/60]

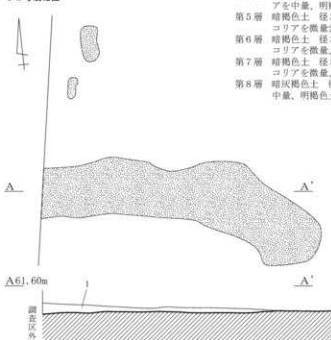
C1号硬化面・C72号土坑



C1号硬化面・C72号土坑

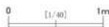
- 第1層 暗灰褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量、径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまり強く硬い・粘性弱い。(上面は硬化している)
- 第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリア・径1～3mmの橙色スコリアを中量含む。しまりやや強い・粘性弱い。(やや灰色帯びた土層)
- 第3層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量含む。しまりやや強い・粘性弱い。
- 第4層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを中量、明褐色土を少量含む。しまりやや強い・粘性弱い。
- 第5層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量、径1～3mmの橙色スコリアを微量含む。しまりやや強い・粘性弱い。
- 第6層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量、径1～3mmの橙色スコリアを微量、明褐色土を微量含む。しまりやや強い・粘性弱い。
- 第7層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量、径1～3mmの橙色スコリアを微量、明褐色土ブロックを中量含む。しまり強い・粘性弱い。
- 第8層 暗灰褐色土 径3～5mmの黒色スコリア・径1～3mmの橙色スコリアを中量、明褐色土を少量含む。しまりやや強い・粘性弱い。

C2号硬化面

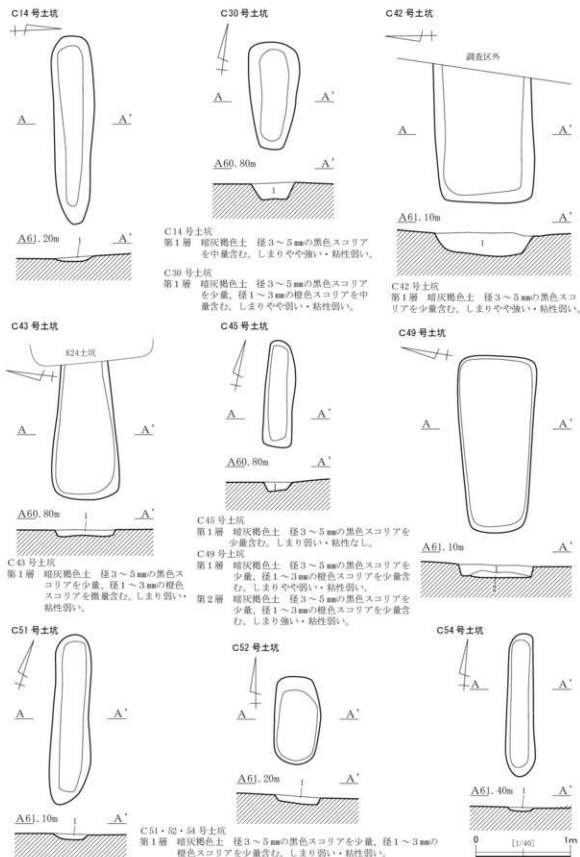


C2号硬化面

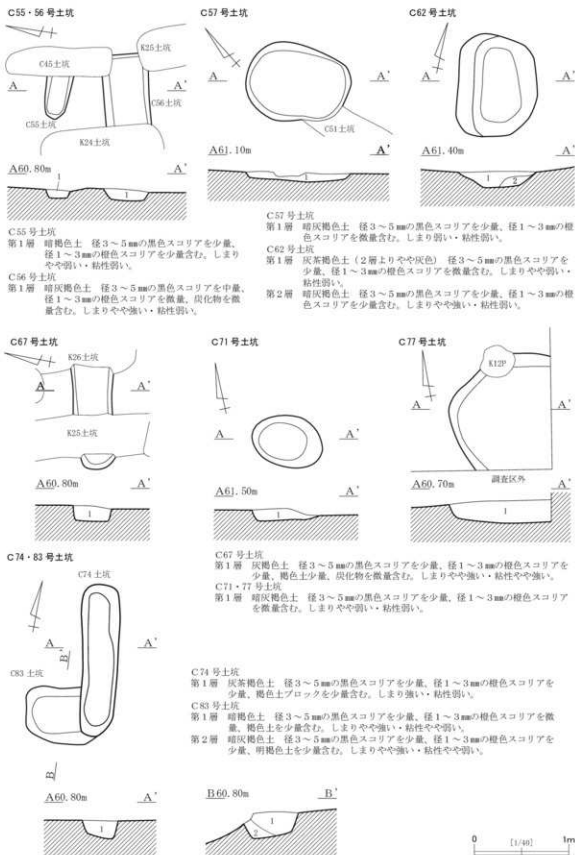
- 第1層 暗灰褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを中量含む。しまり強い・粘性弱い。



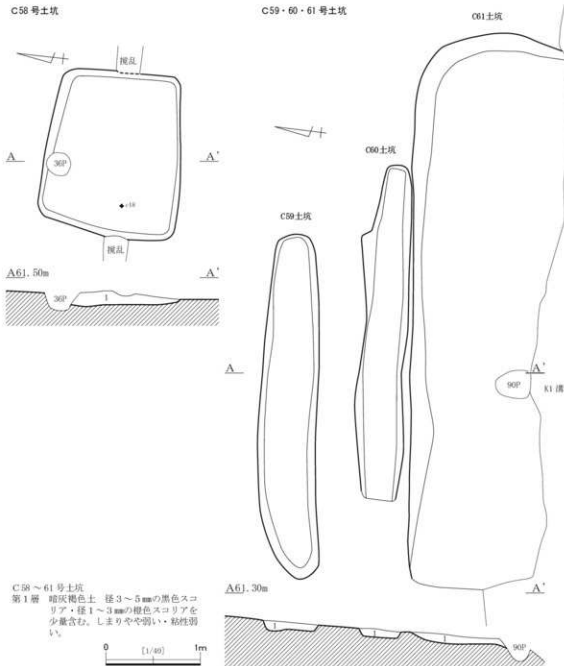
第180図 C1・2号硬化面・C72号土坑 [1/40]



第181図 C14・30・42・43・45・49・51・52・54号土坑 [1/40]



第182図 C55～57・62・67・71・74・77・83号土坑 [1/40]



瀬戸・美濃系陶器碗1点(8g)、瀬戸・美濃系陶器皿1点(2g)である。いずれの遺物も小片のため図化していないが、かわらけは16世紀代のものと推定される。瀬戸・美濃系の陶器は近世に帰属するものである。

本遺構の時期は出土遺物から16世紀代に掘削され、近世段階で埋没したものと考えられる。

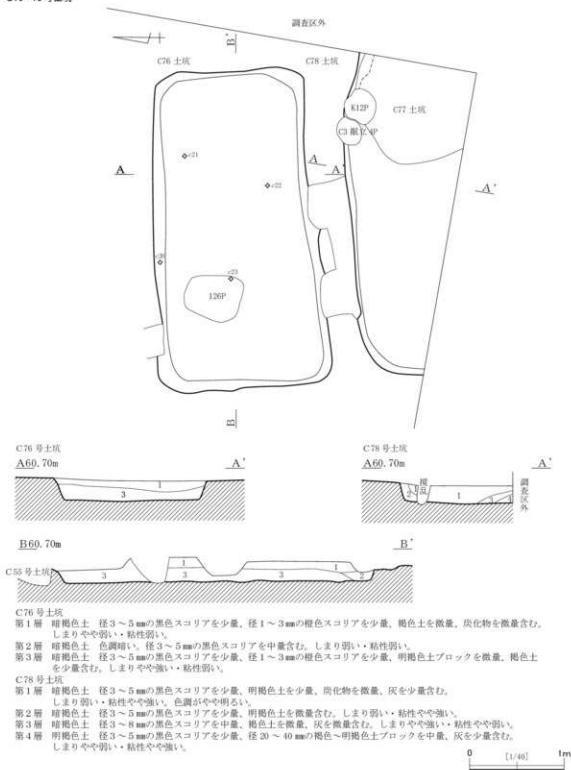
C3号溝(第179図)

C2号溝から分岐して西側調査区域外へ続いている。全長5.54mを調査した最大幅1.24mで、深さ0.28mと浅く、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

(3) 硬化面

硬化面は2箇所あり、C1号硬化面はC72号土坑の覆土上面にあたる。C2号硬化面は調査区西端にある。

C76・78号土坑



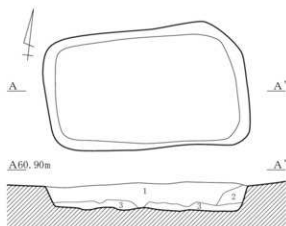
第184図 C76・78号土坑 [1/40]

C1号硬化面 (第180図)

調査区中央南にあり、5 H 37 グリッドに位置する。C72号土坑上面から検出され、長軸2.94m、短軸0.48m 不整形円形の範囲から検出された。遺物は出土していない。

C2号硬化面 (第180図)

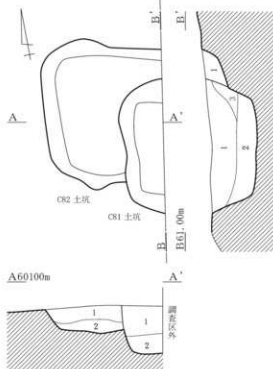
C80号土坑



C80号土坑

- 第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリア・径1～3mmの橙色スコリアを少量、褐色土を少量、炭化物を微量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。
- 第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを微量、褐色土を中量含む。全体的に茶色味のある土層。しまりやや強い・粘性やや弱い。
- 第3層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径30～50mmの明褐色土及び暗褐色土のブロックを中量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。

C81・82号土坑



A60100m

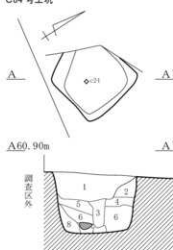
C81号土坑

- 第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量、径1～3mmの橙色スコリアを微量、径10mmの明褐色土ブロックを微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。
- 第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを微量、径10mmの明褐色土ブロックを少量、黒色土を微量、灰を少量含む。しまりやや弱い・粘性やや弱い。

C82号土坑

- 第1層 暗灰褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを微量、褐色土を少量、明褐色土を微量含む。しまりやや強い・粘性やや強い。
- 第2層 暗灰褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを微量、径30～50mmの褐色土ブロックを中量含む。しまり強い・粘性やや強い。

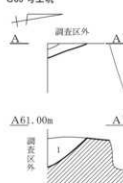
C84号土坑



C84号土坑

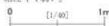
- 第1層 暗褐色土 径3～8mmの黒色スコリアを中量、径1～3mmの橙色スコリアを微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。
- 第2層 暗褐色土 径3～8mmの黒色スコリアを中量、径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。
- 第3層 黒褐色土 径3～8mmの黒色スコリアを多量含む。しまり弱い・粘性弱い。(柱状?)
- 第4層 暗褐色土 径3～8mmの黒色スコリアを多量、径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまりやや強い・粘性弱い。
- 第5層 暗褐色土 径3～8mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまりやや強い・粘性弱い。
- 第6層 黒褐色土 径3～8mmの黒色スコリアを多量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。
- 第7層 暗褐色土 径3～8mmの黒色スコリアを中量、径1～3mmの橙色スコリアを微量含む。しまり強い・粘性弱い。
- 第8層 暗褐色土 径3～8mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを微量含む。しまりやや強い・粘性弱い。

C85号土坑



C85号土坑

- 第1層 黒褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、褐色土を少量含む。若干灰色味あり。しまりやや弱い・粘性やや弱い。



第185図 C80～82・84・85号土坑 [1/40]

調査区西端。調査区外へ続く。5 G 38 グリッドに位置する。長軸 2.94 m、短軸 0.48 m 不整楕円形の範囲から検出された。東西方向へ伸びる細長い硬化面がⅡ層中に形成されている。東西に溝状に検出された以外に、北側に点的に2ヵ所硬化面が検出されていて、これらを含めてC 2号硬化面とした。上面を削平されているためか、西側のほうが硬化の度合いが強いのにたいして、東側のほうがやや低くなり、硬化の度合いが弱い。東側は範囲・形状がはっきりせず消滅する。

遺物は出土していない。

(4) 土坑

土坑は24基あり、幅のある長方形や方形を呈するものと、やや細長い長方形のものがある。やや細長い長方形のものの中には、近世とした同形態のものと時期及び形態の区分が難しいものがある。

C 14号土坑 (第181図)

ピア16(上)区中央東より、5 H・I-38 グリッドに位置する。平面は長円形を呈す。主軸はN-89°-Eを指す。長軸1.96 m、短軸0.40 m、深さ0.08 mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

C 30号土坑 (第181図)

ピア16(上)区南東、5 H-37 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-6°-Wを指す。長軸(1.10) m、短軸0.48 m、深さ0.18 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

C 42号土坑 (第181図)

ピア16(上)区東壁中央付近、5 I-38 グリッドに位置し、東側は調査区外に広がる。平面は隅丸方形を呈す。主軸はN-89°-Wを指す。長軸(1.30) m、短軸1.06 m、深さ0.26 mを測り、断面は鉢形を呈する。遺物は出土していない。

C 43号土坑 (第181図)

ピア16(上)区南東、5 H-37 グリッドに位置し、東側をK 24号土坑に切られる。平面は隅丸方形を呈す。主軸はN-82°-Eを指す。長軸(1.42) m、短軸0.64 m、深さ0.08 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

C 45号土坑 (第181図)

ピア16(上)区南東、5 H-37 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-10°-Wを指す。長軸1.10 m、短軸0.30 m、深さ0.10 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

C 49号土坑 (第181図)

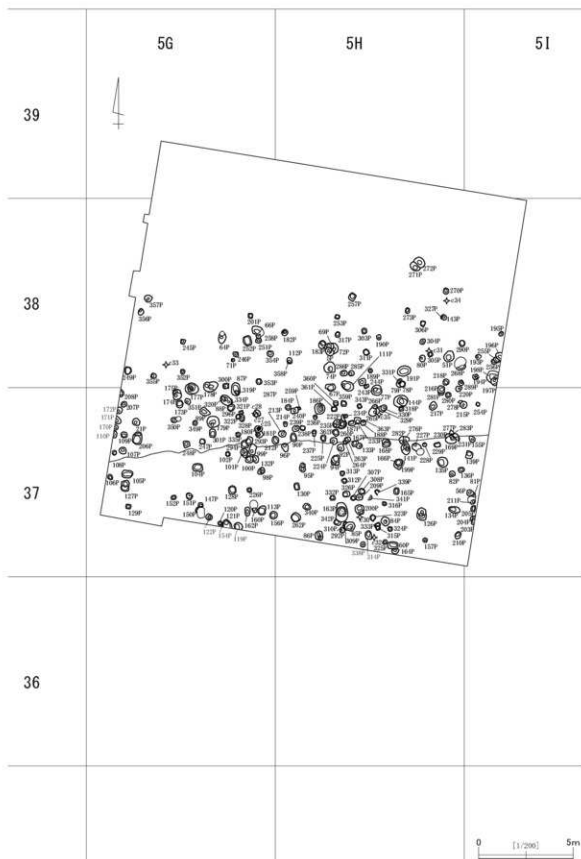
ピア16(上)区中央、5 H-37・38 グリッドに位置し、北側でC 72号土坑と重複する。平面は隅丸方形を呈す。主軸はN-82°-Eを指す。長軸1.84 m、短軸0.76 m、深さ0.14 mを測り、断面は箱形を呈する。遺物は出土していない。

C 51号土坑 (第181図)

ピア16(上)区南西、5 G-37 グリッドに位置し、北側でC 57号土坑と重複する。平面は長円形を呈す。主軸はN-14°-Wを指す。長軸1.80 m、短軸0.38 m、深さ0.06 mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

C 52号土坑 (第181図)

ピア16(上)区南西、5 G-37 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-0°を指す。長軸0.92 m、短軸0.50 m、深さ0.08 mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。



第186図 中世ビット全体図及び遺構外出土遺物分布図 [1/200]

C 54号土坑 (第181図)

ピア16(上)区中央西側、5G-38グリッドに位置する。平面は長円形を呈す。主軸はN-4°-Wを指す。長軸1.54m、短軸0.28m、深さ0.04mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

C 55号土坑 (第182図)

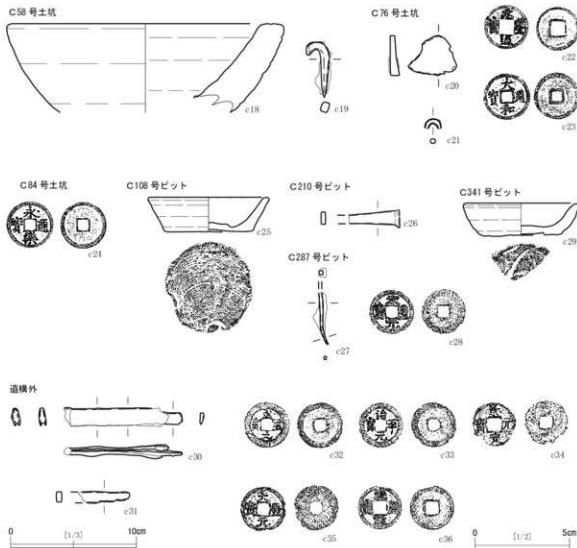
ピア16(上)区南東、5H-37グリッドに位置し、東側をC45号土坑に切られる。平面は長円形を呈す。主軸はN-90°-Wを指す。長軸(0.36)m、短軸0.24m、深さ0.08mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

C 56号土坑 (第182図)

ピア16(上)区南東、5H-37グリッドに位置し、西側をK24号土坑に切られる。平面は長円形を呈す。主軸はN-77°-Eを指す。長軸(0.66)m、短軸0.48m、深さ0.10mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

C 57号土坑 (第182図)

ピア16(上)区中央西側、5G-37グリッドに位置し、南側でC51号土坑と重複する。平面は楕円形



第187図 中世出土遺物[1/3・1/2]

を呈す。主軸は $N-40^{\circ}-W$ を指す。長軸1.10 m、短軸0.80 m、深さ0.20 mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

C 58号土坑 (第183図)

ビア16(上り)区中央西側、5G-38グリッドに位置し、南側でC3号溝と重複する。平面は隅丸方形を呈す。主軸は $N-90^{\circ}-W$ を指す。長軸1.72 m、短軸1.42 m、深さ0.14 mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は6点出土しており、その内訳は瀬戸・美濃系陶器鉢4点(63g)、石製品1点(289g)、鉄製品1点(11g)である。

C 58号土坑出土遺物 (第187図、第27・28表、図版51・52)

c18は石鉢、c19は鉄釘である。小片のため図化していないが瀬戸・美濃系陶器は播鉢で16世紀中ごろの所産で、本遺構は16世紀中ごろに帰属すると考えられる。

C 59号土坑 (第183図)

ビア16(上り)区中央、5G・H-37グリッドに位置し、西側でC2号溝と重複する。C60号・C61号土坑と平行する。平面は長円形を呈す。主軸は $N-82^{\circ}-E$ を指す。長軸3.64 m、短軸0.60 m、深さ0.06 mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

C 60号土坑 (第183図)

ビア16(上り)区中央、5G・H-37グリッドに位置し、西側でC2号溝と重複する。C59号土坑と平行する。平面は長円形を呈す。主軸は $N-86^{\circ}-E$ を指す。長軸3.56 m、短軸0.50 m、深さ0.10 mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

C 61号土坑 (第183図)

ビア16(上り)区中央、5G・H-37グリッドに位置し、南側でK1号溝に切られる。平面は長方形を呈す。主軸は $N-85^{\circ}-E$ を指す。長軸(5.82) m、短軸(1.32) m、深さ0.08 mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は2点(5g)出土しており、その内訳は近世の瀬戸・美濃系陶器鉢片1点(2g)、近世の肥前系磁器碗片1点(3g)が混在する。

C 62号土坑 (第182図)

ビア16(上り)区中央西側、5G-38グリッドに位置し、C2号溝と重複する。平面は楕円形を呈す。主軸は $N-11^{\circ}-W$ を指す。長軸1.06 m、短軸0.78 m、深さ0.24 mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

C 67号土坑 (第182図)

ビア16(上り)区南東、5H-37グリッドに位置し、K25・26号土坑に切られる。平面は長円形を呈す。主軸は $N-77^{\circ}-E$ を指す。長軸(1.08) m、短軸0.40 m、深さ0.16 mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は出土していない。

C 71号土坑 (第182図)

ビア16(上り)区中央西側、5G-38グリッドで、北側にC2硬化面が位置する。平面は楕円形を呈す。主軸は $N-60^{\circ}-W$ を指す。長軸0.70 m、短軸0.56 m、深さ0.12 mを測り、断面は皿状を呈する。検出面で巻貝が出土するが他に遺物は出土していない。

C 72号土坑 (第180図)

ビア16(上り)区中央、5H-37・38グリッドに位置し、南側でC49号土坑に切られる。平面は歪んだ

長方形を呈す。主軸はN-86°-Eを指す。長軸4.06 m、短軸2.50 m、深さ0.30 mを測り、断面は皿状を呈する。上層はC1硬化面となっている。遺物は鉄滓1点(15g)が出土している。

C74号土坑(第182図)

ビア16(上)区中央、5H-37グリッドに位置し、南側でC83号土坑と重複する。長円形を呈す。主軸はN-7°-Wを指す。長軸1.58 m、短軸0.38 m、深さ0.38 mを測り、断面は逆台形を呈する。上層はC1硬化面となっている。遺物は出土していない。

C76号土坑(第184図)

ビア16(上)区南東、5H・I-37グリッドに位置し、C45号土坑に切られる。平面は隅丸方形を呈す。主軸はN-87°-Eを指す。長軸3.34 m、短軸1.62 m、深さ0.25 mを測り、断面は皿状を呈する。遺物は4点(17g)出土しており、その内訳は鉄製品2点(14g)、銭貨2点(3g)である。

C76号土坑出土遺物(第187図、第28・29表、図版51・52)

c20は鉄片、c21は不明鉄製品、c22は元豊通寶、c23大和通寶が出土する。

C77号土坑(第182図)

ビア16(上)区南東隅、5H・I-37グリッドに位置し、南側と東側は調査区外に広がる。平面は円形を呈す。長軸(1.06) m、短軸(1.12) m、深さ0.24 mを測り、断面は鍋底状を呈する。遺物は出土していない。

C78号土坑(第184図)

ビア16(上)区南東隅、5H・I-37グリッドに位置し、東側でC77号土坑に切られ、南側と東側は調査区外に広がる。平面は隅丸方形を呈す。主軸はN-87°-Eを指す。長軸(3.34) m、短軸(1.62) m、深さ0.25 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は瀬戸・美濃系陶器鉢が1点(6g)出土している。

C80号土坑(第185図)

ビア16(上)区中央、5H-37グリッドに位置し、上面でC74号土坑に切られる。平面は隅丸方形を呈す。主軸は東西方向のN-78°-Eを指す。長軸2.16 m、短軸1.42 m、深さ0.30 mを測り、断面は逆台形を呈する。底面は小さな凹凸はあるがほぼ平坦である。遺物は出土していない。

C81号土坑(第185図)

ビア16(上)区中央東側、5I-37グリッドに位置し、東壁際に位置し調査区外に広がる。C82号土坑と重複する。平面は方形を呈し、主軸はN-80°-Eを指す。長軸1.26 m、短軸(0.36) m、深さ0.52 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

C82号土坑(第185図)

ビア16(上)区中央東側、5I-37グリッドに位置し、東壁際に位置し調査区外に広がる。C81号土坑に切られる。平面は方形を呈し、主軸はN-80°-Eを指す。長軸1.54 m、短軸(0.16) m、深さ0.30 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

C83号土坑(第182図)

ビア16(上)区中央、5H-37グリッドに位置し、東側でC74号土坑と重複する。平面は楕円形を呈す。主軸はN-85°-Eを指す。長軸(0.76) m、短軸0.58 m、深さ0.28 mを測り、断面は逆台形を呈する。遺物は出土していない。

C84号土坑(第185図)

ビア16（上り）区南壁際、5H-37グリッドに位置する。平面は方形を呈す。主軸は東西方向のN-17°-Wを指す。長軸0.86m、短軸0.80m、深さ0.63mを測り、断面は箱形を呈する。遺物は2点（7g）が出土しており、その内訳は近世の瀬戸・美濃系陶器皿片1点（4g）と永楽通寶1点（3g）である。

C84号土坑出土遺物（第187図、第29表、図版51）

遺物はc24の永楽通寶が1点（3g）である。

C85号土坑（第185図）

ビア16（上り）区南西隅の壁際で、調査区外に広がる。5G-37グリッドに位置する。平面は不明で、長軸（0.40）m、短軸（0.14）m、深さ0.42mを測り、断面は鍋底状を呈する。遺物は出土していない。

（5）ピット（第186図）

ピットは187基が発見された。C93号ピットからかわらけ1点（13g）、C108号ピットからかわらけ1点（93g）、C163号ピットからかわらけ1点（5g）と鉄滓1点（9g）、C179号ピットから近世の肥前磁器碗片1点（1g）が混在、C210号ピットから鉄製品1点（4g）、C287号ピットから銭貨1点（2g）、鉄製品1点（3g）、C314号ピットから近世の瀬戸美濃系陶器皿片1点（15g）が混在、C341号ピットからかわらけ1点（22g）が出土している。

ピット出土遺物（第187図、第26・28・29表、図版51・52）

c25はC108号ピットから出土したかわらけで15世紀代の所産である。c29はC341号ピットから出土したかわらけで14世紀代の所産である。c26はC210号ピットから出土した鉄製品、c27とc28はC287号ピットから出土した鉄製品と銭貨である。

（6）遺構外出土遺物（第187図、第28・29表、図版51・52）

遺構外から出土した遺物は13点で、その内訳は土器5点（49g）、常滑系陶器鉢1点（21g）、常滑系陶器壺1点（2g）、不明鉄製品2点（22g）銭貨4点（9g）である。

c30・c31は刀子、c33は治平元寶、c34は景定元寶、c35は天元通寶、c36は天口通寶である。2文字目が判然としない。その他、c32の至道元寶が1点（2g）が出土している。

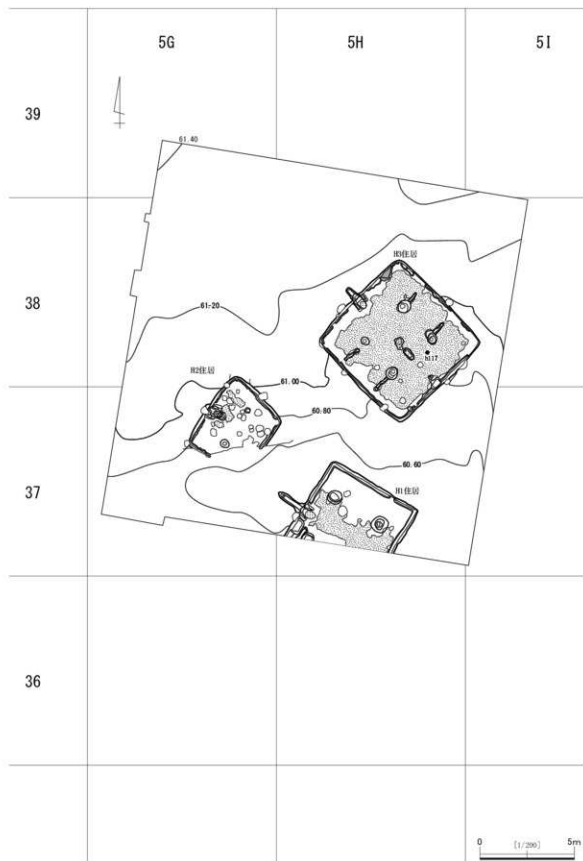
3 古墳時代

古墳時代の遺構は、住居跡3軒である。基本土層の第Ⅲ層に類似する覆土を基調とする遺構である。調査区南側に遺構が分布している。遺物は、土師器2,351点（25,464g）、須恵器32点（391g）、陶器1点（10g）、土製品29点（1,267g）、鉄製品3点（3g）、粘土塊13点（45g）の合計2,429点（27,180g）である。

（1）住居跡

H1号住居跡（第189～192図、図版26）

ビア16（上り）区の南壁際、5H-37グリッドに位置し、南側は調査区外に広がっていて、全体の2/3の調査である。平面は方形を呈すと推定され、主軸はN-56°-Wを指す。長軸5.40m、短軸（4.65）m、深さ0.70mを測る。床面は住居中央に硬化面を帯状に残し、ほぼ平坦になっている。主柱穴は3穴（1P、2P、4P）検出され、調査区外と合わせた4穴となると考えられる。褐色土の柱痕が観察され、深さは0.45～0.60mである。カマドは西壁に設置され、壁の外側14.80mまで煙道は伸びて、煙り出しのため長胴甕2個を連結して用いている。貯蔵穴は、カマドの南側に隣接して設けられていて、平面は隅丸方形を呈し、深さ0.25mを測る。掘り方には、周溝が巡っていて北壁には、間仕切りと考えられる短い溝が2本設けられる。床下土坑も1基確認された。遺物は559点（9,944g）出土しており、その内訳は古墳時代後

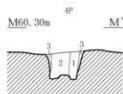
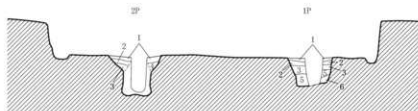


第188図 古墳時代遺構配置図〔1/200〕

- 第13層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、褐色土・明褐色土を中量含む。しまり弱い・粘性やや強い。
 第14層 褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、焼土粒子・粘土粒子を少量含む。しまり弱い・粘性やや強い。
 第15層 明褐色土 暗褐色土・褐色土を少量、まばらに灰白色粘土を少量含む。しまり・粘性強い。よく締まっている（陥り床）
 第16層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、褐色土を少量、明褐色土を中量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。（陥り床）
 第17層 明褐色土 褐色土を中量、黄褐色土を少量、暗褐色土を微量含む。しまり・粘性やや強い。（陥り床）
 第18層 明褐色土 褐色土を中量、暗褐色土を微量含む。しまりやや強い・粘性強い。
 第19層 暗褐色土 明褐色土を少量、暗褐色土を微量含む。しまりやや弱い・粘性強い。
 第20層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、褐色土を中量、明褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
 （床下土坑1）

C6J, 0.0m

C'



H1号住居跡 1P・2P

- 第1層 褐色土 暗褐色土と明褐色土と褐色土の混合土。しまり・粘性やや強い。
 第2層 褐色土 明褐色土を多量含む。しまり・粘性強い。
 第3層 褐色土 明褐色土・暗褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
 第4層 褐色土 明褐色土を少量、暗褐色土を微量含む。しまりやや弱い・粘性強い。
 第5層 明褐色土 褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性強い。
 第6層 明褐色土 黄褐色土を少量含む。しまりやや強い・粘性強い。

H1号住居跡 4P

- 第1層 褐色土 径3～5mmの橙色スコリアを少量、黒褐色土を微量、径10mmの明褐色土ブロックを少量含む。しまり弱い・粘性強い。
 第2層 褐色土 径3～5mmの橙色スコリアを少量、暗褐色土を微量、径10mmの明褐色土ブロックを少量含む。しまりやや弱い・粘性強い。
 第3層 明褐色土 径3～5mmの橙色スコリアを微量、褐色土を少量含む。しまりやや強い・粘性強い。

貯蔵穴1

K6J, 0.0m

K'



H1号住居跡 貯蔵穴1

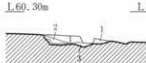
- 第1層 褐色土 暗褐色土と黄褐色土の混合土。暗褐色土を中量、ロームブロックを少量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
 第2層 明褐色土 ローム土及びロームブロックが主体、暗褐色土を少量含む。しまり・粘性やや弱い。

5P（掘り方面検出ピット1）

床下土坑1

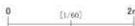
J60, 70m

J'



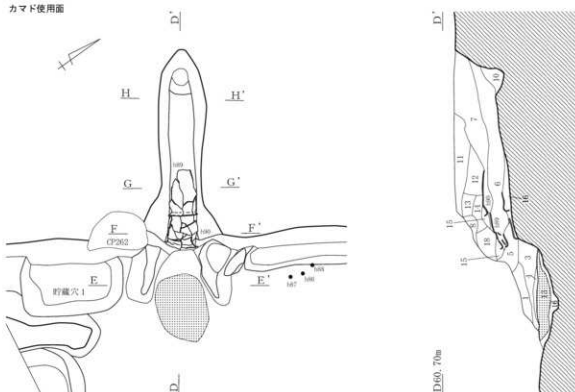
H1号住居跡 5P（掘り方面検出ピット1）

- 第1層 褐色土 暗褐色土を中量、明褐色土を微量含む。しまりやや強い・粘性強い。
 第2層 褐色土 暗褐色土・明褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性強い。
 第3層 褐色土 VI層土主体だが、やや粗い土。暗褐色土を微量含む。しまり弱い・粘性強い。
 H1号住居跡 床下土坑1
 第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、褐色土を中量、明褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
 （B-B' 20層と同C）
 第2層 明褐色土 暗褐色土・褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
 第3層 明褐色土 暗褐色土を微量、褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性強い。



第190図 H1号住居跡（2） [1/60]

カマド使用面



H1号住居跡カマド

第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、焼土粒を少量、粘土粒を微量含む。しまり・粘性弱い。

第2層 焼土粘土と暗褐色土の混合層 暗褐色焼土と灰褐色粘土を少量、暗褐色土を少量含む。しまり弱い・粘性やや弱い。

第3層 暗褐色土 焼土・粘土を少量含む。しまり・粘性弱い。軟らかい土層

第4層 灰白色灰層 暗褐色土・焼土を微量含む。しまり弱い・粘性なし。

下面の焼土直上に特に明瞭

第5層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、粘土粒を微量含む。しまり・粘性やや弱い。

第6層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、焼土粒を微量含む。色調暗い。しまりやや弱い・粘性弱い。

第7層 暗褐色土 やや褐色味あり。径3～5mmの黒色スコリアを少量、褐色土を少量。焼土粒・粘土粒を微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

第8層 暗褐色土 黒色スコリアを微量、焼土・粘土粒を微量含む。しまり弱い・粘性なし。

第9層 暗褐色土 明褐色土を中量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

第10層 暗褐色土 明褐色粘質土(VI層土)少量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。

第11層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量、径1～3mmの褐色スコリアを微量含む。しまり・粘性弱い。

第12層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、焼土粒を微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

第13層 暗褐色土 焼土・しまり・粘性なし。サラサラ。

第14層 褐色土 灰白色粘土と褐色土の混土層。

第15層 灰白色シルト カマドの構築体。

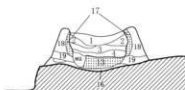
第16層 茶褐色土 しまり・粘性弱い。

第17層 赤褐色土 焼土。しまり弱い。サラサラ。壁が焼けた面。

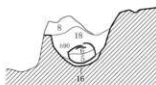
第18層 灰白色粘土 カマドの構築体。

第19層 褐色土層 しまり・粘性弱い。

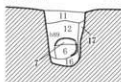
E60.70m



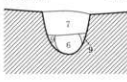
F60.70m



G60.70m

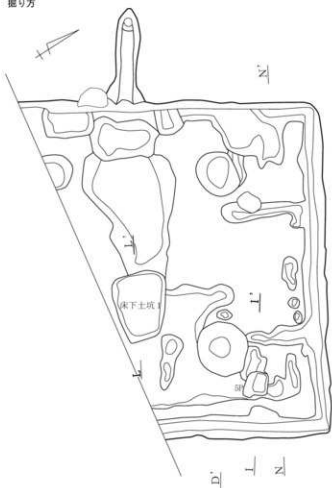


H60.70m

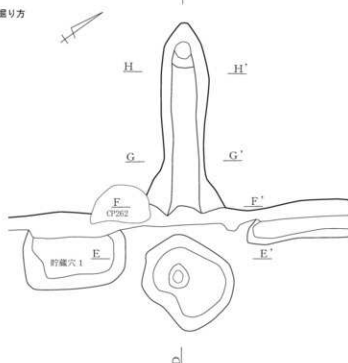


第191図 H1号住居跡(3)カマド [1/30]

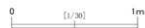
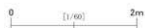
掘り方



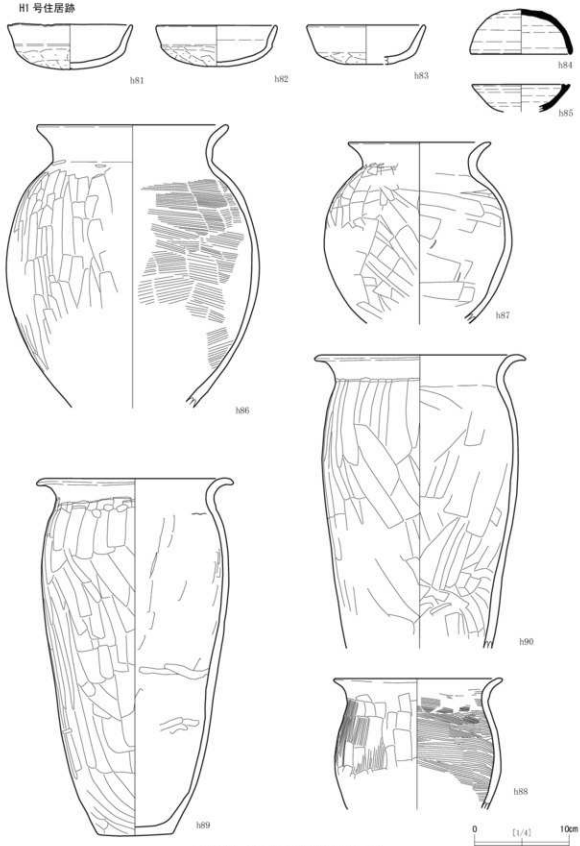
カマド掘り方



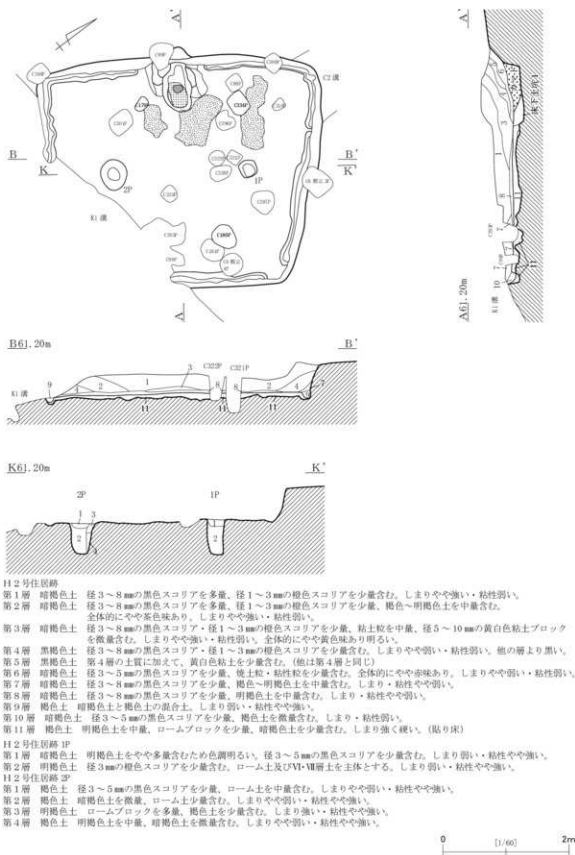
第192図 H1号住居跡(4)掘り方 [1/60・1/30]



H1 号住居跡

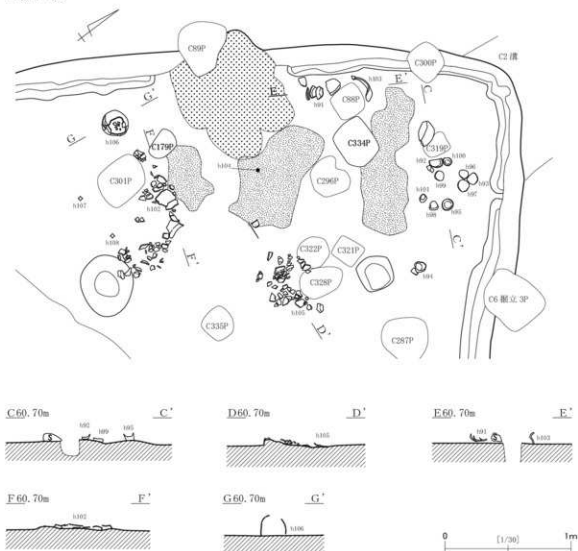


第193図 H1 号住居跡出土遺物 [1/4]



第194図 H2号住居跡(1) [1/60]

遺物出土状況



第195図 H2号住居跡(2) [1/30]

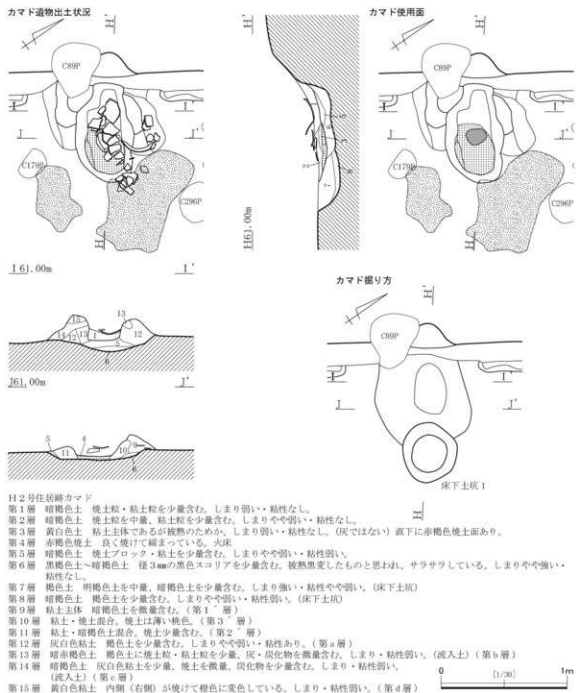
期の土師器坏3点(56g)・甕40点(1,470g)、奈良・平安時代の土師器甕7点(1,852g)、古墳時代後期～平安時代の土師器坏140点(476g)・甕359点(5,989g)、古墳時代後期～平安時代の須恵器坏6点(51g)・坏蓋片3点(48g)・甕片1点(2g)である。

H1号住居跡出土遺物(第193図、第30表、図版56)

h81～h83は有段口縁の土師器坏である。h84は須恵器蓋、h85は須恵器坏である。h86～h90は土師器甕で、h86・h87・h88は球胸を呈し、h89・h90は長胴甕である。土師器坏や土師器甕の特徴から本遺構は7世紀第3～4四半期に帰属すると考えられる。

H2号住居跡(第194～196図、図版27)

ビア16(上り)区の南壁際5G-37グリッドに位置し、南側はK1号溝により擾乱され、全体の4/5の調査である。また、中世のビットにより部分的に遺構が擾乱されている。平面は方形を呈し、主軸はN-53°-Wを指す。長軸4.50m、短軸3.70m、深さ0.54mを測る。床面はカマド前面に部分的に硬化面を残し、ほぼ平坦である。主柱穴は2本(1P、2P)検出される。深さは0.47～0.55mである。カマドは西壁に設置され、壁から煙道が立ち上がり、0.18m壁から張り出す。貯蔵穴は確認されず、0.20m前後の周溝が壁際



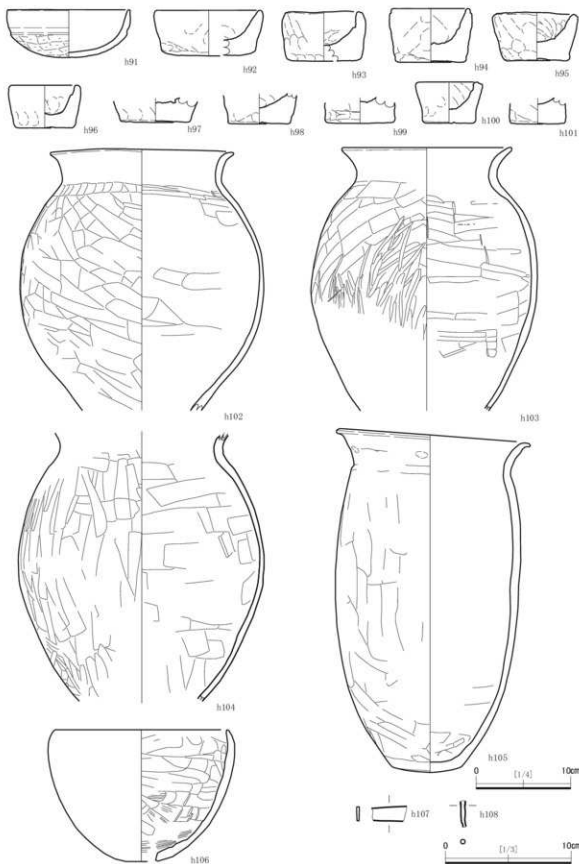
第196図 H2号住居跡(3)カマド [1/30]

に巡らされる。掘り方には、カマドの下から床下土坑が1基確認された。カマド上面からカマド周辺の床面から土師器甕・坏類が出土し、床面上から手掘ね土器が10点集中して出土している。遺物は570点(8,715g)出土しており、その内訳は古墳時代後期の土師器坏14点(243g)・甕303点(4,900g)・土製品26点(1,248g)・土師器甕40点(811g)、古墳時代後期～平安時代の土師器甕185点(1,510g)、鉄刀・棒状鉄製2点(3g)である。

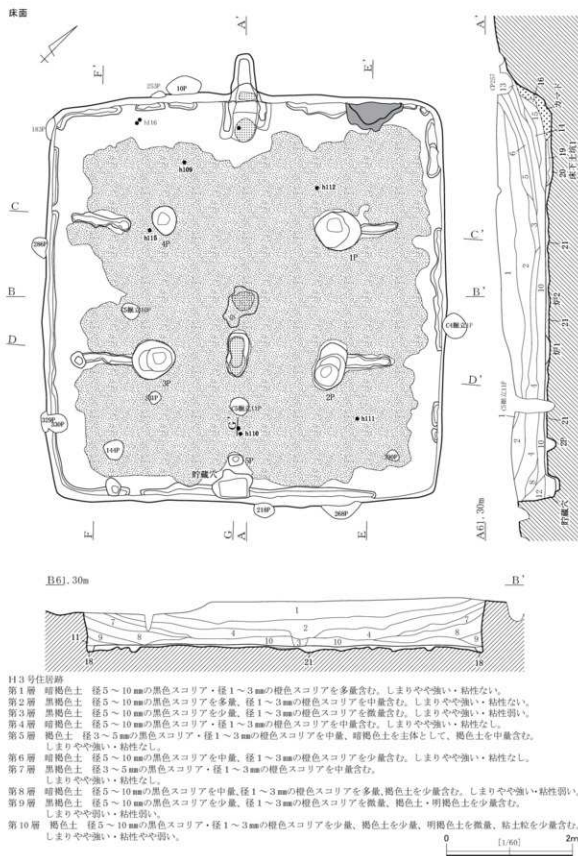
H2号住居跡出土遺物（第197図、第30・32表、図版52・57）

h91は有段口縁の土師器杯、h92～h101は手捏ね土器、h102～h105は土師器甕で、h92からh104は球形を呈し、h105は長胴甕である。h106は土師器甕であり、単孔で口縁部が内湾し胴部は球形を呈する。

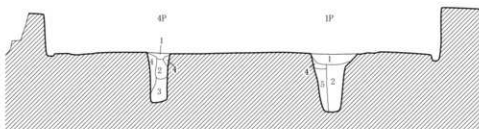
H2号住居跡



第197図 H2号住居跡出土遺物 [1/4・1/3]

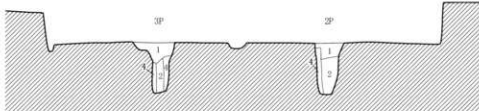


- 第11層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリア・径1～3mmの橙色スコリアを少量、褐色土を中量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
 第12層 暗褐色土 径3～8mmの黒色スコリア・径1～3mmの橙色スコリアを中量、褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。
 (褐色土はV～VI層土)
 第13層 黒褐色土 径5～10mmの黒色スコリア少量、径1～3mmの橙色スコリアを微量、褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性なし。
 第14層 暗褐色土 径3～8mmの黒色スコリア・径1～3mmの橙色スコリアを少量、褐色土を中量、粘土粒を少量含む。
 しまりやや弱い・粘性弱い。
 第15層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、褐色土を中量、黒褐色土を少量、粘土ブロックを少量、灰を少量含む。しまり・粘性弱い。
 第16層 黒褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、粘土粒を微量、灰を少量含む。しまり弱い・粘性なし。
 第17層 暗褐色土 焼土と灰と粘土の混合物。しまり・粘性なし。(カマド内堆積層)
 第18層 暗褐色土 硬質凝結土。
 第19層 明褐色土 黄褐色ローム土を少量、褐色土・黒色土を少量含む。しまり強い・粘性やや強い。貼り直しの床面。
 第20層 黒褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量、明褐色土を微量含む。しまりやや弱い・粘性なし。(床下土填1)
 第21層 明褐色土 黄褐色ローム土を中量、褐色土・暗褐色土を少量含む。しまり強い・粘性やや強い。硬化している。(掘り方)
 C6J, 30m C'



D6J, 30m

D'



柱穴土層

- 第1層 暗褐色土 径3～8mmの黒色スコリアを中量、黒褐色土・褐色土を少量含む。しまりやや強い・粘性なし。
 第2層 褐色土 径3～5mmの橙色スコリアを少量、明褐色土を少量、黄褐色土を微量含む。しまり弱い・粘性やや強い。(柱抜き痕)
 第3層 暗褐色土 径3～8mmの黒色スコリアを中量、褐色土を中量含む。しまりなし・粘性弱い。(柱抜き痕) 4ピットのみ。
 第4層 暗褐色土 黄褐色ローム土を中量、褐色土を少量含む。しまりやや強い・粘性強い。
 第5層 明褐色土 崩れたローム土が主体、褐色土を少量含む。しまり・粘性やや弱い。

G6J, 00m

G'

貯蔵穴・入口ピット土層 G-G'



- 第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量、径3mmの橙色スコリアを微量、径20～30mmの明褐色粘質土ブロックを少量、炭化物を微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。土器片含む。
 第2層 褐色土 径3mmの橙色スコリアを微量、褐色～明褐色粘質土を中量含む。しまり・粘性やや強い。土器片含む。
 第3層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを微量、径1～3mmの橙色スコリアを微量、褐色土・明褐色土を中量、炭化物を微量含む。しまり・粘性やや強い。入口ピット。埋土は柱穴とは異なり粘質土主体。

L6J, 00m

L'

O6J, 00m

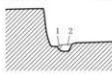
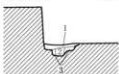
O'

N6J, 00m

N'

M6J, 30m

M'



周溝土層 L-L'・O-O'

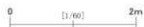
- 第1層 暗褐色土と褐色土の混合物に明褐色土を少量含む。しまり・粘性やや強い。
 第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、褐色土を少量含む。しまり・粘性弱い。
 第3層 明褐色土 褐色土を少量、暗褐色土を微量含む。しまりやや弱い・粘性強い。

周溝土層 N-N'

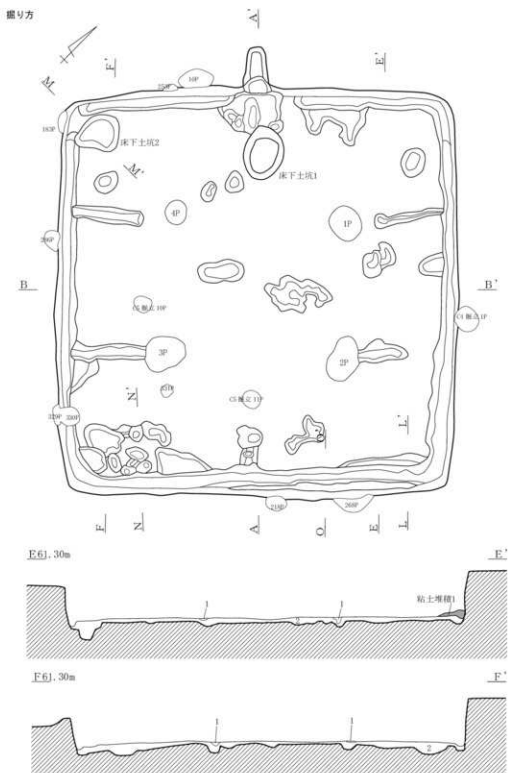
- 第1層 暗褐色土 径3mmの橙色スコリアを少量、褐色土を少量含む。しまり・粘性やや強い。(全体的に第2層より明らかに暗い)
 第2層 暗褐色土 径3mmの橙色スコリアを中量、褐色土を中量含む。しまり強い・粘性やや強い。

床下土填土層 M-M'

- 第1層 褐色粘質土 明褐色土を少量、暗褐色土を微量含む。しまりやや強い・粘性強い。



第199図 H3号住居跡(2) [1/60]



H 3 号住居跡

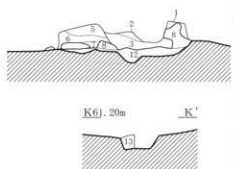
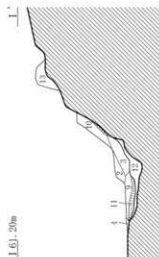
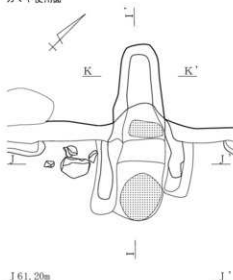
第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、明褐色土を少量含む。しまり・粘性やや強い。(間仕切り溝)

第2層 明褐色土 黄褐色ローム土を中量、褐色土・暗褐色土を少量含む。しまり強い・粘性やや強い。硬化している。(掘り方)

粘土堆積 白色粘土・暗褐色土の混合土 白色粘土、径10～20mmの黄白色粘質土のブロックを主体として、暗褐色土を中層含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。

第200図 H3号住居跡(3)掘り方[1/60]

カマド使用面



H3号住居跡カマド

第1層 暗褐色土 径3mmの黒色スコリアを微量、灰白色粘土を少量含む。

しまり・粘性弱い。

第2層 灰白色粘土 暗褐色土を少量含む。しまり弱い・粘性やや強い。

第3層 暗褐色土 灰白色粘土を少量、焼土粒を少量含む。しまり・粘性弱い。

第4層 暗褐色土 焼土粒を少量、粘土を微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

第5層 灰白色粘土 暗褐色土を微量含む。しまり・粘性やや強い。

第6層 暗褐色土 径3mmの黒色スコリアを少量、灰白色粘土を少量含む。

しまりやや弱い・粘性弱い。

第7層 粘土・焼土混合土 灰白色粘土に焼土を中量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。

第8層 灰白色粘土 暗褐色土を微量含む。しまりやや強い・粘性強い。カマド焼土。

第9層 灰白色粘質土 粘土と焼土と灰の混合土。しまり・粘性弱い。

第10層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの褐色スコリアを微量、粘土粒・炭化粒を微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

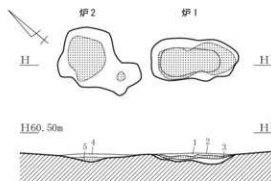
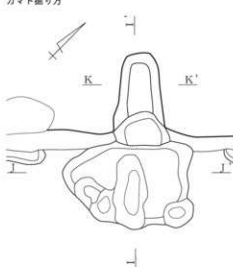
第11層 赤褐色土 火燃を受け表面は焼け腐っている。カマド火床面。

(第12層の土の表面が焼けて形成されたものと考え)

第12層 暗褐色土 褐色土を少量、炭化物を微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。

第13層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量、灰白色粘土粒を少量含む。しまり・粘性弱い。

カマド掘り方



H3号住居跡炉址

第1層 暗褐色土 しまりなし。

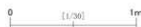
第2層 赤褐色土 焼土層。しまりなし。

第3層 赤褐色土 しまりなし。

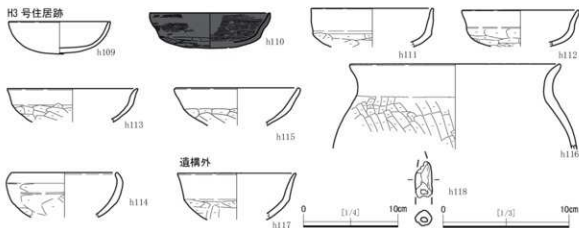
第4層 黄褐色土 径10～30mmの黄褐色ローム土ブロックを主体として、

暗褐色土を少量含む。しまり・粘性強い。2号炉を覆う貼り床。

第5層 赤褐色土 焼土。



第201図 H3号住居跡(4)カマド・炉址 [1/30]



第202図 H3号住居跡出土土器・遺構外出土土器・土製品〔1/4・1/3〕

h107・h108は鉄製品で、h107が刀子片、h108が棒状鉄製品である。

出土遺物の特徴から本遺構は6世紀後半～7世紀前半に帰属すると考えられる。

H3号住居跡（第198～201図、図版28）

ピア16（上り）区の中央東より、5H-38グリッドに位置する。平面は方形を呈し、主軸はN-44°-Wを指す。長軸6.50m、短軸6.40m、深さ0.80mを測る。一辺が6mを越すやや大型の住居で、カマドは煙道がまっすぐに立ち上がる初期の形態を呈する。住居中央からやや入り口寄りに地床炉を2個所有する。床面は住居前面に硬化面を残し、ほぼ平坦である。主柱穴は4穴（1P～4P）検出される。深さは0.79～0.90mである。カマドは西壁に設置され、壁から煙道が立ち上がり、0.62m壁から張り出す。貯蔵穴は、入り口部の直下に設けられていて、平面は隅丸方形を呈し、深さ0.18mを測る。5Pは深さ0.36mを測り、入り口付近の梯子穴と推定される。確認された壁の下を周溝は断続的に全周廻っている。

主柱穴と壁面間には、間仕切りと考えられる短い溝がそれぞれ設けられている。床下土坑はカマドの下と南西壁で確認された。遺物は722点（4,966g）で、その内訳は古墳時代後期の土師器甕3点（171g）、古墳時代後期～平安時代の土師器杯99点（837g）・甕604点（3,902g）・須恵器杯2点（4g）・須恵器甕1点（7g）、粘土塊13点（45g）が出土している。

H3号住居跡出土遺物（第202図、第30表、図版58）

h109～h115は有段口縁の土師器杯でh114は口縁が内湾する碗に近い器形である。h116は胴部が張る土師器甕である。出土遺物の特徴から、本遺構は6世紀後半から7世紀前半に帰属すると考えられる。

（2）遺構外出土遺物（第202図、第30表、図版58）

遺物は577点（3,546g）出土しており、その内訳は古墳時代後期の土師器甕4点（53g）・甕または壺1点（11g）・手捏ね土器2点（16g）、奈良・平安時代の須恵器杯1点（4g）・須恵器瓶1点（35g）・灰釉陶器瓶1点（10g）・管状土鍾1点（2g）、古墳時代後期～平安時代の土師器杯87点（436g）・甕462点（2,741g）、須恵器杯7点（38g）・坏蓋2点（7g）・甕8点（193g）である。

h117は有段口縁の土師器杯である。h118は両端部が欠損するが、管状土鍾と考えられる。

4 縄文時代

縄文時代の遺構は、住居跡1棟、柱穴群2箇所、配石2基、土坑41基、ピット241基がある(第203図)。基本土層の第V層に類似する土を覆土の基調とする遺構である。なおピットが集中して検出された箇所が2か所検出されたが、炉などの施設が検出されないため、ここでは柱穴群と呼称する。遺構・遺物の分布は、5G～5I-38あたり集中していて、礫の分布を追いかけると東からJ1号配石・J2号柱穴・J1号柱穴列と周辺の礫分布を合わせると帯状に連続するように見える。

縄文時代の遺物は、縄文土器24,095点(309,696g)、土製品14点(160g)、石器1,067点(93,823g)の計25,176点(403,679g)である。

(1) 住居跡

J4号住居跡(第204～207図、図版29)

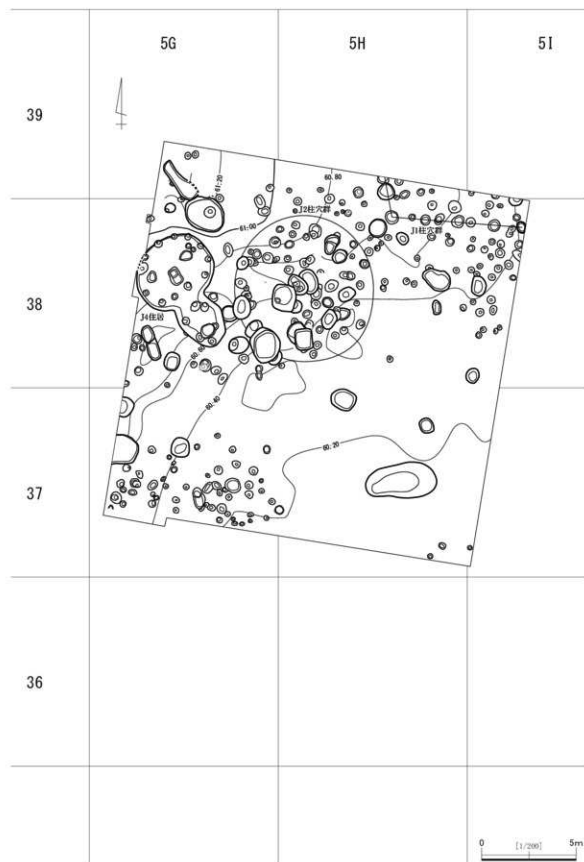
ビア16(上り)区の北側5G-38グリッドに位置する。柄鏡形の敷石住居跡で、主軸はN-44°-Wを指し、長軸6.20m、短軸2.00m、深さ0.58mを測る。住居跡西側の一部は調査区外に広がる。主体部は円形を呈している。敷石は全面敷かれていて、壁際には縁石を巡らせている。中央部分の礫は直線的に配置される。炉石及び主体部中央部分の礫については除去され、主体部の炉の周辺の石は引き抜かれている。柄の部分の敷石の遺存は良好で主体部との接合部は掘り方に比べて敷石の幅が狭くなっていて、柄の先端に行くに従い幅広くなっていく。柄部分の敷石の両壁とも偏平礫が四段程度積まれていて、石積みとなっている。一番南側の礫は抜かれているが、周辺に27点608gの緑泥片岩破片が出土しており、もともと緑泥片岩の板石が据えられていた痕跡と推定できる。敷石は比較的平坦な大形礫を敷き詰めてあった。壁はなだらかに立ち上がり下端に沿って縁石が並べられる。炉は主体部のやや入り口側に寄った位置に検出され、楕円形を呈していて一部石囲いの礫を残しているが多くの石は抜かれている。掘り方は地形に沿って、北西から南東に向いて緩やかに傾斜を見せている。住居炉の東側と柄部分中央に土坑が2基検出されている。柱穴は22穴検出されている。主体部の壁柱穴は1P・12P・20P・9P・10P・11P・8P・5P・4P・3P・14P・13P・11P・8Pの12穴と考えられ、主体部と柄の接合部に位置する5P・4P・3P・14Pは直線的に並ぶ。柄部分の柱穴は21P・6P・19P・17P・18P・15Pの6穴が主柱穴と考えられる。周溝、埋燐などの施設は確認されなかった。

使用されていた石材234点は、変質ドレライト類が108点46.2%、軟質凝灰岩類が71点30.4%、細粒凝灰岩類が19点8.1%、軽石凝灰岩類14点6.0%で210点90.6%とほとんどを占める。板状安山岩が19点7.3%と本調査区の他の住居に比べて多く使われていることが注目される。

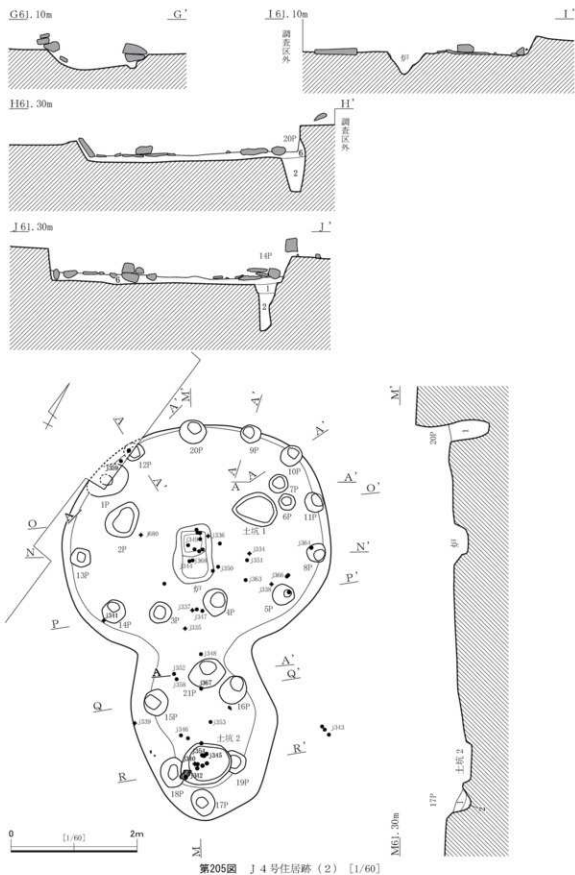
出土遺物は、土器1,976点(23,418g)、土製品2点(32g)、石器66点(11,661g)で石鏃・凹石・磨石・石皿・台石・石錘・黒曜石原石・黒曜石剥片類・チャート剥片類などで構成される。

J4号住居跡出土遺物(第208～210図、第33・35表、図版70・88)

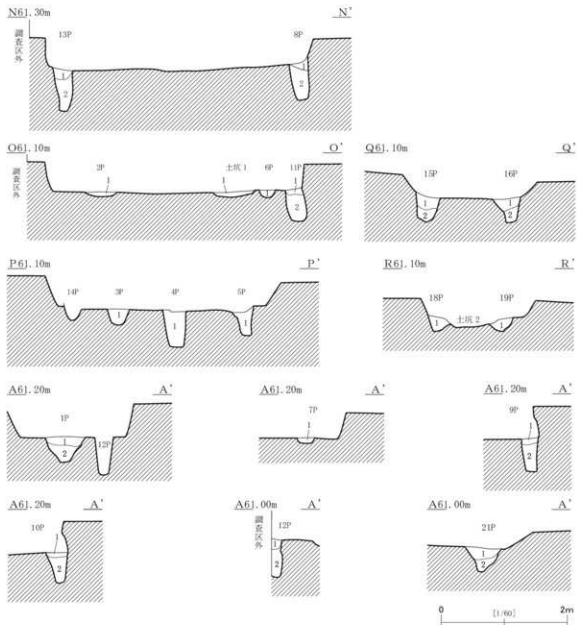
j342は胴部上半でやや括れ、口縁に向け外反する。口縁から3条の懸垂文と1条の「h」状文と逆U字状文が施文される深鉢である。j343は胴部上半で丸味を持ち、頸部で括れ口縁に向け外反する深鉢である。j344は口縁に1条の沈線と対になる穿たれた孔のある突起が配される。口縁部文様は無文であるが突起から「V」字状の隆帯が垂下する深鉢である。j345は頸部で括れ口縁に向け外反する金魚鉢形の深鉢で、頸部に2条の区画文が巡り、胴部は3条沈線による「y」字状文、弧線文が施文される。j346は円筒形を呈し、口縁に向け外反する。2条隆帯による横位区画文が巡り、隆帯から垂下した棒状隆帯が貼付けられる



第203図 縄文時代遺構配置図 [1/200]



第205図 J 4号住居跡(2) [1/60]



J 4号住居跡 1P・20P

第1層 暗茶褐色 径3mmの橙色スコリアを多量、径3mm大の炭化粒が散在する。しまり良好・粘性強い。
第2層 暗茶褐色土 径1mmの橙色スコリアを少量混在する。しまり良好・粘性強い。サクサクする層。

J 4号住居 2P・土坑1

第1層 灰茶褐色土 径3～5mmのローム粒・炭化粒を少量含む。下部には黄褐色土ブロックを多量に混在する。しまり良好・粘性強い。

J 4号住居 3P・5P・6P・7P

第1層 灰褐色土 径3mmの赤色スコリアを多量含む。しまり良好・粘性あり。

J 4号住居 4P

第1層 灰褐色土 上層は径3mmの赤色スコリアを多量含むが、下層は径5mmの赤色スコリアを多量含む。しまりなし・粘性強い。
サクサクする層。

J 4号住居 8P～14P・17P

第1層 黄褐色土 径5mmの橙色スコリアを少量含む。径5mmの赤色スコリアがやや目立つ。しまりなし・粘性強い。

第2層 暗褐色土 混入物が少なく、砂質でサクサクした層。柱穴下部に良く見られる。しまりなし・粘性あり。

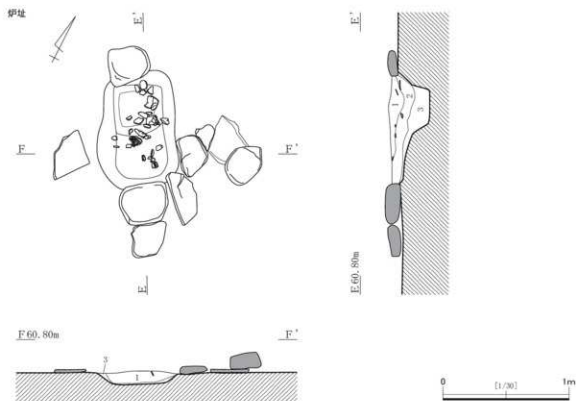
J 4号住居 15P・16P・18P・19P・21P

第1層 黄褐色土 径3mmの橙色スコリアを多量、径3mmの炭化粒を少量含む。しまり良好・粘性あり。

15Pの土中には多量のローム質土を混在する。

第2層 暗褐色土 橙色スコリア等の混入物が少ない層。サクサクしている。しまりなし・粘性強い。

第206図 J 4号住居跡(3) [1/60]



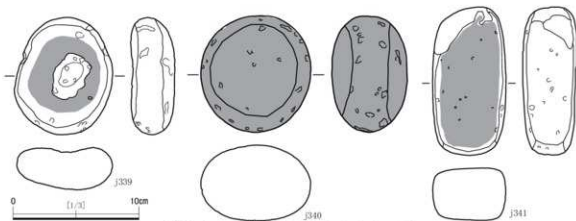
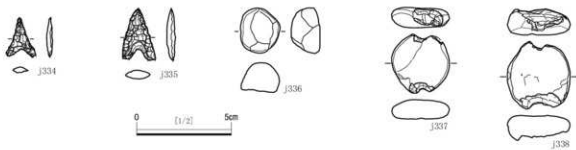
J 4号住居跡伊址

第1層 暗茶褐色土 径1～3mmの橙色スコリアを多量、黄褐色ローム粒を多量、径5mmの炭化粒を含む。遺物を多量含む。しまり良好・粘性あり。

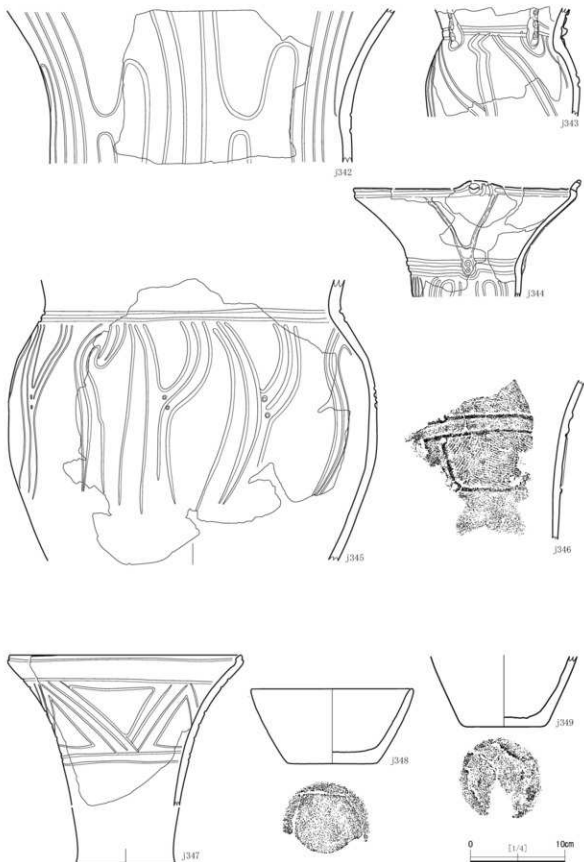
第2層 暗褐色土 径5mmの焼土粒・炭化粒を含む。焼土をベースとする層。しまり良好・粘性強い。

第3層 茶褐色土 径5mmの橙色スコリアを少量、赤色スコリアを含む。しまり・粘性強い、握り方。

第207図 J 4号住居跡（4） [1/30]



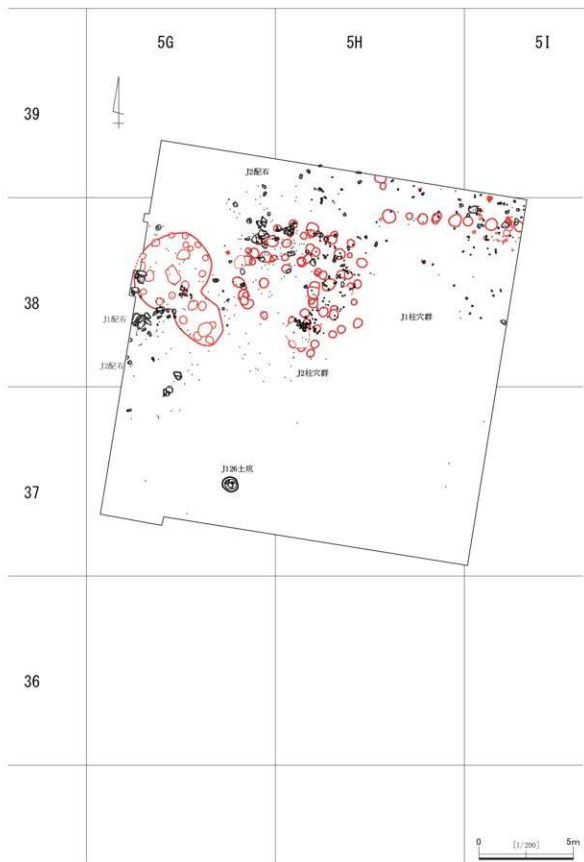
第208図 J 4号住居跡出土遺物（1） [1/2・1/3]



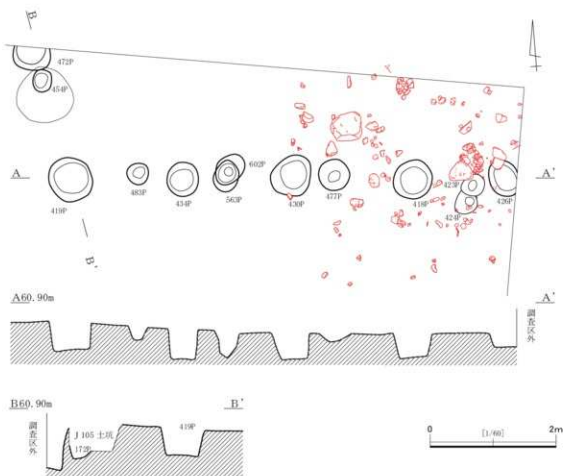
第209図 J 4号住居跡出土遺物（2）〔1/4〕



第210図 J 4号住居跡出土遺物(3) [1/2・1/3]



第211図 縄文時代遺分布図 [1/200]



第212図 J1号柱穴群 [1/60]

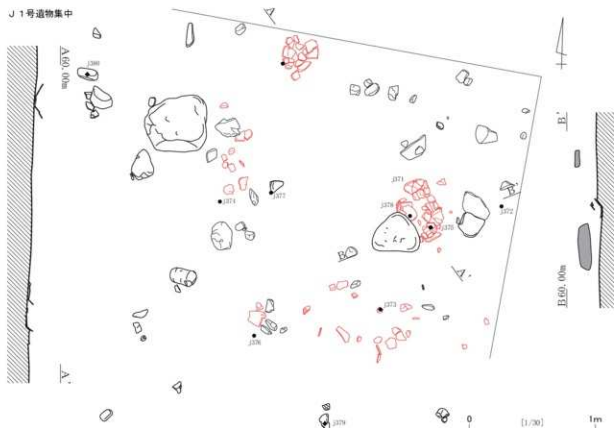
深鉢である。j347はバケツ形の深鉢。口縁内側に1条の沈線が巡る。胴部文様は三角形区画文が配される。堀之内2式の深鉢である。j348は無文の鉢形土器である。j349は無文の底部である。j350・j351は同一個体で波頂部から刻みのある1条の隆帯が垂下し、その両側を渦巻文が重なるように配される。j352は無文の口縁部が強く外反する。j353は円筒形を呈する深鉢で、胴部文様帯上端区画として刻みある隆帯が巡る。へj354は把手を持つ波状口縁である。j356・j357・j358・j359は堀之内2式の深鉢である。j361・j362は口縁下に刻みのある隆帯が巡る深鉢、j364は扁平な円形把手、j365はバケツ形深鉢で口縁に把手である。j363は注口土器の注ぎ口と把手が一体化した把手である。j366は円形の隆帯と中央に孔が3カ所、2カ所に瘤を配す深鉢の把手と推定される。j367は胴部上半で張り、頸部で強く括れる深鉢である。j368は有頸鉢形土器の口縁部片で、大形の「S」字状隆帯を貼り付け、口縁から胴部に繋ぐ把手である。土製品はj355が土偶の脚部、j360は土製円板である。本住居の出土土器は、敷石上から後期前半の土器が出土し、堀之内2式期の土器が主体を占める。

石器は、j334・j335は黒曜石製の凹基の石鏃である。j336は翡翠の原石で加工痕は見られない。j337・j338は石錐で円礫の両端を打ち欠き紐掛けとする。j337は変質ドレライト(細粒)、j338は中粒凝灰岩である。j339は凹石で富士玄武岩を用い、片面だけに凹穴を一つ施す。j340は調子砂岩の円盤状の磨石である。j341は安山岩製の石鏃型の磨石である。

(2) 柱穴群

柱穴群(第204図)は、調査当初は遺物集中や配石遺構として調査を進めていた。上層の調査後下部を調

J1号遺物集中



第213図 J1号柱穴群上層遺物出土状態 [1/30]

査したところ配列する柱穴群が確認された。そこで東側の遺物集中としていたものをJ1号柱穴群、西側の配石遺構、住居跡、集石としていたものをJ2号柱穴群として記載を進めていく。

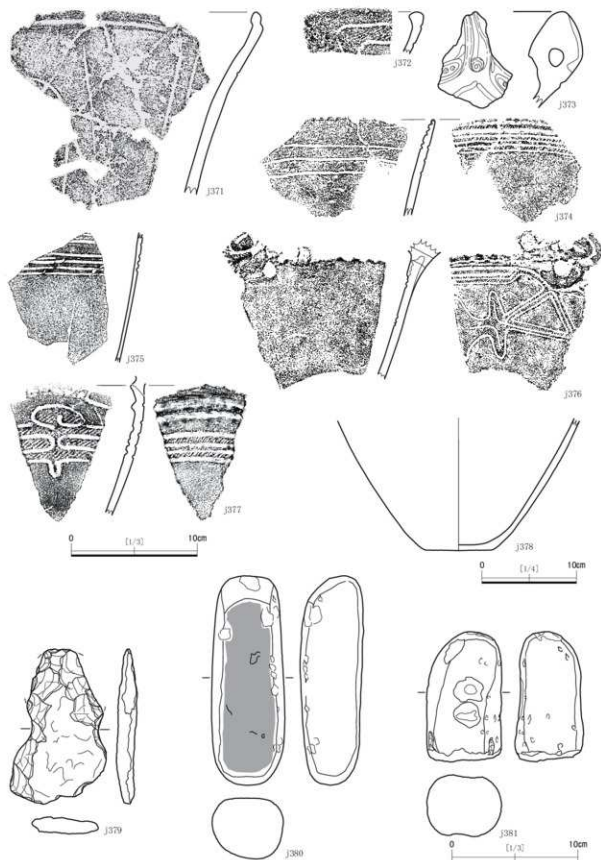
J1号柱穴群 (第212図、図版30)

ビア16(上り)区北東隅、5H-38グリッドに位置し、大小の柱穴が分布し、中に直線的な配列を見せる柱穴419・483・434・563・430・477・418・423・426・454・472ピットの11基があり、主軸はN-38°-Wを指す。419・483・434・563・430・477・418・423・426ピット並ぶ長軸は(8.00)m、419・454・472ピットが並ぶ短軸は(0.78)mを測り、北と東側は調査区外に広がる。これらは掘立柱建物跡の南辺を含む可能性が考えられる。なお、同地域のV層からは、大形礫や土器が分布していて、J1号柱穴群に伴う遺物群と想定できる。周辺の土壌からは被熱した骨片が分布していた。

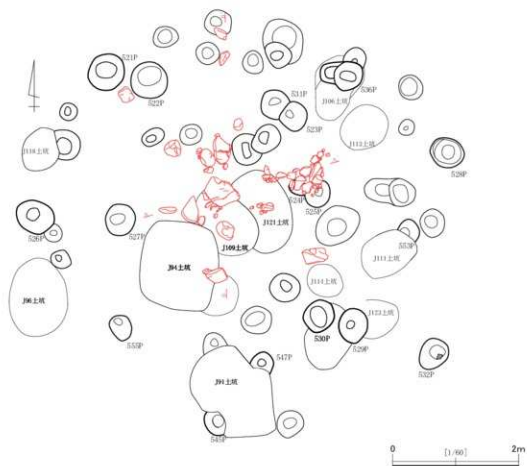
出土遺物は、土器の大形破片や大形礫がほぼ水平の高さで出土している。土器は97点3,795g、石器は6点(1,613g)で、打製石斧・敲石・磨石・多孔石・黒曜石剥片類が出土する。

J1号柱穴群出土遺物 (第214図、第33・35表、図版71・88)

J371は外反しながら立ち上がり、口縁が「く」字状に内屈し口辺に1条の沈線が巡る深鉢で、胴部は「h」条文と数条の懸垂文が施文される。J372はやや深い沈線により「J」字状文か鋸形文の枠が描出される深鉢である。J373は把手を持つ波状口縁で、環状把手に刺突文と沈線が施文される。J374は直線的に外反し、口縁内側に1条の沈線と刺突文が巡る深鉢である。内文は5条沈線と刻帯2条が施文される。外面は3条沈線文により2文様帯を作出される。J375は口縁部が直線的に開く深鉢で、下段に4条沈線による平行沈線帯が施文され、左にずれる細かな刻み状の区切り文が施される。J376は浅鉢形土器で、直線的に外反し、



第214図 J1号柱穴群上層出土遺物 [1/3・1/4]



第215図 J2号柱穴群A・B配置図〔1/60〕

口唇は小波状と把手が貼付けられる。内文は刻みのある3条沈線による幾何学文等が描出される。j377は外反しながら立ち上がり、3単位の波状口縁を呈す。j378は底部から胴下半部の器厚としてやや薄い堀之内2式の深鉢である。j372・j373は称名寺2式で、j371・j378は堀之内2式、他のものは加曾利B1式である。石器は、j379が打製石斧で変質ドレライト（細粒）を用いる。j380は磨石で、変質ドレライト（粗粒）を用いる。j381は閃石で両面に1対の凹穴を施す軟質中粒凝灰岩製である。

J2号柱穴群（第215～218図、図版31）

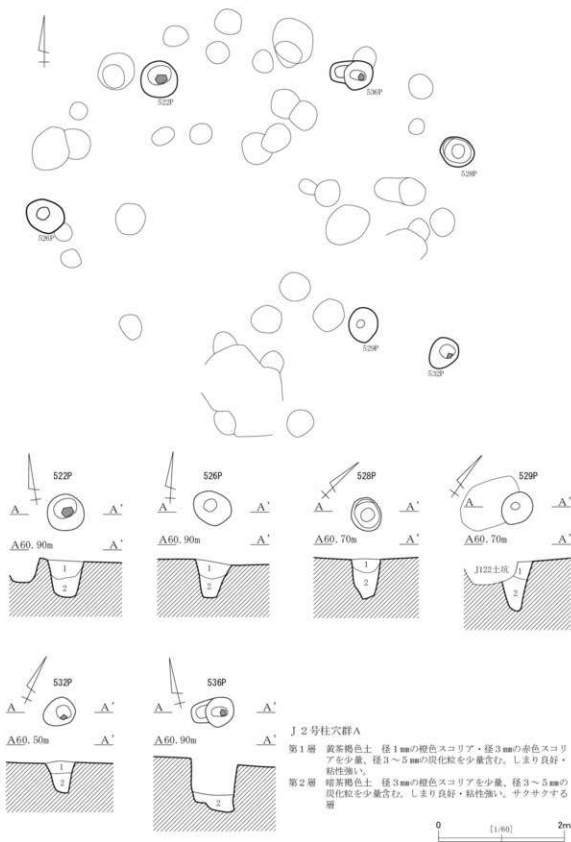
ビア16（上り）区中央西より、5H-38グリッドに位置し、柱穴が弧状に廻ることからや上面からは敷石住居の石を抜き取った残りと考えられるような礫が散在しており、従来は敷石住居だったと推定したが、炉が検出されなかったことから、ここでは柱穴群として取り扱う。径7.50mの範囲から84穴の柱穴が集中して検出された。遺物は土器の大形破片や大形礫がほぼ水平の高さで出土している。堀之内期から加曾利B1期の土器が主体である。

J2号柱穴群出土遺物（第218図、第33表、図版71）

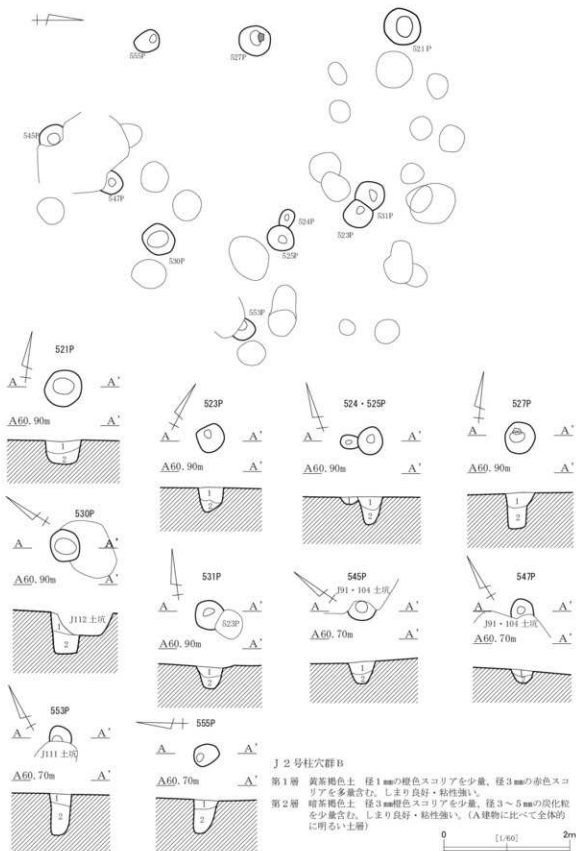
j382は胴部が丸味をもつ注口土器で、口縁に2単位の把手を配す。加曾利B1式に比定される。

（3）配石

J1号配石（第219図）



第216図 J2号柱穴群A [1/60]

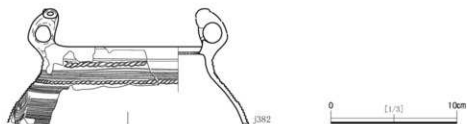


第217図 J 2号柱穴群B [1/60]

J 2号配石



J2号配石

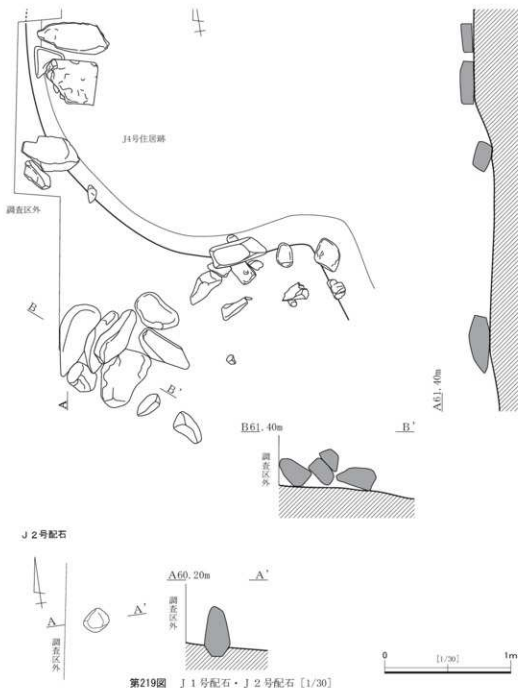


第218図 J 2号柱穴群上層遺物出土状態 [1/30] 及び出土遺物 [1/3]

ビア16(上り)区中央西壁際、5G-38グリッドに位置する。J4号住居跡西側に接して、上層で検出され、西側は調査区外に広がる。大形礫が西壁際に配され、おおむね長軸3.46m、短軸2.24mの範囲に3ブロック程度に分かれ分布する。掘り方などは確認されないが、礫はほぼ水平に配置されている。出土遺物は、抗火石製砥石J508が周辺から出土したが、伴出関係は不明であるため遺構外の項で説明する。

J2号配石(第219図)

ビア16(上り)区中央西壁際、5G-38グリッドに位置する。J1号配石の南3.0m離れて位置する。単独の立石である。掘り込みはなく径0.30m、長さ0.35mの棒状礫が立てられていた。掘り方などは確



認められない。

(4) 土坑 (第220図)

土坑は41基検出され、J2号柱穴群と重複して検出されている。すべての土坑の覆土はV a層をベースとした土層となっている。

J 86号土坑 (第221図)

ピア16(上)区北西隅、5G-39グリッドに位置し、東側をK70号土坑に切られる。平面は浅い溝状を呈する。主軸はN-38°-Wを指す。長軸2.40m、短軸0.58m、深さ0.80mを測り、断面は皿状である。遺物は、覆土中に土器・石器を多量含む。土器が39点(174g)、磨石・UF・黒曜石剥片類が7点(5,448g)で、土器は堀之内1式が出土する。

J 86号土坑出土遺物 (第221図、第33・35表、図版72・88)

j383は2条の沈線区画文が施文される深鉢で、加曾利B1式である。1/2の残存で、逆「U」区画文の中に櫛歯状の刺突文が充填される。j384は磨石で中粒凝灰岩を用い、1/2残存で全面磨られる。

J 87号土坑 (第221図、図版32)

ピア16(上)区南東、5H-37グリッドに位置する。平面は楕円形を呈する。主軸はN-13°-Wを指す。長軸0.86m、短軸0.74m、深さ0.12mを測り、断面は皿状である。出土遺物は、北東隅に口縁部の一部分を欠損する1/2残存の深鉢が内面を下にして水平な状態で出土する。他にチャート剥片1点(2g)で1,422gを量る。

J 87号土坑出土遺物 (第221図、第33表、図版71)

j385は加曾利EⅢ式の両側に把手を持つ鉢形土器である。1/2の残存で、逆「U」区画文の中に櫛歯状の刺突文が充填される。

J 88号土坑 (第221図)

ピア16(上)区南西、5G-37グリッドに位置する。西壁際から検出され調査区外に広がる。平面は楕円形を呈する。主軸はN-96°-Eを指す。長軸1.62m、短軸(1.34)m、深さ0.44mを測り、断面は鍋底状であるが一部袋状となる部分がある。出土遺物は、土器57点(999g)、磨製石斧・石鏃・異形石器・剥片4点(184g)である。

J 88号土坑出土遺物 (第221図、第33・35表、図版72・88)

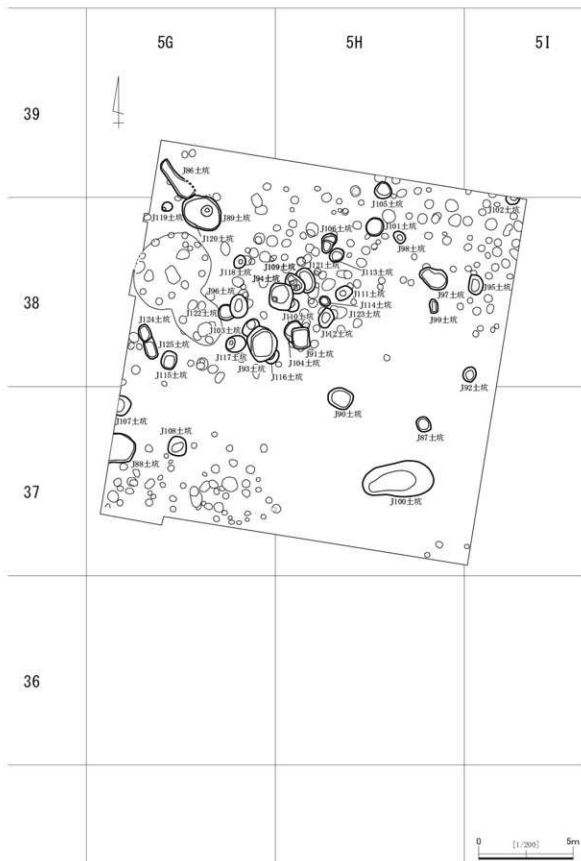
j388は加曾利EⅣ式の深鉢の把手である。j386・j390は称名寺式の深鉢である。j387は波状口縁で、口縁が「く」字状に内屈する堀之内2式の深鉢である。j389は4条沈線により平行沈線帯を作出す加曾利B1式の深鉢である。石器はj391は定角式の磨製石斧で、刃部は鋭利な状態で遺存する。j392は黒曜石製の石鏃、j393は硬質細粒凝灰岩の異形石器で2脚を欠損している。遺構の時期は堀之内～加曾利B式である。

J 89号土坑 (第222図)

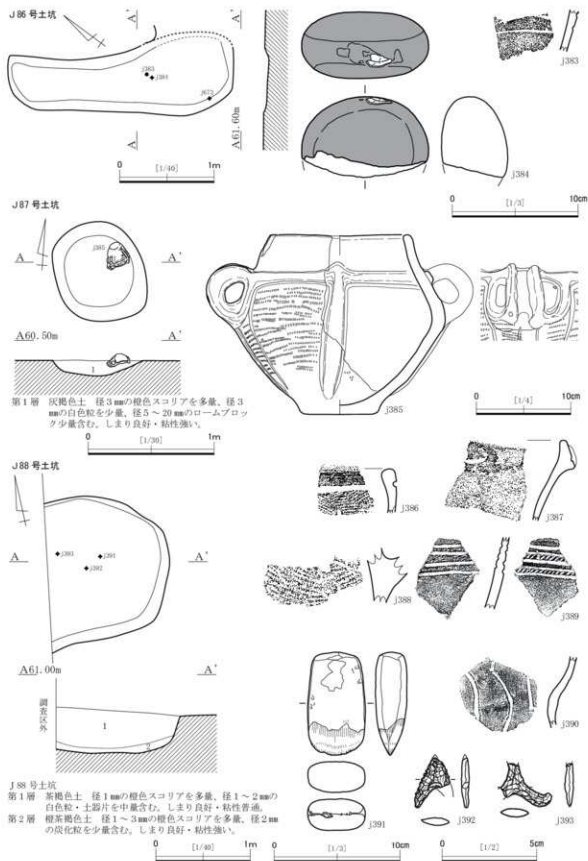
ピア16(上)区北西隅、5G-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈する。主軸はN-62°-Wを指す。長軸2.22m、短軸1.80m、深さ1.44mを測り、断面は皿状で底面の東寄りに土器を包含する小ビットがある。出土遺物は、覆土中に土器・石器を多量含む。土器222点(2,766g)、石器5点(6g)で石鏃・黒曜石剥片類がある。

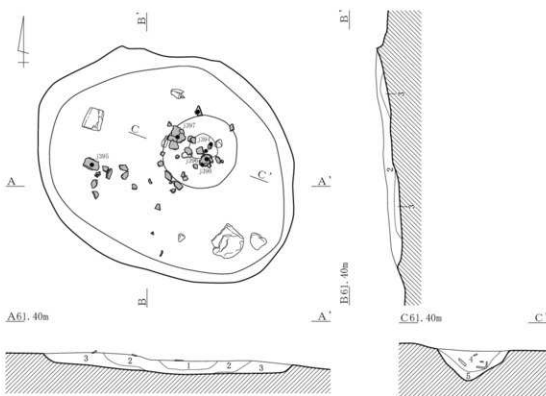
J 89号土坑出土遺物 (第222図、第33・35表、図版72・88)

j394は直線的に外反するバケツ形の堀之内2式の深鉢である。j395は丸身を持ちながら立ち上がり口縁



第220図 縄文時代土坑配置図 [1/200]





J89号土坑

第1層 灰茶褐色土 径3mmの橙色スコリア・ローム粒を多量含み、少礫・土器片を多く含む層。しまり良好・粘性普通、緻密な土層。

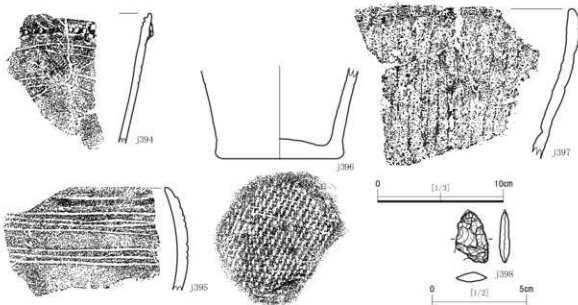
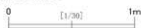
第2層 暗褐色土 径3mm以下の橙色スコリアを多量、上層に土器片を多く含む。部分的に径3mmのロームブロックを含む。しまり良好・粘性強い。

第3層 褐色土 径3mm以下の橙色スコリアを少量、径3mmの炭化粒を多量含む。しまり良好・粘性強い。地山第VI層に近い層

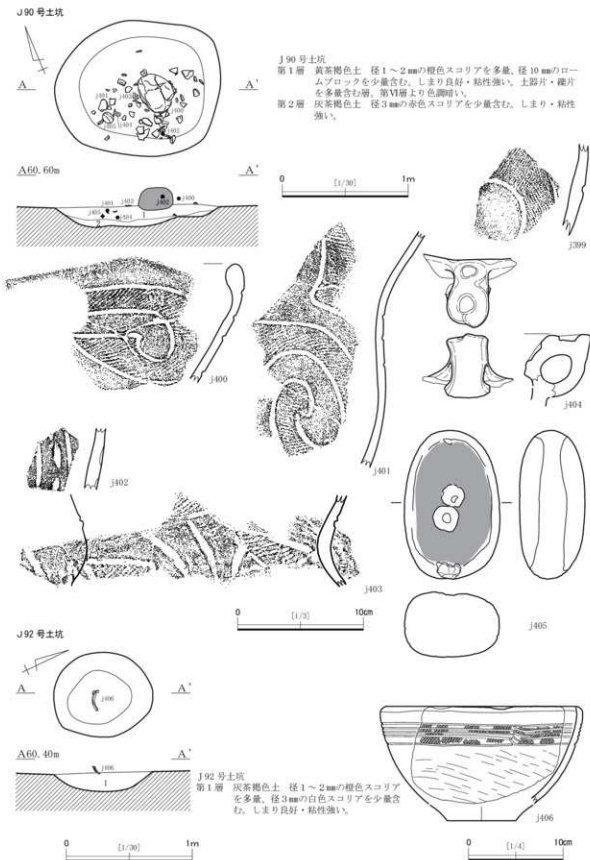
J89号土坑内ピット

第4層 黒褐色土 径3mmの橙色スコリアを多量、径3mmの白色粒・炭化粒を少量、径1mm以下の白色粒を少量含む。しまり良好・粘性あり。土器・礫を多く含む層。

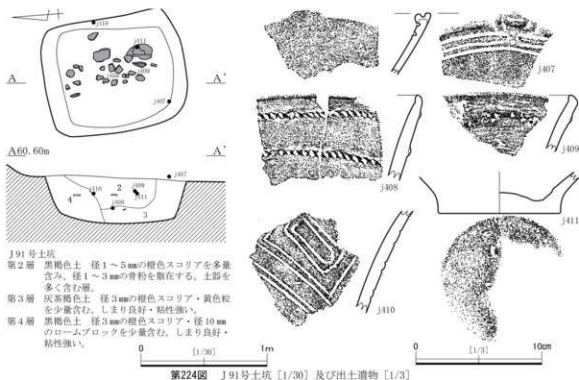
第5層 茶褐色土 径3mmの橙色スコリアを中量含む。しまり良好・粘性強い。



第222図 J89号土坑 [1/30] 及び出土遺物 [1/3・1/2]



第223図 J90・92号土坑 [1/30] 及び出土遺物 [1/3・1/4]



で内湾する加曾利B1式の鉢形土器である。j397は加曾利B1式の無文粗製の深鉢である。j396は堀之内2式の底部で網代痕を残す。石器はj398はチャート製の石鏃である。遺構の時期は堀之内2式期である。

J90号土坑 (第223図)

ビア16(上り)区中央、5H-37グリッドに位置する。平面は楕円形を呈する。主軸はN-6°-Wを指す。長軸1.14m、短軸0.92m、深さ0.38mを測り、断面は皿状である。出土遺物は、覆土中に土器・石器を多量含み、上層に大形礫を有する。土器100点(1,584g)、石器は2点(989g)で凹石、磨石片がある。

J90号土坑出土遺物 (第223図、第33・35表、図版72・88)

j400・j401は同一個体で、胴部で括れ、外反しながら緩やかな波状口縁で立ち上がる深鉢である。j399は胴部片、j404は注口土器の把手である。j400・j401は称名寺1式である。j402・j403は称名寺2式の深鉢で、j402は列点が施される。石器はj405は凹石で安山岩製である。遺構の時期は称名寺式期である。

J91号土坑 (第224図、図版32)

ビア16(上り)区中央、5H-38グリッドに位置する。平面は方形を呈する。主軸はN-68°-Wを指す。長軸1.31m、短軸1.06m、深さ0.76mを測り、断面は鍋底状である。出土遺物は、覆土上層から礫・土器を多量に出土する。土器145点(1,656g)、石器2点(144g)で蔽石と黒曜石剥片類が出土する。

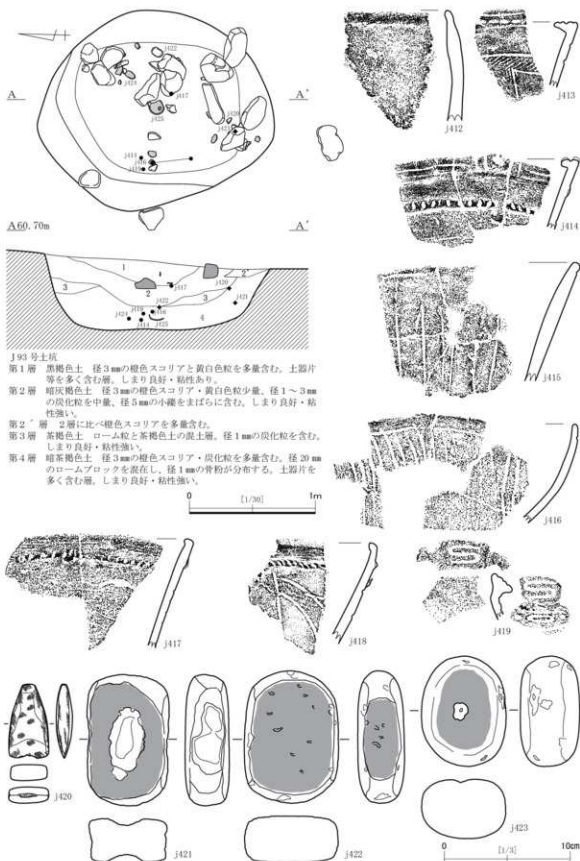
J91号土坑出土遺物 (第224図、第33表、図版73)

j407は直線的に外反するバケツ形の加曾利B1式の深鉢である。j409・j408は堀之内2式の深鉢で、刻みのある隆帯が巡る。j410は胴部片である。j411は堀之内式の深鉢底部である。

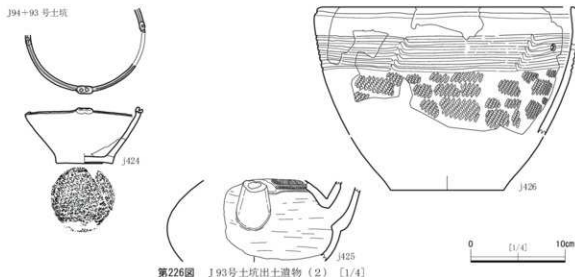
J92号土坑 (第223図)

ビア16(上り)区中央東側、5I-38グリッドに位置する。平面は円形を呈する。長軸0.76m、短軸0.66m、深さ0.16mを測り、断面は皿状である。出土遺物は、覆土上面に土器破片が出土する。土器1点220gである。

J92号土坑出土遺物 (第223図、第33表、図版72)



第225図 J93号土坑 [1/30] 及び出土遺物 (1) [1/3]



j406は丸味を持ちながら立ち上がる加曾利B1式の鉢形土器である。

J93号土坑(第225図、図版33)

ビア16(上り)区中央付近、5G-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈する。主軸はN-11°-Wを指す。長軸1.76m、短軸1.52m、深さ0.54mを測り、断面は箱形である。出土遺物は、覆土上面に磨製石斧、礫等出土する。土器233点(3,715g)、石器は11点(1,943g)であり、磨製石斧、凹石、磨石、礫石、チャート・黒曜石剥片類が出土する。

J93号土坑出土遺物(第225・226図、第33・35表、図版73・89)

j412は無文の口縁部、j413・j414・j418・j417は堀之内2式の深鉢で、刻みを持つ隆帯が巡る。j415は、縦位に沈線が入る堀之内式の粗製深鉢である。j416は堀之内式の湾曲しながら立ち上がる鉢形土器である。j419は堀之内2式の方形の把手を持つ浅鉢である。j424は堀之内2式の小形の鉢形土器で、J94号土坑の破片と接合する。j425は注口土器である。j426は内湾気味に立ち上がる加曾利B1式の鉢形土器である。石器はj420は透析石岩の定角式磨製石斧で刃部を一部欠損する。j421・j423は凹石で、j421は多孔質安山岩、j423は富士玄武岩である。j422は富士玄武岩の磨石である。

J94号土坑(第227図、図版33)

ビア16(上り)区中央付近、5H-38グリッドに位置する。平面は方形を呈する。主軸はN-8°-Eを指す。長軸1.40m、短軸1.12m、深さ0.74mを測り、断面は鍋底状である。一部袋状になっていて、地層の歪を受けている。出土遺物は、覆土上層に礫・土器が出土する。土器278点(3,827g)、土製品2点(24g)、石器11点(11,933g)である。凹石、石皿片、石錘・磨石片・黒曜石剥片類が出土する。

J94号土坑出土遺物(第227図、第33～35表、図版73・89)

j428は加曾利EⅡ式の深鉢である。j432・j431・j429は堀之内2式の深鉢である。j427・j430は堀之内式の無文の粗製深鉢である。j433は土錘、j434は土製円板である。石器はj435・j437は富士玄武岩の凹石である。

j436は多孔質安山岩製の石皿片、j438は中粒凝灰岩の石錘、j439は含軽石軟質粗粒凝灰岩の多孔石である。

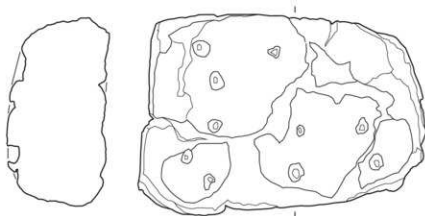
J95号土坑(第229図)

ビア16(上り)区北東、5I-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈する。主軸はN-12°-Eを指す。長軸0.98m、短軸0.74m、深さ0.30mを測り、断面は皿状である。出土遺物は、覆土上面に礫等が

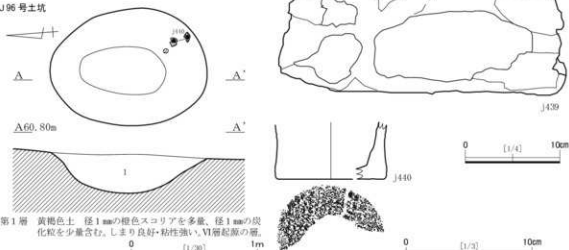


第227図 J94号土坑 [1/30] 及び出土遺物 (1) [1/3]

J94号土坑



J96号土坑



出土した他は覆土に骨粉を含む。石器が2点(271g)磨石片・敲石片などが出土する。

J96号土坑(第228図)

ビア16(上り)区中央付近、5G-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈する。主軸はN-8°-Eを指す。長軸1.12m、短軸0.94m、深さ0.20mを測り、断面は皿状である。出土遺物は、覆土上面に礫等が出土する。土器16点(265g)、石器1点(87g)敲石片が出土する。

J96号土坑出土遺物(第228図、第33表、図版73)

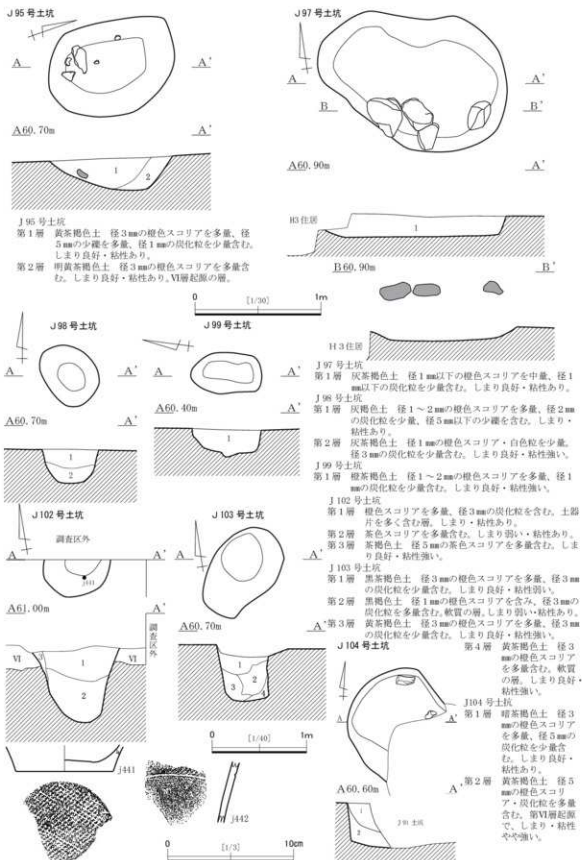
J440は堀之内式の深鉢で底部で網代痕を残す。

J97号土坑(第229図)

ビア16(上り)区北東、5H-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈する。主軸はN-60°-Wを指す。長軸0.96m、短軸1.04m、深さ0.16mを測り、断面は皿状である。出土遺物は、土器7点81gで後期前半の土器が主体的である。ほかに覆土上面に礫等が出土する。

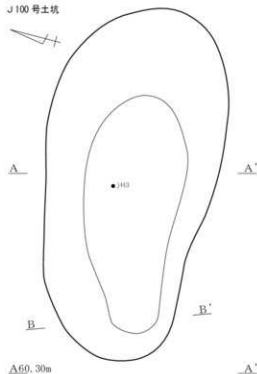
J98号土坑(第229図)

ビア16(上り)区北東、5H-38グリッドに位置する。平面は円形を呈する。長軸0.70m、短軸0.54m、深さ0.36mを測り、断面は鍋底状である。出土遺物は、土器1点(4g)が出土し、後期前半に比定さ



第229図 J95・97号土坑 [1/30]・98・99・102・103・104号土坑 [1/40]及び出土遺物 [1/3]

J100号土坑



J100号土坑

第1層 灰褐色土 径1~3mmの橙色スコリアを多量、径5mmの灰色粒(スコリア)を多量、発泡した径1mmの白色粒を中量、径10mmのロームブロックを含む。しまり良好・粘性強い。縄文遺構に多くみられる層。

J105号土坑

第1層 灰茶褐色土 径3mmの橙色スコリアを多量、径3mmの炭化粒を含む。しまり良好・粘性強い。VI層起源の土で単層。J95号土坑と同じ土。

J106号土坑

第1層 灰茶褐色土 径3mmの橙色スコリアを多量含む。しまり良好・粘性あり。

第2層 黄茶褐色土 径3mmの橙色スコリアを少量、径1mmの炭化粒を少量含む。炭化物の少ない層。しまり良好・粘性あり。

J107号土坑

第1層 黄茶褐色土 径3mmの橙色スコリアを多量含む。しまり良好・粘性強い。

第2層 茶褐色土 径1~3mmの橙色スコリアを含む。しまり良好・粘性あり。

J108号土坑

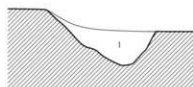
第1層 黄茶褐色土 径1~3mmの橙色スコリアを多量含む。径5~10mmのロームブロックを混入する。しまり・粘性良好。

第2層 黄茶褐色土 径1mmの橙色スコリアを含む。しまり良好・粘性強い。

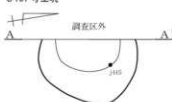
A60.30m



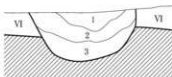
B60.30m



J107号土坑



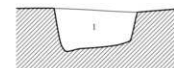
A61.00m



J105号土坑



A60.80m



J106号土坑



A60.90m



J108号土坑



A60.60m



第230図 J100・105~108号土坑 [1/40] 及び出土遺物 [1/3・1/2]

れる。

J 99号土坑（第229図）

ビア16（上り）区北東、5H-37グリッドに位置する。平面は楕円形を呈する。主軸はN-0°を指す。長軸0.96m、短軸1.04m、深さ0.16mを測り、断面は鍋底状である。出土遺物は、土器6点（43g）、黒曜石剥片類1点（0.2g）が出土し、後期前半に比定される。

J 100号土坑（第230図、図版34）

ビア16（上り）区南東、5H-37グリッドに位置する。平面は楕円形を呈する大形土坑である。主軸はN-81°-Eを指す。長軸3.71m、短軸1.95m、深さ0.79mを測り、断面は鍋底状である。出土遺物は、土器30点（267g）で、石器は黒曜石剥片類が5点（16g）出土する。

J 100号土坑出土遺物（第230図、第33表、図版74）

j443は堀之内2式の深鉢である。

J 101号土坑（第231図）

ビア16（上り）区北東、5H-38グリッドに位置する。平面は円形を呈する。長軸1.03m、短軸0.94m、深さ0.34mを測り、断面は箱形である。出土遺物は、土器102点（793g）、石器は礫石と黒曜石剥片類が2点（485g）が出土する。覆土上に炭等が出土する。

J 101号土坑出土遺物（第231図、第33・35表、図版74・89）

j446は堀之内2式の深鉢で、j447は堀之内2式の浅鉢である。j448は礫石である。

J 102号土坑（第229図）

ビア16（上り）区北東隅、5I-38グリッドに位置し、北側は調査区外に広がる。平面は円形を呈する。長軸0.84m、短軸（0.45）m、深さ0.63mを測り、断面は箱形である。出土遺物は、上層から土器が多量に出土する。土器18点（211g）、石器は礫石片と黒曜石剥片類2点（24g）である。

J 102号土坑出土遺物（第229図、第33表、図版74）

j442は堀之内2式の深鉢で、j441は堀之内式の深鉢底部で網代痕を残す。

J 103号土坑（第229図）

ビア16（上り）区中央、5G-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈する。主軸はN-43°-Eを指す。長軸1.02m、短軸0.70m、深さ0.48mを測り、断面は箱形である。遺物は出土しない。

J 104号土坑（第229図）

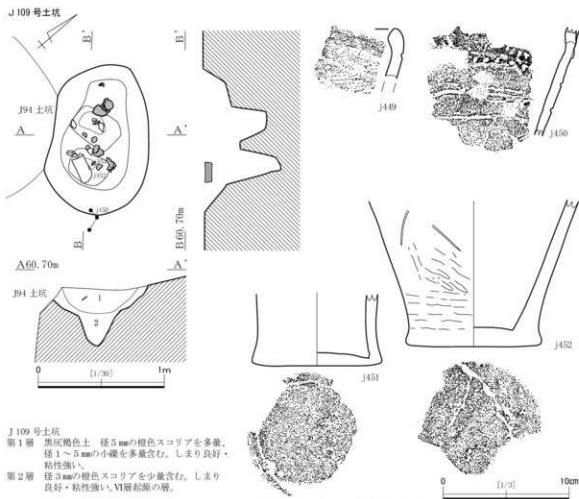
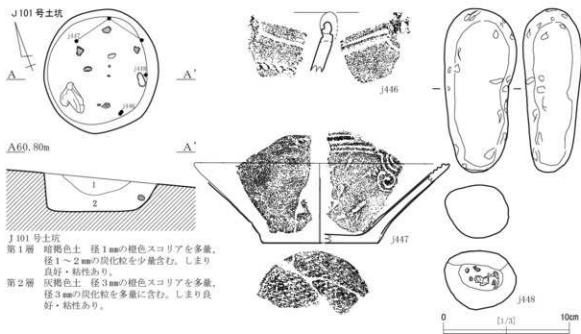
ビア16（上り）区中央、5H-38グリッドに位置し、J 91号土坑と重複し南東を切られる。平面は楕円形を呈する。長軸1.30m、短軸（0.88）m、深さ0.40mを測り、断面は箱形である。遺物は、黒曜石剥片類が1点（2g）出土した。

J 105号土坑（第230図）

ビア16（上り）区中央北側、5H-39グリッドに位置する。平面は楕円形を呈する。長軸0.93m、短軸0.90m、深さ0.49mを測り、断面は箱形である。出土遺物は、土器19点（101g）で堀之内2式が主体を占める。

J 106号土坑（第230図）

ビア16（上り）区中央やや北より、5H-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈し、北側に段を形成する。主軸はN-16°-Eを指す。長軸1.13m、短軸0.76m、深さ0.61mを測り、断面は箱形である。出土遺物は、土器4点・石鏃1点で（36g）を量り、土器は堀之内1式が主体を占める。



第231図 J101・109号土坑 [1/30] 及び出土遺物 [1/3]

J 106 号土坑出土遺物(第230図、第35表、図版88)

j444は完存する黒曜石製の石鏃である。左右非対称な細身の凹基で、両面には1次剝離面を残し、調整はおおむね粗い。

J 107 号土坑(第230図)

ビア16(上り)区南西、5G-37グリッドに位置し、1/2調査し西側は調査区外に広がる。平面は円形を呈する。長軸1.09m、短軸(0.79)m、深さ0.38mを測り、断面は鍋底状である。出土遺物は、土器14点(160g)である。

J 107 号土坑出土遺物(第230図、第33表、図版74)

j445は堀之内1式の深鉢である。

J 108 号土坑(第230図)

ビア16(上り)区南西、5G-37グリッドに位置する。平面はやや歪んだ円形を呈する。長軸1.17m、短軸1.04m、深さ0.36mを測り、断面は鍋底状である。出土遺物は、土器4点(42g)で後期前半の土器が主体である。

J 109 号土坑(第231図、図版34)

ビア16(上り)区中央やや北より、5H-38グリッドに位置し、J 94号土坑と重複し南西を切られる。平面は楕円形を呈する。長軸1.23m、短軸0.83m、深さ0.54mを測り、断面は皿状で、坑底に2穴のピットがある。上層から土器片・礫が出土する。出土遺物は、土器61点(1,184g)、黒曜石剥片類1点(1g)である。

J 109 号土坑出土遺物(第231図、第33表、図版74)

j449は称名寺I式の深鉢である。j450は堀之内2式の深鉢で、j451・j452は堀之内式の深鉢底部である。

J 110 号土坑(第232図)

ビア16(上り)区中央、5H-38グリッドに位置し、J 94号土坑と重複し西側を切られる。平面は円形を呈する。長軸0.74m、短軸0.73m、深さ0.69mを測り、断面は柱穴状である。出土遺物は、土器2点(30g)で後期前半の土器が主体である。

J 111 号土坑(第232図)

ビア16(上り)区中央、5H-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈する。主軸はN-64°-Eを指す。長軸0.99m、短軸0.70m、深さ0.79mを測り、断面は箱形で、底面に段が形成される。出土遺物は、土器7点(66g)で後期前半の土器が主体である。

J 112 号土坑(第232図)

ビア16(上り)区中央、5H-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈する。主軸はN-30°-Eを指す。長軸0.99m、短軸0.70m、深さ0.79mを測り、断面は鍋底状である。出土遺物は、土器1点28gで後期前半の土器が主体である。

J 113 号土坑(第232図)

ビア16(上り)区中央やや北より、5H-38グリッドに位置する。平面は円形を呈する。長軸0.84m、短軸0.77m、深さ0.25mを測り、断面は鍋底状である。出土遺物は、土器1点(23g)で後期前半の土器である。磨石片1点79gである。

J 114 号土坑(第232図)

ビア16(上り)区中央、5H-38グリッドに位置する。平面は円形を呈する。長軸0.65m、短軸0.53m、深さ0.38mを測り、断面は鍋底状である。出土遺物は、土器10点(87g)で後期前半の土器が主体である。

J 115号土坑(第232図)

ビア16(上り)区中央西より、5G-38グリッドに位置する。平面は楕円形を呈する。主軸はN-10°-Eを指す。長軸1.00m、短軸0.85m、深さ0.21mを測り、断面は鍋底状である。出土遺物は、土器20点(193g)である。

J 115号土坑出土遺物(第232図、第33表、図版74)

j453は堀之内式の無文の粗製深鉢である。

J 116号土坑(第232図)

ビア16(上り)区中央西より、5G-38グリッドに位置し、2/3ほどの残存で西側をJ 93号土坑に切られる。平面は円形を呈する。長軸0.88m、短軸(0.53)m、深さ0.45mを測り、断面は鍋底状である。出土遺物は、土器6点(45g)で、後期前半の土器が主体である。

J 117号土坑(第233図)

ビア16(上り)区中央西より、5G-38グリッドに位置する。平面は円形を呈する。長軸1.11m、短軸0.89m、深さ0.47mを測り、断面は鍋底状で、西側は一段深くなる。出土遺物は、土器片13点(88g)で、堀之内2式が主体である。石器は黒曜石剥片類1点(0.4g)である。

J 118号土坑(第233図)

ビア16(上り)区中央西より、5G-38グリッドに位置する。平面は円形を呈する。長軸0.79m、短軸0.65m、深さ0.64mを測り、断面は柱穴状である。出土遺物は、土器片15点(146g)で、堀之内2式が主体である。

J 119号土坑(第233図)

ビア16(上り)区中央西壁際、5G-38グリッドに位置する。平面は円形を呈する。長軸0.62m、短軸0.54m、深さ0.37mを測り、断面は柱穴状を呈し、南側は一段深くなる。出土遺物は、土器片14点(76g)で、後期前半が主体である。

J 120号土坑(第233図)

ビア16(上り)区北西より、5G-38グリッドに位置する。平面は円形を呈する。長軸0.90m、短軸0.86m、深さ0.31mを測り、断面は鍋底状である。出土遺物は、土器13点(120g)で、堀之内2式が主体である。

J 121号土坑(第233図)

ビア16(上り)区中央西より、5H-38グリッドに位置し、西側をJ 109号土坑に切られる。主軸はN-16°-Wを指す。平面は楕円形を呈する。長軸1.35m、短軸(0.93)m、深さ0.26mを測り、断面は皿状である。出土遺物は、土器4点(19g)で、堀之内2式が主体である。石器は黒曜石剥片類1点(0.3g)である。

J 122号土坑(第233図)

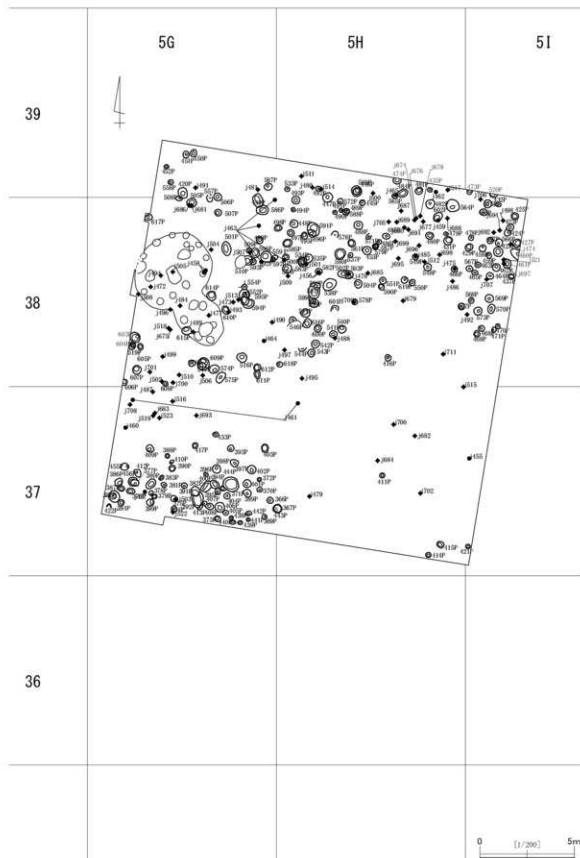
ビア16(上り)区中央西より、5G-38グリッドに位置する。平面は円形を呈する。長軸0.93m、短軸0.90m、深さ0.15mを測り、断面は皿状である。出土遺物は、土器6点(92g)で、堀之内2式が主体である。

J 123号土坑(第233図)

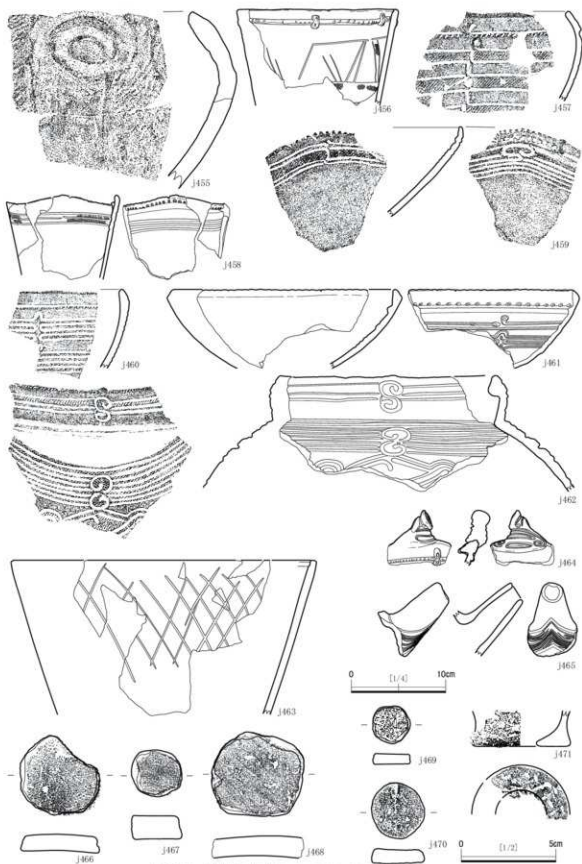
ビア16(上り)区中央、5H-38グリッドに位置し、西側をJ 601ビットに切られる。平面は円形を呈する。長軸0.64m、短軸(0.56)m、深さ0.12mを測り、断面は皿状である。遺物は出土しない。

J 124号土坑(第233図)

ビア16(上り)区中央西壁際、5G-38グリッドに位置し、南側でJ 125号土坑と重複する。主軸は



第234図 縄文時代ピット配置図及び遺構外出土遺物分布図 [1/200]



第235図 遺構外出土遺物(1) [1/4・1/2]

N-21°-Wを指す。平面は楕円形を呈する。長軸0.91 m、短軸0.65 m、深さ0.19 mを測り、断面は皿状である。出土遺物は、土器1点(19g)で、堀之内2式が主体である。

J 124 号土坑出土遺物(第233図、第33表、図版74)

j454は堀之内2式の深鉢である。

J 125 号土坑(第233図)

ピア16(上り)区中央西壁際、5G-38グリッドに位置し、北側でJ 124号土坑と重複する。主軸はN-21°-Wを指す。平面は楕円形を呈する。長軸1.07 m、短軸0.66 m、深さ0.15 mを測り、断面は皿状である。遺物は出土しない。

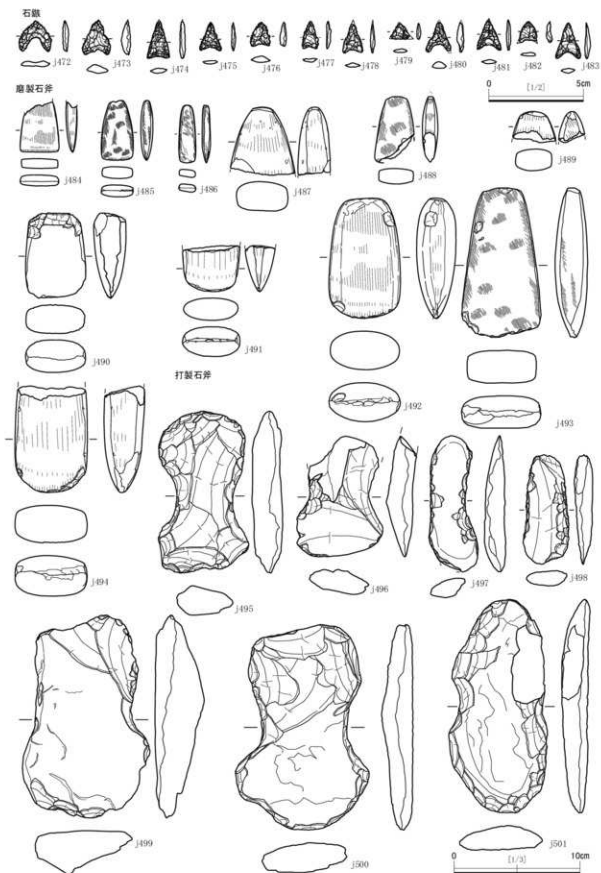
J 126 号土坑(第233図)旧J 371 ビット

ピア16(上り)区中央西壁際、5G-37グリッドに位置する。平面は円形を呈する。長軸0.81 m、短軸0.74 m、深さ0.25 mを測り、断面は鍋底状である。覆土上層から縄が出土したが遺物は出土しない。

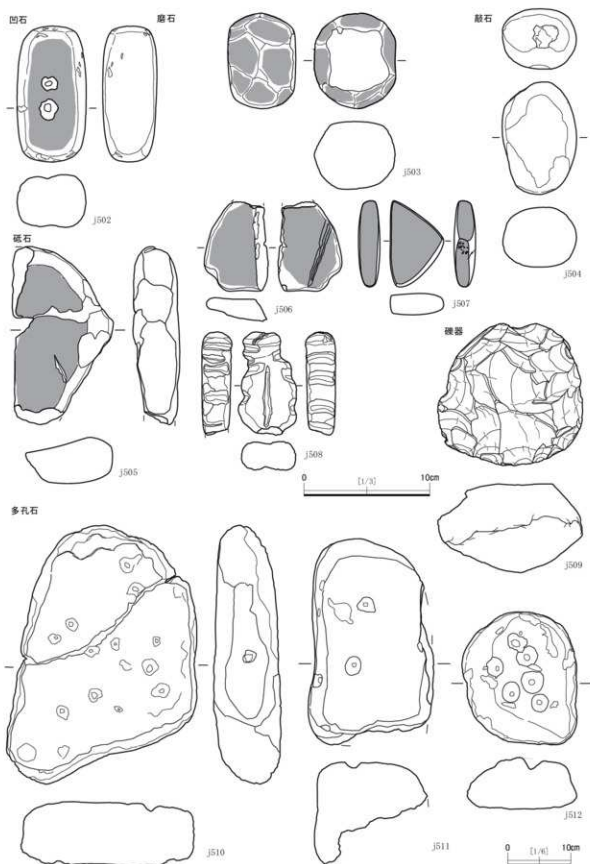
(5) ビット(第234図、第12表)

ビットは、241基が検出され、調査区北辺部と南西隅に集中して検出される。Va層を覆土とし、主にVI層上面で検出された。出土遺物は、73基のビットから土器片307点(2,553g)、黒曜石剥片類等20点(112g)が出土している。時期は称名寺式期から加曾利B式期までの縄文時代後期の土器である。

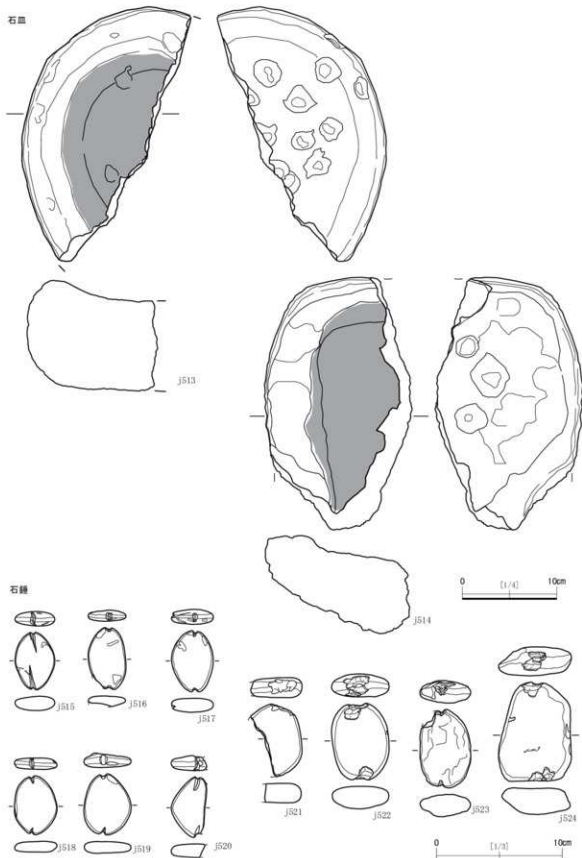
371ビット後期土器6点(179g)、376ビット後期土器2点(12g)、377ビット後期土器10点(140g)、378ビット後期土器11点(105g)、380ビット後期土器1点(5.8g)、384ビット後期土器10点(95g)、380ビット後期土器1点(5g)、384ビット後期土器10点(95g)、385ビット9点(115g)、386ビット後期土器15点(86g)、400ビット後期土器1点(4g)、402ビット後期土器14点(61g)、411ビット後期土器4点(33g)、416ビット後期土器5点(63g)、418ビット後期土器5点(80g)、419ビット後期土器24点(73g)、420ビット後期土器6点(38g)、423ビット後期土器1点(11g)、428ビット後期土器1点(6g)、430ビット後期土器18点(116g)、437ビット後期土器1点(34g)、447ビット後期土器6点(111g)、453ビット後期土器2点(36g)、456ビット後期土器1点(8g)、459ビット後期土器2点(42g)、460ビット後期土器3点(37g)、480ビット後期土器1点(5g)、482ビット後期土器1点(7g)、483ビット後期土器1点(7g)、484ビット後期土器イ点(9g)、493ビット後期土器2点(17g)、494ビット後期土器1点(4g)、495ビット後期土器4点(30g)、498ビット後期土器8点(52g)、499ビット後期土器4点(5g)、501ビット後期土器14点(107g)、503ビット後期土器5点(36g)、504ビット後期土器1点(9g)、507ビット後期土器1点(10g)、511ビット後期土器3点(18g)、516ビット後期土器3点(29g)、519ビット後期土器1点(6g)、520ビット後期土器2点(16g)、521ビット後期土器2点(17g)、523ビット後期土器2点(21g)、526ビット後期土器12点(90g)、527ビット3点(13g)、528ビット後期土器1点(59g)、529ビット後期土器5点(25g)、531ビット後期土器2点(14g)、532ビット後期土器1点(6g)、538ビット後期土器10点(99g)、539ビット後期土器18点(57g)、540ビット後期土器1点(9g)、541ビット後期土器2tenn(11g)、543ビット後期土器4点(14g)、544ビット後期土器2点(15g)、545ビット後期土器1点(2g)、547ビット後期土器1点(5g)、551ビット後期土器1点(8g)、552ビット後期土器1点(21g)、555ビット3点(21g)、558ビット後期土器1点(5g)、570ビット後期土器1点(2g)、574ビット後期土器1点(9g)、578ビット1点(12g)、587ビット2点(17g)、591ビット後期土器7点(53g)、594ビット後期土器1点(5g)、610ビット後期土器4点(36g)、611ビット後期土器1点(36g)、614ビット後期土器1点(2g)、615ビット後期土器1点(20g)、616ビット後期土器1点(9g)、617ビット後期土器2点(2g)で



第236図 遺構外出土遺物(2) [1/2・1/3]



第237図 遺構外出土遺物 (3) [1/3・1/6]



第238図 遺構外出土遺物(4) [1/4・1/3]

第12表 ビア16(上り) 区ビット計測表(単位: m)

位置	遺構名	長さ	幅	深さ	形状	位置	遺構名	長さ	幅	深さ	形状	位置	遺構名	長さ	幅	深さ	形状
住居跡						56-37	C 104 ビット	0.52	0.4	0.3	方形	56-38	C 304 ビット	0.29	0.25	0.24	方形
H 1 住	1 ビット	0.74	0.7	0.45	円形	56-37	C 105 ビット	0.58	0.38	0.18	楕円	56-38	C 305 ビット	0.26	0.26	0.18	方形
H 1 住	2 ビット	0.84	0.82	0.6	円形	56-37	C 106 ビット	0.29	0.25	0.42	円形	56-38	C 306 ビット	0.29	0.24	0.17	方形
H 1 住	4 ビット	(0.6)	(0.4)	0.45	円形	56-37	C 107 ビット	0.39	0.36	0.36	円形	56-37	C 307 ビット	0.31	0.26	0.25	方形
H 1 住	約縦穴1	0.8	0.4	0.25	溝形	56-37	C 108 ビット	0.23	0.22	0.63	円形	56-37	C 308 ビット	0.35	0.32	0.24	方形
H 1 住	5 ビット	0.4	0.35	0.2	方形	56-37	C 109 ビット	0.33	0.3	0.14	方形	56-37	C 309 ビット	0.26	(0.15)	0.27	不整
H 1 住	床下土塊1	1.10	0.85	0.15	溝形	56-37	C 110 ビット	(0.19)	0.35	0.47	不整	56-37	C 310 ビット	0.23	(0.15)	0.31	不整
H 2 住	1 ビット	0.29	0.25	0.55	方形	56-37・38	C 111 ビット	0.68	0.47	0.72	楕円	56-38	C 311 ビット	0.32	0.29	0.25	方形
H 2 住	2 ビット	0.5	0.43	0.47	円形	56-37	C 112 ビット	0.32	0.24	0.2	楕円	56-38	C 312 ビット	0.26	0.25	0.17	方形
H 2 住	床下土塊	0.48	0.42	0.18	円形	56-37	C 113 ビット	0.5	0.44	0.26	楕円	56-38	C 313 ビット	0.26	0.24	0.23	方形
H 3 住	1 ビット	0.75	0.6	0.90	円形	次条	C 114 ビット	C 1 号竪立5ビット				56-38	C 314 ビット	0.47	0.34	0.67	方形
H 3 住	2 ビット	0.72	0.48	0.76	円形	次条	C 115 ビット	C 1 号竪立4ビット				56-38	C 315 ビット	0.22	0.22	0.18	方形
H 3 住	3 ビット	0.7	0.6	0.8	円形	次条	C 116 ビット	C 2 号竪立3ビット				56-37	C 316 ビット	0.24	0.2	0.12	円形
H 3 住	4 ビット	0.45	0.4	0.79	円形	次条	C 117 ビット	C 2 号竪立5ビット				56-38	C 317 ビット	0.3	0.26	0.18	円形
H 3 住	約縦穴	0.55	0.4	0.18	方形	次条	C 118 ビット	C 1 号竪立6ビット				56-37	C 318 ビット	0.25	0.24	0.32	方形
H 3 住	床下土塊1	0.8	0.6	0.1	円形	56-37	C 119 ビット	(0.37)	0.45	0.6	不整	56-37	C 319 ビット	0.2	0.2	0.09	方形
H 3 住	床下土塊2	0.75	0.6	0.1	不整	56-37	C 120 ビット	0.23	0.2	0.18	円形	56-37	C 320 ビット	0.24	0.23	0.23	方形
J 4 住	1 ビット	(0.70)	(0.40)	0.4	楕円	56-37	C 121 ビット	(0.43)	0.45	0.29	不整	56-37	C 321 ビット	0.21	0.2	0.56	方形
J 4 住	2 ビット	0.6	0.48	0.09	不整	56-37	C 122 ビット	0.33	0.32	0.39	円形	56-37	C 322 ビット	0.25	0.22	0.39	円形
J 4 住	3 ビット	0.35	0.33	0.26	円形	次条	C 123 ビット	C 1 号竪立3ビット				56-37	C 323 ビット	0.3	0.28	0.22	方形
J 4 住	4 ビット	0.44	0.38	0.62	円形	次条	C 124 ビット	C 1 号竪立1ビット				56-37	C 324 ビット	0.27	0.26	0.31	方形
J 4 住	5 ビット	0.35	0.33	0.45	円形	次条	C 125 ビット	C 2 号竪立1ビット				56-37	C 325 ビット	0.27	0.24	0.18	方形
J 4 住	6 ビット	0.26	0.26	0.17	円形	56-37	C 126 ビット	0.66	0.5	0.49	楕円	56-37	C 326 ビット	0.38	0.32	0.52	方形
J 4 住	7 ビット	0.31	0.3	0.08	円形	56-37	C 127 ビット	0.61	0.42	0.3	方形	56-38	C 327 ビット	0.21	0.21	0.11	方形
J 4 住	8 ビット	0.31	0.3	0.58	円形	56-37	C 128 ビット	0.44	0.39	0.38	方形	56-37	C 328 ビット	0.35	0.23	0.16	楕円
J 4 住	9 ビット	0.32	0.28	0.54	円形	56-37	C 129 ビット	0.27	0.23	0.28	方形	56-37	C 329 ビット	0.36	(0.19)	0.26	方形
J 4 住	10 ビット	0.35	0.3	0.5	円形	56-37	C 130 ビット	0.37	0.27	0.36	方形	56-37	C 330 ビット	0.32	0.29	0.21	溝穴
J 4 住	11 ビット	0.33	0.26	0.54	円形	次条	C 131 ビット	C 6 号竪立14ビット				56-38	C 331 ビット	0.2	0.19	0.13	方形
J 4 住	12 ビット	(0.30)	(0.16)	0.65	円形	56-37	C 132 ビット	0.42	(0.33)	0.28	不整	56-37	C 332 ビット	0.29	0.28	0.42	方形
J 4 住	13 ビット	0.32	0.3	0.7	円形	56-37	C 133 ビット	0.3	0.27	0.35	方形	56-37	C 333 ビット	0.32	(0.17)	0.57	方形
J 4 住	14 ビット	0.38	0.34	0.74	円形	56-37	C 134 ビット	0.61	0.33	0.27	溝形	56-37	C 334 ビット	0.37	0.3	0.3	方形
J 4 住	15 ビット	0.41	0.38	0.47	円形	56-37	C 135 ビット	0.56	0.52	0.27	方形	56-37	C 335 ビット	0.26	0.26	0.17	方形
J 4 住	16 ビット	0.48	0.39	0.4	円形	56-37	C 136 ビット	0.32	0.27	0.5	方形	次条	C 336 ビット	H 2 住 IP に変更のため次条			
J 4 住	17 ビット	0.43	0.35	0.27	円形	51-37	K 137 ビット	0.33	0.31	0.42	楕円	次条	C 337 ビット	H 2 住 IP に変更のため次条			
J 4 住	18 ビット	0.48	(0.33)	0.25	円形	次条	C 138 ビット	C 4 号竪立4ビット				56-37	C 338 ビット	0.29	0.26	0.29	円形
J 4 住	19 ビット	0.33	(0.25)	0.2	円形	56-37	C 139 ビット	0.38	0.34	0.32	方形	56-37	C 339 ビット	(0.21)	0.24	0.43	不整
J 4 住	20 ビット	0.43	0.38	0.6	円形	次条	C 140 ビット	C 3 号竪立3ビット				56-37	C 340 ビット	0.4	0.3	0.46	楕円
J 4 住	21 ビット	0.6	0.45	0.29	不整	56-37	C 141 ビット	0.7	0.47	0.67	楕円	56-37	C 341 ビット	0.29	0.14	0.29	不整
J 4 住	土塊1	0.71	0.62	0.1	不整	次条	C 142 ビット	C 4 号竪立6ビット				56-37	C 342 ビット	0.36	0.3	0.4	方形
J 4 住	土塊2	0.78	0.65	0.12	不整	56-38	C 143 ビット	0.3	0.27	0.39	円形	56-37	C 343 ビット	0.24	0.22	0.3	方形
竪立柱礎物						56-37	C 144 ビット	0.7	0.69	0.55	円形	次条	C 344 ビット				
C1 竪柱	1 ビット	0.34	0.26	0.3	方形	次条	C 145 ビット	C 2 号竪立4ビット				次条	C 345 ビット				
C1 竪柱	2 ビット	0.4	(0.11)	0.44	円形	次条	C 146 ビット	C 6 号竪立13ビット				次条	C 346 ビット				
C1 竪柱	3 ビット	0.43	0.37	0.25	円形	56-37	C 147 ビット	0.24	0.23	0.24	方形	次条	C 347 ビット				
C1 竪柱	4 ビット	0.34	0.28	0.3	円形	次条	C 148 ビット	C 2 号竪立2ビット				次条	C 348 ビット				
C1 竪柱	5 ビット	0.45	0.43	0.55	円形	次条	C 149 ビット	C 1 号竪立2ビット				56-37	C 349 ビット	0.26	0.24	0.13	円形
C1 竪柱	6 ビット	0.57	0.57	0.7	円形	56-37	C 150 ビット	(0.13)	0.33	0.3	不整	56-37	C 350 ビット	(0.20)	0.28	0.23	不整
C2 竪柱	1 ビット	0.49	(0.26)	0.3	円形	56-37	C 151 ビット	0.25	0.3	0.3	方形	56-37	C 351 ビット	0.34	0.28	0.5	方形
C2 竪柱	2 ビット	0.46	0.37	0.8	方形	56-37	C 152 ビット	0.28	0.22	0.23	方形	56-38	C 352 ビット	0.25	0.22	0.05	方形
C2 竪柱	3 ビット	0.47	0.38	0.92	円形	次条	C 153 ビット	C 6 号竪立12ビット				56-38	C 353 ビット	0.3	0.29	0.53	方形
C2 竪柱	4 ビット	0.42	0.36	0.4	方形	56-37	C 154 ビット	(0.15)	0.4	0.71	不整	56-38	C 354 ビット	0.34	0.35	0.1	方形
C2 竪柱	5 ビット	0.45	0.42	0.42	円形	56-37	C 155 ビット	0.37	0.27	0.54	楕円	56-38	C 355 ビット	0.28	0.28	0.8	方形
C3 竪柱	1 ビット	0.46	0.46	0.4	方形	56-37	C 156 ビット	0.4	0.4	0.18	円形	56-38	C 356 ビット	0.35	0.29	0.07	楕円
C3 竪柱	2 ビット	0.37	0.27	0.58	方形	56-37	C 157 ビット	0.24	0.23	0.23	円形	56-38	C 357 ビット	0.38	0.37	0.1	方形
C3 竪柱	3 ビット	0.38	0.37	0.62	楕円	次条	C 158 ビット	C 3 号竪立5ビット				56-38	C 358 ビット	0.36	0.25	0.08	方形

第4節 ビア16(上り)区の調査

位置	道標名	長さ	幅	深さ	形状	位置	道標名	長さ	幅	深さ	形状	位置	道標名	長さ	幅	深さ	形状
○距離4	4ビット	0.31	0.26	0.43	円形	△欠番	C159ビット	C3号線立4ビット				○距離38	C359ビット	0.29	0.29	0.22	方形
○距離5	5ビット	0.39	0.37	0.5	方形	○距離37	C160ビット	(0.25)	0.25	0.33	不整	○距離38	C360ビット	0.26	0.25	0.35	方形
○距離6	6ビット	0.37	0.30	0.4	横円	△欠番	C161ビット	C3号線立6ビット				○距離38	C361ビット	0.29	0.25	0.18	方形
○距離7	7ビット	0.4	0.36	0.30	横円	○距離37	C162ビット	0.46	0.28	0.27	横方	○距離38	C362ビット	0.37	0.31	0.3	円形
○距離8	8ビット	0.46	0.37	0.62	横円	○距離37	C163ビット	1.0	0.63	0.87	横方	○距離38	C363ビット	0.25	0.25	0.13	円形
○距離9	9ビット	(0.27)	(0.18)	0.3	横円	○距離37	C164ビット	0.36	0.3	0.34	方形	△欠番	364ビット				
○距離10	10ビット	0.5	0.4	0.38	方形	○距離37	C165ビット	0.34	0.28	0.14	方形	△欠番	365ビット				
○距離11	11ビット	0.39	0.38	0.4	円形	○距離37	C166ビット	0.37	0.37	0.18	方形	○距離37	J366ビット	0.35	0.32	0.25	円形
○距離12	12ビット	0.35	0.3	0.18	横円	○距離37	C167ビット	0.35	0.29	0.41	方形	○距離37	J367ビット	0.46	0.46	0.2	円形
○距離13	13ビット	0.56	0.39	0.22	横円	○距離37	C168ビット	0.45	0.42	0.59	方形	△欠番	368ビット				
○距離14	14ビット	0.36	0.24	0.12	方形	○距離37	C169ビット	0.55	0.5	0.46	横円	○距離37	J369ビット	0.27	0.24	0.27	円形
○距離15	15ビット	0.49	0.35	0.42	横円	○距離37	C170ビット	(0.2)	0.3	0.42	不整	○距離37	J370ビット	0.31	0.26	0.24	円形
○距離16	16ビット	0.35	0.27	0.48	方形	○距離37	C171ビット	(0.32)	0.32	0.3	不整	○距離37	J371ビット	0.81	0.74	0.25	円形
○距離17	17ビット	0.25	0.21	0.45	方形	○距離37	C172ビット	0.35	0.29	0.36	不整	○距離37	J372ビット	0.22	0.21	0.23	円形
○距離18	18ビット	0.3	0.29	0.48	横円	○距離37	C173ビット	0.41	0.36	0.71	円形	○距離37	J373ビット	0.32	0.3	0.5	円形
○距離19	19ビット	0.44	0.4	0.4	方形	○距離37	C174ビット	0.45	0.36	0.96	円形	○距離37	J374ビット	0.31	0.27	0.2	円形
○距離20	20ビット	0.65	0.52	0.75	横円	○距離37	C175ビット	0.43	0.18	0.3	不整	○距離37	J375ビット	0.38	0.3	0.24	円形
○距離21	21ビット	0.27	0.26	0.45	横円	△欠番	C176ビット	C6号線立8ビット				○距離37	J376ビット	0.44	0.31	0.35	横方
○距離22	22ビット	0.36	0.2	0.5	横円	○距離37	C177ビット	0.71	0.62	0.18	円形	○距離37	J377ビット	0.42	0.43	0.4	方形
○距離23	23ビット	0.28	0.25	0.6	方形	○距離37	C178ビット	0.77	0.5	0.53	横円	○距離37	J378ビット	0.25	0.23	0.24	円形
○距離24	24ビット	0.35	0.3	0.4	横円	○距離37	C179ビット	0.64	0.62	0.46	方形	○距離37	J379ビット	0.28	0.24	0.15	円形
○距離25	25ビット	0.35	(0.32)	0.2	横円	○距離37	C180ビット	0.42	0.35	0.62	円形	○距離37	J380ビット	0.62	0.39	0.33	横円
○距離26	26ビット	0.33	0.28	0.45	横円	○距離37	C181ビット	0.38	(0.28)	0.53	円形	○距離37	J381ビット	0.29	0.25	0.24	円形
○距離27	27ビット	0.59	0.57	0.7	円形	○距離37	C182ビット	0.32	0.3	0.33	方形	○距離37	J382ビット	0.31	0.3	0.25	円形
○距離28	28ビット	0.40	(0.32)	0.7	横円	○距離37	C183ビット	0.42	0.37	0.64	方形	○距離37	J383ビット	0.3	0.2	0.25	横円
○距離29	29ビット	0.33	0.3	0.55	横円	○距離37	C184ビット	0.3	0.29	0.54	方形	○距離37	J384ビット	0.34	0.3	0.2	円形
○距離30	30ビット	0.48	0.39	0.7	横円	△欠番	C185ビット					○距離37	J385ビット	0.58	0.58	0.2	円形
○距離31	31ビット	0.4	0.39	0.8	横円	○距離37	C186ビット	0.6	0.54	0.61	方形	○距離37	J386ビット	0.42	0.36	0.33	円形
○距離32	32ビット	0.35	0.35	0.5	横円	○距離37	C187ビット	0.37	0.28	0.43	方形	○距離37	J387ビット	0.33	0.32	0.45	円形
○距離33	33ビット	0.38	0.38	0.64	方形	○距離37	C188ビット	0.27	0.26	0.42	方形	○距離37	J388ビット	0.25	0.24	0.35	円形
○距離34	34ビット	0.36	0.33	0.32	円形	○距離38	C189ビット	0.22	0.21	0.35	円形	○距離37	J389ビット	0.44	0.37	0.25	円形
○距離35	35ビット	0.59	0.37	0.35	横円	○距離38	C190ビット	0.27	0.22	0.3	方形	○距離37	J390ビット	0.35	0.33	0.55	円形
○距離36	36ビット	0.47	0.33	0.18	横円	○距離38	C191ビット	0.73	0.53	0.29	円形	○距離37	J391ビット	0.52	0.48	0.32	円形
○距離37	37ビット	0.36	0.35	0.4	横円	△欠番	C192ビット	C5号線立1ビット				○距離37	J392ビット	(0.6)	0.6	0.35	不整
○距離38	38ビット	0.57	0.49	0.68	横円	○距離37	C193ビット	0.32	(0.24)	0.32	不整	○距離37	J393ビット	0.34	0.34	0.42	円形
○距離39	39ビット	0.3	0.25	0.5	横円	○距離37	C194ビット	0.3	0.28	0.5	方形	○距離37	J394ビット	0.46	0.43	0.2	横円
○距離40	40ビット	0.26	0.21	0.5	横円	○距離37	C195ビット	0.25	0.22	0.44	方形	○距離37	J395ビット	0.35	0.27	0.25	横円
○距離41	41ビット	0.3	0.27	0.7	横円	○距離37	C196ビット	(0.32)	0.4	0.73	不整	○距離37	J396ビット	0.24	0.19	0.12	円形
○距離42	42ビット	0.36	0.23	0.22	方形	○距離37	C197ビット	0.4	(0.35)	0.68	不整	○距離37	J397ビット	0.44	0.36	0.25	円形
○距離43	43ビット	0.42	0.35	0.34	横円	○距離37	C198ビット	(0.64)	(0.58)	0.49	不整	○距離37	J398ビット	0.44	0.44	0.22	円形
○距離44	44ビット	0.32	0.32	0.22	円形	○距離37	C199ビット	(0.54)	(0.5)	0.3	方形	○距離37	J399ビット	0.4	0.38	0.34	円形
ビット						○距離37	C200ビット	0.53	0.48	0.53	方形	○距離37	J400ビット	0.63	0.43	0.23	円形
○距離38	K1ビット	0.7	0.59	0.33	横円	○距離38	C201ビット	0.26	0.23	0.25	方形	○距離37	J401ビット	0.43	0.42	0.32	円形
○距離38	K2ビット	0.46	0.4	0.35	横円	△欠番	C202ビット	C4号線立11ビット				○距離37	J402ビット	0.46	0.45	0.54	円形
○距離38	K3ビット	0.4	0.4	0.25	円形	○距離37	C203ビット	0.35	(0.18)	0.45	不整	○距離37	J403ビット	0.43	0.25	0.27	横円
○距離38	K4ビット	0.49	0.41	0.3	横円	○距離37	C204ビット	(0.26)	(0.14)	0.2	不整	○距離37	J404ビット	0.33	0.32	0.25	円形
○距離38	K5ビット	0.48	0.36	0.63	横円	○距離37	C205ビット	0.3	0.23	0.17	方形	○距離37	J405ビット	0.3	0.27	0.15	円形
○距離38	K6ビット	0.31	0.3	0.36	円形	○距離37	C206ビット	0.66	0.48	0.55	横方	○距離37	J406ビット	0.5	0.5	0.65	円形
○距離38	K7ビット	0.36	0.35	0.39	円形	○距離37	C207ビット	0.32	0.28	0.43	円形	○距離37	J407ビット	(0.26)	0.22	0.33	円形
○距離38	K8ビット	0.36	0.35	0.26	円形	○距離37	C208ビット	(0.23)	0.29	0.21	不整	○距離37	J408ビット	(0.4)	0.34	0.47	横円
○距離38	K9ビット	0.48	0.38	0.17	横円	○距離37	C209ビット	0.35	0.34	0.24	円形	○距離37	J409ビット	0.4	0.38	0.4	円形
○距離38	K10ビット	0.61	0.55	0.19	横円	○距離37	C210ビット	0.4	0.29	0.32	横円	○距離37	J410ビット	0.25	0.15	0.3	円形
○距離37	K11ビット	0.4	0.34	0.5	横円	○距離37	C211ビット	(0.2)	0.3	0.2	不整	○距離37	J411ビット	0.27	0.25	0.23	円形
○距離37	K12ビット	0.37	0.34	0.55	円形	○距離37	C212ビット	0.4	0.36	0.21	横円	○距離37	J412ビット	0.38	0.33	0.2	横円
○距離37	K13ビット	0.35	0.34	0.25	円形	○距離37	C213ビット	0.38	0.36	0.2	横円	○距離37	J413ビット	0.3	(0.17)	0.24	不整
○距離37	K14ビット	0.27	0.26	0.33	円形	○距離37	C214ビット	0.36	0.21	0.61	方形	○距離37	J414ビット	0.28	0.27	0.2	円形
○距離38	K15ビット	0.37	0.32	0.13	円形	○距離37	C215ビット	0.37	0.35	0.51	円形	○距離37	J415ビット	0.38	0.31	0.1	円形
○距離38	K16ビット	0.25	0.23	0.18	円形	○距離37・38	C216ビット	0.36	0.35	0.18	方形	○距離38	J416ビット	0.35	0.32	0.18	円形
○距離38	K17ビット	0.33	0.22	0.15	横円	○距離37	C217ビット	0.43	0.35	0.15	横円	○距離37	J417ビット	0.32	0.28	0.25	円形
○距離38	K18ビット	0.41	0.3	0.07	横円	○距離38	C218ビット	0.33	0.3	0.23	円形	J1柱立	J418ビット	0.62	0.61	0.5	円形

第5章 発見された遺構と遺物

位置	遺構名	長さ	幅	深さ	形状	位置	遺構名	長さ	幅	深さ	形状	位置	遺構名	長さ	幅	深さ	形状
50-38	K 19 ビット	0.41	0.37	0.26	円形	次番	C 219 ビット	C 5号掘立 2 ビット				J 1 柱穴	J 419 ビット	0.7	0.68	0.5	円形
50-38	K 20 ビット	0.4	0.3	0.19	円形	50-37・38	C 220 ビット	0.35	0.27	0.26	円形	50-39	J 420 ビット	0.56	0.46	0.2	隅丸
50-37	C 21 ビット	0.39	0.37	0.57	円形	次番	C 221 ビット	C 5号掘立 5 ビット				50-37	J 421 ビット	0.25	0.23	0.25	円形
50-38	K 22 ビット	0.56	0.48	0.37	円形	50-37	C 222 ビット	(0.36)	(0.13)	0.19	不整	50-37	J 422 ビット	(0.18)	0.25	0.05	不整
50-38	K 23 ビット	0.34	0.28	0.1	円形	次番	C 223 ビット	C 5号掘立 6 ビット				50-38	J 423 ビット	0.37	0.34	0.4	円形
50-38	K 24 ビット	0.37	0.27	0.1	円形	50-37	C 224 ビット	(0.37)	(0.35)	0.78	不整	50-38	J 424 ビット	(0.32)	0.35	0.5	円形
50-38	K 25 ビット	0.36	0.31	0.11	円形	50-37	C 225 ビット	0.33	0.28	0.16	方形	50-38	J 425 ビット	0.39	0.35	0.15	円形
50-38	K 26 ビット	0.28	0.25	0.1	円形	50-37	C 226 ビット	0.24	0.24	0.32	方形	J 1 柱穴	J 426 ビット	0.6	0.46	0.25	円形
次番	27 ビット					50-37	C 227 ビット	0.4	0.38	0.25	不整	50-38	J 427 ビット	0.44	(0.4)	0.15	円形
50-38	K 28 ビット	0.3	0.27	0.16	円形	50-37	C 228 ビット	0.22	0.2	0.34	方形	50-38	J 428 ビット	0.5	0.48	0.15	円形
50-38	K 29 ビット	0.3	0.26	0.13	円形	50-37	C 229 ビット	0.34	0.23	0.22	方形	50-38	J 429 ビット	0.41	0.36	0.6	円形
50-38	K 30 ビット	0.34	0.32	0.13	円形	50-37	C 230 ビット	(0.23)	0.3	0.33	不整	50-38	J 430 ビット	0.64	0.64	0.45	円形
50-38	K 31 ビット	0.3	0.29	0.42	円形	50-37	C 231 ビット	0.47	0.19	0.33	不整	50-38	J 431 ビット	0.45	0.43	0.75	円形
50-38	K 32 ビット	0.22	0.21	0.15	円形	次番	C 232 ビット	C 5号掘立 3 ビット				50-38	J 432 ビット	0.32	0.22	0.2	円形
次番	33 ビット					50-37	C 233 ビット	0.34	0.32	0.43	円形	50-37	J 433 ビット	0.27	0.26	0.25	円形
次番	34 ビット					50-37	C 234 ビット	0.2	0.19	0.5	方形	J 1 柱穴	J 434 ビット	0.55	0.5	0.5	円形
50-38	K 35 ビット	0.25	0.24	0.35	円形	50-37	C 235 ビット	0.46	0.36	0.44	円形	50-39	J 435 ビット	0.26	0.23	0.1	円形
50-38	K 36 ビット	0.39	0.3	0.2	円形	50-37	C 236 ビット	0.22	0.21	0.28	方形	次番	436 ビット				
50-37	C 37 ビット	0.49	0.34	0.19	円形	50-37	C 237 ビット	0.33	0.21	0.29	円形	50-38	J 437 ビット	0.33	0.28	0.25	円形
50-37	C 38 ビット	0.63	0.56	0.12	円形	50-37	C 238 ビット	0.3	0.27	0.15	方形	50-37	J 438 ビット	0.22	0.21	0.3	円形
50-38	K 39 ビット	0.42	0.27	0.15	円形	50-37	C 239 ビット	0.34	0.3	0.58	方形	50-37	J 439 ビット	0.26	0.2	0.32	円形
50-39	K 40 ビット	0.39	0.38	0.18	円形	50-37	C 240 ビット	0.39	0.28	0.35	方形	50-37	J 440 ビット	0.32	0.22	0.25	円形
50-38	K 41 ビット	0.35	0.34	0.25	円形	次番	C 241 ビット	C 5号掘立 7 ビット				50-37	J 441 ビット	0.22	0.2	0.2	円形
50-38	K 42 ビット	0.38	0.3	0.17	円形	次番	C 242 ビット	C 4号掘立 10 ビット				50-37	J 442 ビット	0.32	0.23	0.25	円形
50-38	K 43 ビット	0.34	0.32	0.13	円形	50-37・38	C 243 ビット	0.26	0.16	0.12	方形	50-37	J 443 ビット	0.27	0.21	0.35	円形
50-38	K 44 ビット	0.51	0.32	0.09	円形	50-38	C 244 ビット	0.35	0.36	0.47	方形	50-37	J 444 ビット	0.28	0.23	0.4	円形
50-38	K 45 ビット	0.34	0.27	0.24	円形	50-38	C 245 ビット	0.25	0.23	0.44	方形	50-38	J 445 ビット	0.29	0.28	0.55	円形
50-37	C 46 ビット	0.47	0.41	0.76	円形	50-38	C 246 ビット	0.34	0.28	0.33	方形	50-39	J 446 ビット	0.4	0.4	0.1	円形
50-37	C 47 ビット	0.51	0.34	0.19	円形	50-37	C 247 ビット	0.27	0.25	0.15	方形	50-38・39	J 447 ビット	0.53	0.51	0.5	円形
50-37	C 48 ビット	0.51	0.32	0.19	円形	50-37	C 248 ビット	0.33	0.32	0.73	方形	J 5 柱	J 448 ビット	0.43	0.4	0.24	円形
50-37	C 49 ビット	0.56	0.34	0.18	円形	50-38	C 249 ビット	0.39	0.35	0.36	円形	50-38・39	J 449 ビット	0.7	0.5	0.2	隅丸
50-37	C 50 ビット	0.24	0.22	0.21	円形	次番	C 250 ビット	C 6号掘立 1 ビット				50-39	J 450 ビット	0.39	0.34	0.24	円形
50-38	C 51 ビット	0.6	0.5	0.68	隅丸	50-38	C 251 ビット	0.29	0.27	0.19	方形	50-39	J 451 ビット	0.36	0.33	0.23	円形
次番	C 52 ビット	C 3号掘立 1 ビット				50-38	C 252 ビット	0.5	0.43	0.13	方形	50-39	J 452 ビット	0.25	0.24	0.1	円形
50-37	C 53 ビット	0.34	0.3	0.17	円形	50-38	C 253 ビット	0.23	0.21	0.16	方形	50-38	J 453 ビット	0.45	0.43	0.34	円形
50-37	C 54 ビット	0.39	0.26	0.12	円形	50-37	C 254 ビット	0.21	0.18	0.89	方形	J 1 柱穴	J 454 ビット	0.34	0.29	0.5	円形
50-37	K 55 ビット	0.43	0.42	0.22	円形	50-38	C 255 ビット	(0.2)	0.33	0.12	不整	50-37	J 455 ビット	0.43	0.38	0.2	円形

第4節 ビア16(上り)区の調査

位置	道標名	長さ	幅	深さ	形状	位置	道標名	長さ	幅	深さ	形状	位置	道標名	長さ	幅	深さ	形状
51-37	C 56 ビット	0.35	0.33	0.42	横門	51-38	C 256 ビット	0.27	(0.18)	0.24	方形	50-37	J 456 ビット	0.45	0.46	0.2	方形
51-37	K 57 ビット	0.28	0.27	0.33	円形	51-38	C 257 ビット	0.38	0.36	0.19	方形	51-38	J 457 ビット	0.34	0.33	0.38	円形
51-37	K 58 ビット	0.39	0.28	0.1	横門	50-38	C 258 ビット	0.23	(0.18)	0.46	方形	51-38	J 458 ビット	0.37	0.35	0.24	円形
51-37	K 59 ビット	(0.29)	0.33	0.22	横門	51-37	C 259 ビット	(0.14)	0.15	0.4	方形	51-38	J 459 ビット	0.33	0.27	0.25	円形
51-37	C 60 ビット	0.54	0.36	0.38	鋼丸	51-37	C 260 ビット	0.5	0.48	0.56	方形	51-38	J 460 ビット	(0.5)	0.43	0.25	不整
50-38	K 61 ビット	0.68	(0.18)	0.1	横門	欠番	C 261 ビット	C 6号並立10ビット				51-38	J 461 ビット	0.48	0.43	0.15	円形
欠番	62 ビット	K 75号土坑に変更				51-37	C 262 ビット	0.48	0.46	0.51	方形	51-38	J 462 ビット	0.4	0.39	0.3	円形
50-39	K 63 ビット	0.48	0.45	0.28	横門	51-37	C 263 ビット	0.3	0.27	0.37	方形	51-38	J 463 ビット	0.32	0.28	0.24	円形
50-38	C 64 ビット	(0.4)	0.38	0.69	横門	51-37	C 264 ビット	(0.16)	0.24	0.12	不整	51-38	J 464 ビット	0.37	0.34	0.16	円形
欠番	C 65 ビット	C 4号並立2ビット				51-37	C 265 ビット	0.38	0.42	0.61	方形	51-38	J 465 ビット	0.32	0.25	0.3	方形
50-38	C 66 ビット	0.5	(0.45)	0.18	横門	51-37	C 266 ビット	0.25	0.25	0.22	方形	51-38	J 466 ビット	0.33	0.32	0.15	円形
51-38	C 67 ビット	0.53	0.38	0.85	横門	欠番	C 267 ビット	C 4号並立6ビット				51-38	J 467 ビット	0.35	0.33	0.43	円形
50-38	K 68 ビット	0.37	0.32	0.17	横門	51-37	C 268 ビット	0.52	(0.22)	0.27	不整	51-38	J 468 ビット	0.32	0.3	0.35	円形
51-38	C 69 ビット	0.47	(0.27)	0.67	横門	欠番	C 269 ビット	C 4号並立1ビット				51-38	J 469 ビット	0.34	0.32	0.4	円形
欠番	C 70 ビット	C 6号並立11ビット				51-38	C 270 ビット	0.32	0.28	0.1	鋼丸	51-38	J 470 ビット	0.27	0.22	0.3	円形
50-38	C 71 ビット	0.18	0.17	0.33	横門	51-38	C 271 ビット	0.55	0.38	0.29	円形	51-38	J 471 ビット	0.3	0.22	0.34	横門
51-38	C 72 ビット	(0.35)	(0.3)	0.45	横門	51-38	C 272 ビット	0.59	(0.42)	0.29	円形	J 1柱穴	J 472 ビット	(0.36)	0.57	1	不整
欠番	C 73 ビット	C 5号並立8ビット				51-38	C 273 ビット	0.29	0.22	0.31	方形	51-39	J 473 ビット	(0.24)	0.27	0.2	不整
51-38	C 74 ビット	0.57	0.57	0.52	横門	欠番	C 274 ビット	C 4号並立13ビット				51-39	J 474 ビット	(0.31)	0.42	0.5	不整
欠番	C 75 ビット	C 5号並立9ビット				欠番	C 275 ビット	C 4号並立12ビット				51-38	J 475 ビット	0.42	0.4	0.25	円形
欠番	C 76 ビット	C 5号並立10ビット				51-37	C 276 ビット	(0.36)	(0.3)	0.54	不整	51-38	J 476 ビット	0.35	0.4	0.2	円形
51-38	C 77 ビット	0.54	0.53	0.51	横門	51-37	C 277 ビット	(0.41)	0.21	0.41	不整	J 1柱穴	J 477 ビット	0.5	0.5	0.15	円形
51-38	C 78 ビット	0.32	0.3	0.1	横門	51-37	C 278 ビット	(0.18)	(0.13)	0.44	不整	51-38	J 478 ビット	0.26	0.25	0.13	円形
51-38	C 79 ビット	0.45	(0.18)	0.44	横門	欠番	C 279 ビット	C 4号並立3ビット				51-38	J 479 ビット	0.25	0.18	0.2	円形
51-38	C 80 ビット	0.35	0.29	0.28	横門	51-37	C 280 ビット	0.28	0.27	0.09	方形	51-38	J 480 ビット	0.42	0.35	0.44	円形
51-37	C 81 ビット	(0.24)	(0.23)	0.38	横門	51-37	C 281 ビット	(0.12)	0.32	0.1	方形	51-39	J 481 ビット	0.39	0.37	0.33	円形
51-37	C 82 ビット	0.35	0.32	0.32	横門	51-37	C 282 ビット	(0.38)	(0.24)	0.38	不整	51-38	J 482 ビット	0.47	0.47	0.25	円形
欠番	C 83 ビット	C 3号並立2ビット				51-37	C 283 ビット	0.28	0.2	0.25	横門	J 1柱穴	J 483 ビット	0.37	0.34	0.18	円形
51-37	C 84 ビット	0.48	0.46	0.42	横門	欠番	C 284 ビット	C 5号並立11ビット				51-39	J 484 ビット	0.54	0.39	0.25	横門
51-37	C 85 ビット	0.54	0.47	0.37	横門	51-38	C 285 ビット	0.3	0.3	0.54	円形	51-38	J 485 ビット	0.39	0.3	0.15	横門
51-37	C 86 ビット	0.5	0.4	0.52	横門	51-38	C 286 ビット	0.38	0.3	0.38	鋼丸	51-38	J 486 ビット	0.25	0.24	0.15	円形
51-37	C 87 ビット	0.69	0.45	0.35	横門	50-37	C 287 ビット	0.38	0.35	0.48	横門	51-38	J 487 ビット	0.3	0.27	0.24	円形
50-37	C 88 ビット	0.65	0.45	0.47	横門	欠番	C 288 ビット	C 6号並立4ビット				51-38	J 488 ビット	0.44	0.42	0.23	円形
50-37	C 89 ビット	0.53	0.4	0.55	横門	51-38	C 289 ビット	0.28	0.27	0.66	方形	51-38	J 489 ビット	0.28	0.26	0.15	円形
51-37	C 90 ビット	0.45	0.3	0.43	横門	51-38	C 290 ビット	0.32	0.3	0.37	円形	51-38	J 490 ビット	0.2	0.19	0.1	円形
欠番	C 91 ビット	C 4号並立5ビット				欠番	C 291 ビット	C 6号並立9ビット				51-38	J 491 ビット	0.22	0.21	0.1	円形

位置	遺構名	長さ	幅	深さ	形状	位置	遺構名	長さ	幅	深さ	形状	位置	遺構名	長さ	幅	深さ	形状
50-37	C 92 ビット	0.38	0.34	0.55	楕円	50-37	C 292 ビット	0.28	0.27	0.48	円形	50-39	J 492 ビット	0.34	0.26	0.25	円形
次番	C 93 ビット	C 4 号竪立 7 ビット				50-37	C 293 ビット	0.44	0.34	0.29	方形	50-38・39	J 493 ビット	0.42	0.41	0.2	円形
50-37	C 94 ビット	0.61	0.43	0.6	楕円	50-37	C 294 ビット	0.4	0.4	0.24	方形	50-38	J 494 ビット	0.22	0.22	0.13	円形
50-37	C 95 ビット	0.5	0.3	0.38	楕円	次番	295 ビット				J 5 住	J 495 ビット	0.32	0.36	0.45	円形	
50-37	C 96 ビット	0.45	0.33	0.54	楕円	50-37	C 296 ビット	0.4	0.34	0.24	円形	J 5 住	J 496 ビット	0.44	0.36	0.2	楕円
次番	C 97 ビット	C 6 号竪立 5 ビット				次番	C 297 ビット	C 5 号竪立 4 ビット				J 5 住	J 497 ビット	0.37	0.35	0.1	円形
50-37	C 98 ビット	0.39	0.32	0.2	楕円	次番	C 298 ビット	C 6 号竪立 2 ビット				J 5 住	J 498 ビット	0.4	0.34	0.5	円形
50-37	C 99 ビット	0.57	0.33	0.61	楕円	次番	C 299 ビット	C 6 号竪立 3 ビット				J 5 住	J 499 ビット	0.38	0.33	0.1	円形
50-37	C 100 ビット	0.4	0.38	0.47	楕円	50-37・38	C 300 ビット	0.3	0.27	0.6	方形	J 5 住	J 500 ビット	0.35	0.32	0.15	円形
50-37	C 101 ビット	0.46	0.38	0.42	楕円	50-37	C 301 ビット	0.44	0.33	0.16	方形	50-38	J 501 ビット	0.75	0.48	0.1	楕円
50-37	C 102 ビット	0.25	0.21	0.25	円形	次番	C 302 ビット	C 6 号竪立 7 ビット				J 5 住	J 502 ビット	0.39	0.37	0.24	円形
次番	C 103 ビット	C 6 号竪立 6 ビット				50-38	C 303 ビット	0.3	0.26	0.45	方形	J 5 住	J 503 ビット	0.44	0.42	0.55	円形

略語：不整：不整円形、楕円：楕円形、隅丸：隅丸方形、長方：長方形

ある。

(6) 遺構外出土遺物 (第 235～238 図、第 33～35 表、図版 74・78・90・91)

遺構外から出土した遺物は包含層出土が、中期土器片が 80 点 (2,641g)、後期土器片が 17,691 点 (150,998g)、石器 602 点 (16,973g) である。その他の遺構などから出土した遺構外の遺物は、中期土器片が 19 点 (509g)、後期土器片 1,670 点 (13,296g)、石器 280 点 (45,641g) である。ビット出土遺物の出土量と見比べても本地区は縄文時代後期の遺物出土量が圧倒的に多く出土する。

J455 は大形深鉢の口縁部で加曽利 E Ⅲ式である。J456 は直線的に口縁部は開く深鉢で、口縁下には刻みを有する隆帯をめぐらせ、8 字状貼付文を配される。J457 は丸みを帯びた胴部の深鉢で、加曽利 B 式である。J458 は直線的に立ち上がる波状口縁の小形の深鉢で、加曽利 B 式である。J459 は浅鉢で、堀之内 2 式である。J460 は丸みを帯びた胴部の深鉢で、加曽利 B 式である。J459・J461 は浅鉢で、加曽利 B 式である。J462 は球胴から内湾する口縁部が立ち上がる注口土器である。J463 は粗製土器の深鉢で、J464 は突起を有する深鉢、J465 は注口部で、堀之内式である。J466～J470 は土製円板である。J471 は土偶脚部で、下面に円孔が設けられる。

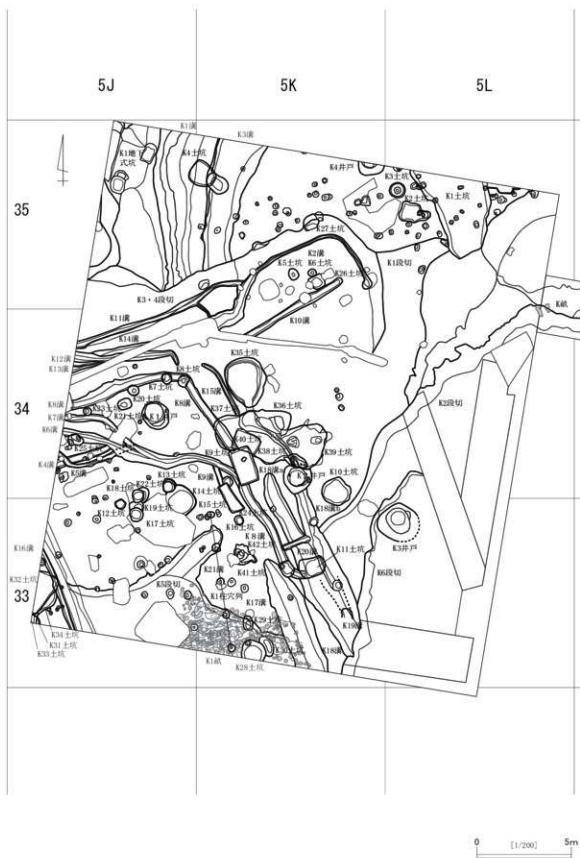
J472～J483 は石織である。J479 が平基であるほかは凹基で、すべて黒曜石製の小形品である。J484～J494 は磨製石斧である。すべて定角式であり、J488・J485・J491・J493 は透閃石岩、J486 緑色岩、J490 が翡翠輝石岩、J489 が変質玄武岩、J492 が細粒凝灰岩、J487 が変質ドレイイト、J494 が砂岩、J491 が角閃石岩と多様な素材を使用する。J484・J485・J486 等のいわゆる楔形という小形品が見られる。J495～J501 は打製石斧で、ホルンフェルス製である。J504 は軟質中粒凝灰岩の砥石である。J502 は変質ドレイイト (細粒) の凹石である。J503 は安山岩製の磨石である。J505・J506 は砂岩製の砥石である。J507 は細粒凝灰岩の砥石である。J508 は抗火石を用いた砥石である。J509 は片刃の礮器であり、細粒凝灰岩を用いている。J510～J512 は多孔石で、軟質粗粒凝灰岩、粗粒凝灰岩を用いている。J513・J514 は石皿で J514 は軟質粗粒凝灰岩、J513 は多孔質安山岩を用いている。J515 から J524 は石錘である。紐掛けは長軸方向に設けられ、擦切り状になっている J515・J518・J520 などがある。石材は J521 が軟質中粒凝灰岩、J522 が細粒凝灰岩、J524 が変質玄武岩で他は粘板岩である。

第5節 ビア15（下り）区の調査

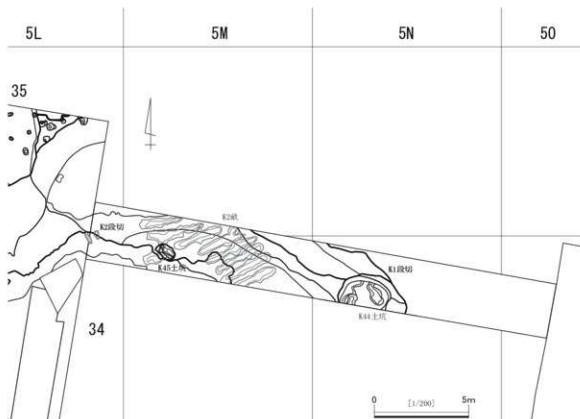
ビア15（下り）区（旧23区南）は、ビア16（下り）区の東側に位置（図版36）していて、今回報告の調査区では、南側に位置する、北から南に向けて比高差10mの崖縁で区切られ、下位段丘面となった緩やかに傾斜する斜面に遺構が分布している。ビア15（下り）区の東に接続して、ビア15（下り）水路区が位置しているが、そこで検出された遺構についてもここで取り扱うこととする。遺構は、近世、中世、奈良・平安時代、縄文時代にわたり、出土した遺物は近世は655点（33,033g）、中世は3点（60g）、奈良・平安時代は233点（4,859g）、縄文時代は422点（20,318g）で合計1,313点（58,270g）である。

第13表 ビア15（下り）区遺構計測表（単位：m）

位置	遺構名	長さ	幅	深さ	形状	位置	遺構名	長さ	幅	深さ	形状	位置	遺構名	長さ	幅	深さ	形状
SK-33	H 1 住居	(2.1)	(1.5)	0.37	不整	SJ-33	K 19 土坑	0.74	(0.3)	0.23	不整	SJ・K-34	K 6 溝	(6.0)	0.58	0.24	箱形
SK-33	H 2 住居	(2.93)	(1.24)	0.25	不整	SJ-34	K 20 土坑	0.6	0.53	0.32	円形	SJ・K-34	K 7 溝	(9.0)	0.7	0.28	箱状
欠番	H 3 地土	段丘の一部となる				SJ-34	K 21 土坑	0.7	0.55	0.3	長方	SJ・K-34・35	K 8 溝	(16.15)	0.8	0.39	箱形
SL-34	H 2 地土	0.68	0.20	0.09	楕円	SJ-34	K 22 土坑	0.75	(0.29)	0.25	不整	SK-34	K 9 溝	(1.0)	0.27	0.03	箱状
SL-34	H 3 地土	0.34	0.30	0.05	円形	SJ-34	K 23 土坑	0.43	0.39	0.2	円形	SK-34・35	K 10 溝	(5.7)	0.52	0.1	箱形
SL-34	H 4 地土	(0.36)	(0.3)	—	不整	SK-34	K 24 土坑	0.54	(0.31)	0.12	円形	SJ・K-34・35	K 11 溝	(9.5)	0.43	0.19	箱状
SJ-35	K 1 地坑	(9.0)	(3.3)	3.26	不整	SJ-34	K 25 土坑	0.83	0.66	0.4	楕円	SJ-34	K 12 溝	(5.5)	0.46	0.33	箱形
SJ-34	K 1 井戸	1.52	1.35	(1.7)	楕円	SK-35	K 26 土坑	0.72	(0.68)	0.09	方形	SJ-34	K 13 溝	(1.6)	0.31	0.18	箱形
SK-34	K 2 井戸	(1.46)	1.44	2.45	楕円	SK-35	K 27 土坑	0.85	(0.41)	0.60	不整	SJ-34	K 14 溝	(3.5)	(0.33)	0.11	箱形
SK・L-33	K 3 井戸	1.9	(1.8)	2.6	楕円	SK-33	K 28 土坑	1.28	(0.97)	0.40	不整	SK-34	K 15 溝	3.0	0.2	0.04	箱形
SK-35	K 4 井戸	1.38	(0.65)	(0.86)	不整	SK-33	K 29 土坑	0.75	0.48	0.46	楕円	SJ-33	K 16 溝	(4.4)	0.3	0.25	箱形
SK-33	K 1 柱穴	7.2	—	—	4間	SK-33	K 30 土坑	1.15	(0.49)	0.30	楕円	SK-33	K 17 溝	(6.4)	0.22	0.45	箱状
SL-35	K 1 土坑	(4.15)	5.28	0.42	不整	SJ-33	K 31 土坑	(0.5)	(0.48)	0.32	弧状	SK-33・34	K 18 溝	(9.9)	0.9	0.1	箱状
SL-35	K 2 土坑	1.43	0.96	0.25	不整	SJ-33	K 32 土坑	2.27	(1.0)	0.88	楕円	SK-33・34	K 19 溝	(0.79)	0.8	0.2	箱状
SL-35	K 3 土坑	0.85	0.90	0.70	円形	SJ-33	K 33 土坑	(0.49)	(0.28)	0.44	不整	SK-33	K 19 溝	(0.5)	0.52	0.3	箱状
SK・K-35	K 4 土坑	1.38	1.24	0.38	楕円	SJ-33	K 34 土坑	(1.57)	(0.4)	0.47	不整	SK-33	K 20 溝	(1.5)	0.36	0.06	箱状
SK-35	K 5 土坑	0.62	0.48	0.5	楕円	SK-34	K 35 土坑	2.64	2.03	1.15	楕円	SJ・K-33	K 21 溝	(3.4)	1.3	0.12	箱状
SK-35	K 6 土坑	0.42	0.38	0.32	楕円	SK-34	K 36 土坑	(1.57)	(1.40)	0.87	不整	SJ・L-34・35	K 1 段切	(23.00)	(6.00)	1.43～0.66	—
SJ-34	K 7 土坑	0.56	0.48	0.46	方形	SK-34	K 37 土坑	(1.19)	1.84	0.95	不整	S・L-34	K 2 段切	(20.15)	2.0	0.28～0.56	—
SJ-34	K 8 土坑	0.45	0.52	0.45	方形	SK-34	K 38 土坑	(1.37)	(1.18)	1.25	不整	SJ・K-34・35	K 3・4 段切	20.15	13.0	3.7～1.38	—
SK-34	K 9 土坑	1.92	1.12	0.6	長方	SK-34	K 39 土坑	(2.09)	2.22	0.7	不整	SJ・K-33	K 5 段切	(12.0)	(3.50)	0.25	—
SK-33・34	K 10 土坑	1.52	1.34	0.28	円形	SK-34	K 40 土坑	1.43	0.96	1.2	長方	SK・L-33・34	K 6 段切	(10.12)	(2.20)	0.19	—
SK-33	K 11 土坑	1.42	0.96	0.30	楕円	SK-33	K 41 土坑	1.14	(0.75)	0.4	不整	SJ・K-33	K 1 畝	6.0	4.0	0.10	—
SJ-33	K 12 土坑	0.5	0.50	0.25	不整	SL-37	K 42 土坑	0.86	0.66	0.24	方形	SK・SK-34・35	K 2 畝	6.4	4.4	0.27	—
SJ-34	K 13 土坑	0.72	0.68	0.27	楕円	SK-33	K 43 土坑	(4.00)	(2.60)	(0.44)	不明	SK-34	K 44 土坑	3.67	(1.74)	1.49	楕円
SJ-33・34	K 14 土坑	(1.44)	1.33	0.35	円形	SJ・K-35	K 1 溝	(7.88)	2.85	0.9	箱状	SK-34	K 45 土坑	1.04	0.67	0.26	楕円
SK-33・34	K 15 土坑	1.65	0.6	0.07	長方	SK-34・35	K 2 溝	(10.5)	0.85	0.14	箱状	欠番	K 1 土坑	K 44 土坑に変更			
SK-33	K 16 土坑	0.5	0.43	0.36	円形	SK-35	K 3 溝	(6.66)	1.99	0.4	箱状	欠番	K 2 土坑	K 45 土坑に変更			
SJ-33	K 17 土坑	0.73	0.71	0.35	円形	SJ-34	K 4 溝	(3.0)	0.38	0.1	箱状	総括：不整・不整円形、楕円・楕円形、楕円・楕円形、長方形・長方形					
SJ-34	K 18 土坑	0.67	0.58	0.29	円形	SJ-34	K 5 溝	(5.7)	0.3	0.04	箱状						



第239図 近世遺構配置図 [1/200]



第240図 ビア15（下り）水路区近世遺構配置図 [1/200]

1 近世

近世以降に属する遺構は、段切6カ所、溝21条、地下式坑1基、土坑44基、井戸4基、畝状遺構2基、ピット117基（内柱基列1基）がある。第Ⅰ層の土を覆土とする遺構（宝永火山灰以降の遺構）と、Ⅱa層とした茶褐色土を覆土とする遺構および茶色味を帯びた土を覆土とする遺構（宝永火山灰以前）の2種類がある。遺物は、陶器214点（12,601g）、磁器241点（5,096g）、拓器24点（1,935g）、土器38点（2,439g）、土製品1点（31g）、石製品12点（5,507g）、銅製品4点（49g）、銭貨4点（10g）、鉄製品33点（162g）、鉄滓2点（113g）瓦82点（5,090g）の合計655点（33,033g）が出土している。

（1）段切

K1段切（第241～244図、図版35）

ビア15（下り）区の東側から南水路部分にかけて平場造成するために行った段切である。5J～L-34・35グリッド付近で区画し、段切で形成された長さ（23.0）m、幅（6.0）mほどの平場には、K43号土坑が設けられ、K2号畝状遺構が配される。段差は最大で1.43mを測り、北から南に緩やかに傾斜する。覆土は明褐色のしまり良い土層で上層にK2号畝状遺構の宝永火山灰が堆積する。南側はK2・6段切と同様に埋没谷に移行する。堆積土は明褐色土を主とする。遺物は9点（127g）出土しており、その内訳は瀬戸・美濃系陶器碗片2点（6g）・陶器鍋片1点（19g）、肥前系陶器碗片2点（11g）・陶器皿片1点（35g）・磁器皿片1点（9g）、常滑系拓器甕片1点（32g）、産地および器種不明土器片1点（15g）である。

K2段切（第241～244図）

K3段切の東端、東側からビア15（下り）水路区にかけて、5L-34グリッド付近で、低地際を更に一段カッ

トしている。長さ(20.15)m、2.0mの範囲で平場を形成する。この段切りの先は低地になっていくため、水はけをよくするための整地と推定される。南側にわずかな段差でK6段切が続いている。黒褐色土を堆積する。遺物は15点(33g)出土しており、全て鉄釘他の鉄製品である。

K2段切出土遺物(第249図、第23表、図版52)

k76は鉄製の階折釘である。

K3・4段切(第241～244図)

23区南の北側から急傾斜となっている崖裾を平場造成するために行った段切である。5J・K-34・35グリッド付近でローム土を大幅にカットし、長さ20.15m、幅13.0mの平場を形成する。段差は最大で3.7m、1.38mを測る。ローム土と褐色土が混在した整地土が堆積する。段切の下端には、K2号溝・K11～K14号溝が周辺を区画するように配される。段切で形成された平場には、北辺をK4号溝・K8号溝、東辺をK8号溝・K15号溝・K18号溝・K19号溝、西辺をK16号溝で短冊形に区画している。遺物は出土していない。

K5段切(第241～244図)

K3段切の南端、5J・K-35グリッド付近で、更に一段ローム層までカットしている。東側をK17号溝を切っている。長さ(12.00)m、幅(3.50)mの平場を形成する。緩やかに谷に向かって傾斜していて、覆土に宝永火山灰は含まない褐色土が堆積する。遺物は9点(79g)出土しており、その内訳は瀬戸・美濃系陶器碗1点(2g)・磁器碗1点(1g)・磁器鉢1点(5g)、肥前系磁器碗2点(53g)、京・信楽系陶器碗2点(14g)、産地不明土器泥面子1点(2g)、銭貨1点(2g)である。

K5段切出土遺物(第249図、第24表、図版51)

k77は文字がつぶれており判別がしづらいが、寛永通寶と考えられる銭貨である。

K6段切(第241～244図)

K3段切の東端、5L-33・34グリッド付近で、低地際を更に一段カットしている。北のK2段切とわずかな段差で接していて、本来は続きのものとも考えられる。長さ(10.12)mで低地部分に移行するため明瞭ではないが幅(2.2)mの平場を形成する。段差は0.19mを計る。覆土は暗褐色土を主体とし粘性が強い。この段切りの先は低地になっていくため、水はけをよくするための整地と推定される。谷の落ち際に残るH2号住居跡を切っている。遺物は39点(2,676g)出土しており、その内訳は、瀬戸・美濃系陶器碗4点(34g)・陶器鉢4点(485g)・陶器壺3点(499g)・磁器碗1点(74g)、肥前系陶器碗2点(505g)・磁器碗10点(139g)・磁器水注1点(13g)、京・信楽系陶器碗2点(2g)・陶器蓋1点(2g)、丹波系土器播鉢1点(19g)、常滑系土器甕1点(8g)、在地系土器器台1点(66g)、産地不明陶器水注1点(52g)、瓦4点(579g)、砥石3点(199g)である。図化していない遺物には17世紀前半のものから19世紀代のものが混在する。

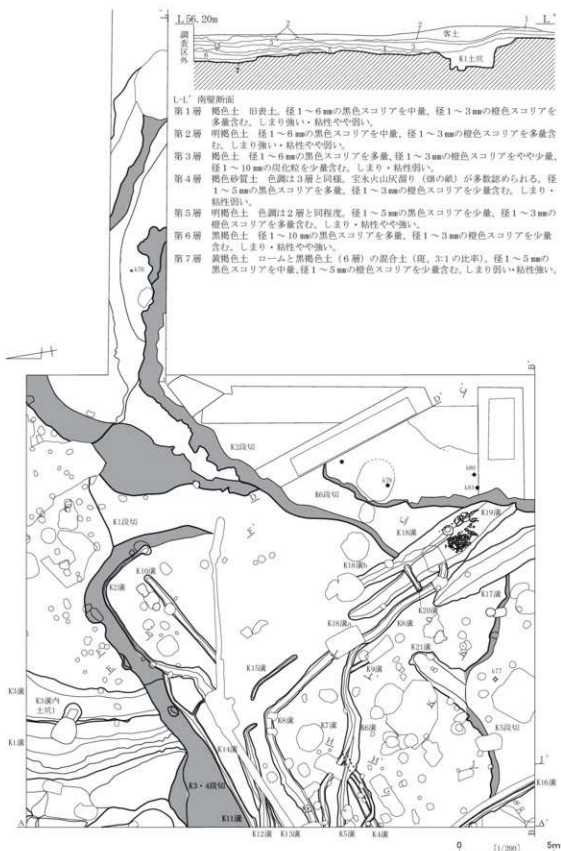
K6段切出土遺物(第249図、第21・22表、図版47・49・50)

k78は丹波系の播鉢、k81は平瓦、k79・k80は砥石である。

(2) 溝

K1号溝(第247図)

K1号地下式坑の正面に位置し、K3号溝と並行している。5J・K-34グリッドに位置する。ややカーブして検出され、北側は調査区外に延び、南側はK3段切に切られる。全体で7.80m調査して、平均的な幅は0.38mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は皿状を呈し、深さ0.9mを測る。遺物は出土していな



第241図 K溝・段切（1） [1/200]



西壁
表土a 暗褐色土 小石、砂利を少量含む。しまりやや弱い・粘性なし。

表土b 暗褐色土 しまり・粘性なし。

表土c 暗褐色土 ロームも多い。

整地層1 ローム主体。

第1層 明褐色土 ローム土が崩れた土。しまり弱い・粘性やや強い。K11溝。

第2層 灰褐色土 ローム土を微量含む。しまり弱い・粘性やや強い。K12溝。

第3層 暗褐色土 褐色土を少量、黄褐色土を微量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。K13溝。

第4層 暗褐色土 褐色土を少量含む。しまり・粘性やや強い。K14溝。

第5層 暗褐色土 褐色土を少量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。K7溝。

第6層 褐色土 暗褐色土を少量、黄褐色土ブロックを少量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。K7溝。

第7層 暗褐色土 径3～5mmの褐色スコリアを少量、褐色土を多量含む。しまり強い・粘性やや弱い。K5溝。

第8層 暗褐色土 暗褐色土、褐色土を少量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。K4溝。



南壁

表土・底土1 暗褐色土、褐色土、明褐色土、黄褐色土の混合土。しまり・粘性弱い。

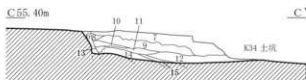
底土2 褐色土 しまり・粘性弱い。

底土3 褐色土 明褐色土を少量含む。しまり・粘性弱い。

第1層 暗褐色土 径1～3mmの褐色スコリアを中量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。K17溝。

第2層 暗褐色土 径1～3mmの褐色スコリアを少量含む。しまり弱い・粘性やや弱い。K17溝。

第3層 褐色土 径3～5mmの褐色スコリア、径3mmの褐色スコリア、明褐色土を少量含む。しまり・粘性やや弱い。K17溝。



K6段切

第6層 暗褐色土 暗褐色土 地割れ層。右隣の土層増補に対応した土層が観察されるが、全体的に軟化していて、やや粘質土化している。左側の土とは異なる。しまり弱い・粘性やや強い。

第7層 暗褐色土 灰分を含みやや赤味がある。径3～5mmの褐色スコリアを少量、径1～3mmの褐色スコリアを中量、径1mm以下の白色粒を少量含む。やや砂質の感あり。しまりやや弱い・粘性弱い。

第8層 暗褐色土 径3～5mm褐色スコリアを微量、径1～3mmの褐色スコリアを少量、径1mm以下の白色粒を微量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。

第9層 黒褐色土 径3～5mm褐色スコリアを少量、径1～3mmの褐色スコリアを微量、径1mm以下の白色粒を中量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。

第10層 暗褐色土 径1～3mmの褐色スコリアを少量、明褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。

第11層 暗褐色土 径1mmの褐色スコリアを微量、径1mm以下の白色粒を微量、暗灰色粘質土を中量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。(多数の土が混在した土層)

第12層 黒灰褐色土 径1mmの褐色スコリアを少量、径1mm以下の白色粒を少量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。乾くと硬くなり、ひび割れる。

第13層 茶褐色土 黄褐色土と暗褐色土との混合土。黄褐色ローム質土のブロック主体で、間に暗褐色粘質土が混在。地山の崩壊土。

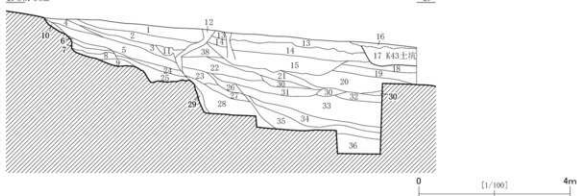
第14層 明褐色土 径3mmの褐色スコリアを微量、径3mmの褐色スコリアを少量(VI層のスコリア)、径30～50mmの黄褐色ロームブロックを微量含む。しまりやや弱い・粘性強い。

第15層 暗褐色土 径1～3mmの褐色スコリアを少量、径30～50mmの黄褐色ロームブロックを微量、明褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。

第242図 K溝・段切(2) [1/200・1/100]

D55.00m

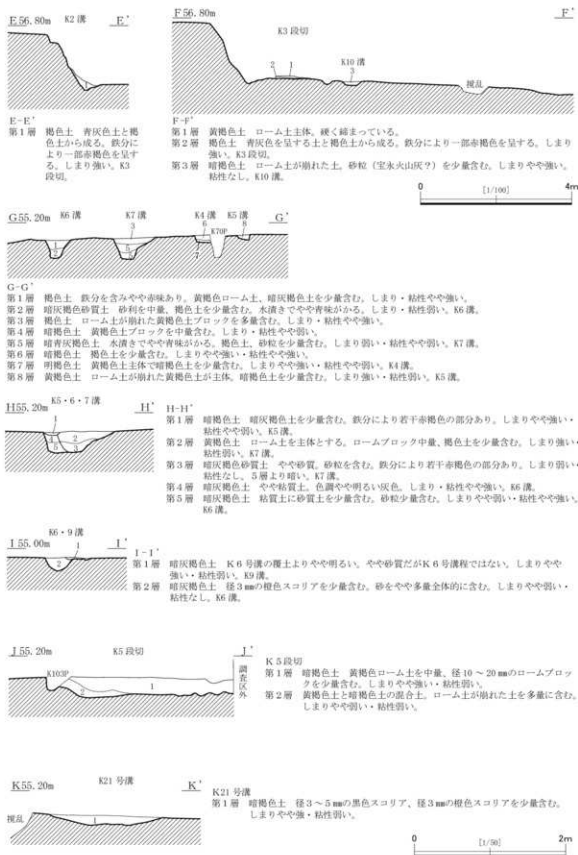
D'



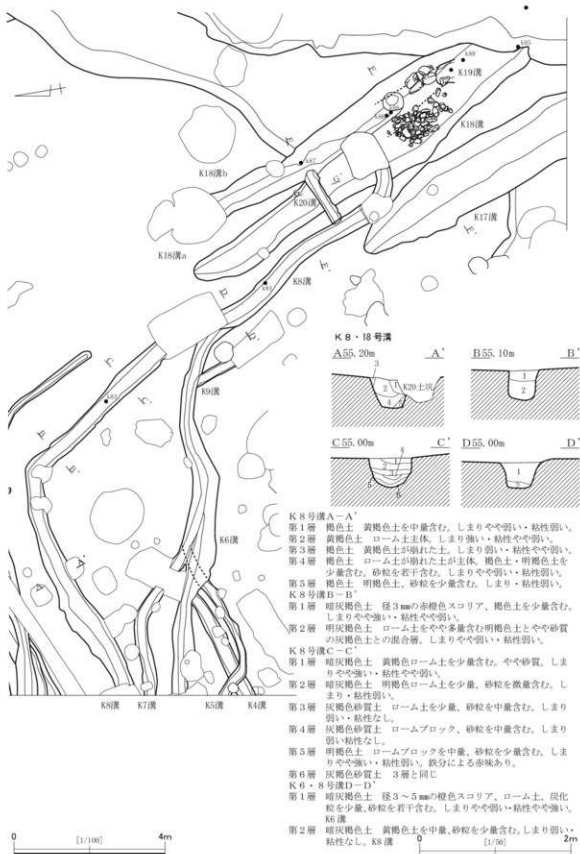
トレンチ2西壁 D-B'

- 第1層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを中量、径1mm以下の白色粒を微量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。
- 第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを微量、径1～3mmの橙色スコリアを少量、径1mm以下の白色粒を微量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。
- 第3層 暗褐色土 径1～3mmの橙色スコリアを少量、径1mm以下の白色粒を微量含む。2層よりやや弱い。褐色味が強い。しまり・粘性やや強い。
- 第4層 暗褐色土 3層と同様の土だが、褐色土がやや多い。
- 第5層 褐色土 径3～5mmの橙色スコリアを少量含む。しまり・粘性やや強い。
- 第6層 明褐色土 径3mmの赤色スコリア、褐色土、明灰褐色土、黄褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性強い。
- 第7層 明褐色土 灰褐色粘質土を中量、褐色粘質土を少量、ロームブロックを微量、ローム土を少量含む。しまり弱い・粘性強い。
- 第8層 明褐色土 黄褐色、赤褐色のローム土が崩れた土が主体。径5mmの黒色スコリア、径1mmの白色粒を少量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
- 第9層 黄灰褐色土 黄灰褐色粘質土が主体。しまりやや弱い・粘性強い。
- 第10層 暗褐色土 5層と類似する土で黄褐色ロームブロックを少量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。
- 第11層 暗褐色土 3層と同様の土に 赤褐色粘土を少量含む。焼けた面はないので伊等ではない。
- 第12層 暗褐色～褐色土 右側の層(4'層)と類似する土だが、崩れた感じでしまり弱く、地割れと思われる。
- 第13層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを中量含む。しまりやや強い。粘性弱い。
- 第14層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリア、径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまり・粘性やや弱い。
- 第15層 暗褐色土 やや褐色味あり。径3～5mmの黒色スコリア、径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまり弱い・粘性やや強い。(動いた土、変質層。)
- 第16層 暗褐色土 径1～3mmの橙色スコリアを少量、砂粒を中量含む。しまりやや弱い・粘性なし。
- 第17層 暗褐色土 径1～3mmの橙色スコリアを中量、砂粒を少量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。(K43土坑)
- 第18層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを微量、径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまり・粘性やや弱い。
- 第19層 暗褐色土 やや灰色味を帯びる。径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを微量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
- 第20層 黒褐色土 径3～8mmの黒色スコリアを少量含む。(やや砂っぽい、火山灰?) しまり・粘性やや弱い。
- 第21層 黒褐色土 径3～8mmの黒色スコリアを多量含む。しまり強い・粘性やや弱い。
- 第22層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリア、径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。3層の続きと思われる。しまり・粘性やや強い。
- 第23層 褐色土 径3～5mmの橙色スコリアを少量含む。色調やや暗いが、5層の続きと思われる。しまり・粘性やや強い。
- 第24層 褐色土 径3～5mmの橙色スコリアを少量含む。しまり・粘性やや強い。5層より明るい。
- 第25層 明褐色土 褐色土、明褐色土、黄褐色土の混合土。しまり・粘性やや強い。
- 第26層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを中量、径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまりやや強い・粘性強い。
- 第27層 褐色土 径3～8mmの橙色スコリアを多量含む。しまりやや強い・粘性弱い。
- 第28層 褐色土 径3～5mmの橙色スコリアを中量、黄褐色土ブロックを微量含む。しまりやや弱い・粘性強い。
- 第29層 暗赤褐色土 径3～5mmの赤褐色スコリアを多量、黄褐色土ブロックを微量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。
- 第30層 暗褐色土 やや灰褐色を帯びる。径3～8mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを微量含む。しまり・粘性やや弱い。
- 第31層 暗褐色土 やや灰色味を帯びる。径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを微量含む。しまり弱い・粘性やや強い。
- 第32層 黒褐色土 径3～8mmの黒色スコリアを多量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。
- 第33層 黒褐色土 径3～8mmの黒色スコリアを中量含む。しまり・粘性やや弱い。
- 第34層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを多量、径5～8mmの黒色スコリアを中量含む。しまり・粘性やや強い。
- 第35層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを微量、径3mmの橙色スコリアを少量含む。しまりやや強い・粘性強い。
- 第36層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを中量、炭化粒・硬土粒、白色粒を微量含む。しまりやや強い・粘性弱い。(R付の覆土)

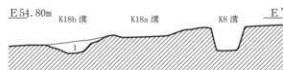
第243図 K溝・段切 (3) [1/100]



第244図 K溝・段切（4） [1/100・1/50]

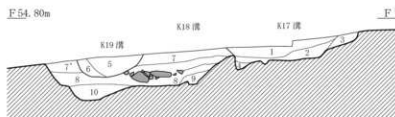


第245図 K8・17～20号溝(1) [1/100・1/50]



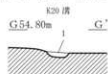
K18b号溝 E-E'

第1層 暗褐色土 径3mmの橙色スコリアを少量、暗灰褐色土を微量含む。宝永火山灰を含み、やや砂っぽい。しまりやや強い・粘性弱い。



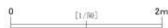
K17～19号溝 F-F'

第1層 暗褐色土 径3mmの橙色スコリアを中量、細砂粒を微量含む。しまり・粘性やや弱い。
 第2層 暗褐色土 径3mmの橙色スコリアを中量含む。しまり・粘性やや弱い。
 第3層 褐色土 径3mmの橙色スコリアを少量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。
 第4層 褐色土 明褐色土をおよびローム土を少量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。K17溝。
 第5層 暗褐色土 径3mmの橙色スコリアを少量、細砂粒を少量含む。しまりやや弱い・粘性強い。
 第6層 暗褐色土 径3mmの橙色スコリアを少量、細砂粒を微量含む。しまり・粘性やや弱い。K19溝。
 第7層 褐色土 径3mmの橙色スコリアを少量、褐色土ブロックを中量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。鉄分が沈着し、赤味がある。
 第7'層 褐色土 鉄分の沈着は見られない。
 第8層 褐色土 径3mmの橙色スコリアを微量含む。しまり・粘性やや強い。
 第9層 褐色土 褐色土ブロックを少量、灰褐色土を微量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
 第10層 褐色土 暗灰褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。K18溝。



K20号溝 G-G'

第1層 褐色土 径3mmの橙色スコリア、明褐色土を少量含む。しまり強い・粘性やや強い。



第246図 K8・17～20号溝(2) [1/50]

い。

K2号溝 (第241・244図)

K3・4段切の裾部分で検出された。5K-34・35グリッドに位置する。ややカーブして段切に沿うように検出され、西側でK12溝と接続する。全体で10.50m調査して、平均的な幅は0.85mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は皿状を呈し、深さ0.14mを測る。遺物は出土していない。

K3号溝 (第247図)

K1号地下式坑の正面に位置し、K2号溝の東側で並行している。5K-35グリッドに位置する。ややカーブして検出され、北側は調査区外に延び、南側はK3段切に切られる。全体で6.66m調査して、平均的な幅は1.99mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は皿状を呈し、深さ0.40mを測る。覆土中に宝永火山灰の純層が堆積する。底面に土坑が検出される。遺物は出土していない。

K4号溝 (第241・244図)

K3段切の短冊区画の北辺で検出され、5J-34グリッドに位置する。K5・6号溝に切られる。直線的に検出され、西側は調査区外に延び、東側はK6号溝に切られる。全体で3.00m調査して、平均的な幅は0.38mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は皿状を呈し、深さ0.10mを測る。遺物は出土していない。

K5号溝 (第241・244図)

K3段切の短冊区画の北辺で検出され、5J-34グリッドに位置する。曲線的に検出され、西側は調査区外に延び、東側はK6号溝に切られる。全体で5.70m調査して、平均的な幅は0.30mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は皿状を呈し、深さ0.04mを測る。遺物は出土していない。

K6号溝(第241・244図)

K3段切の短冊区画の北辺で検出され、5J・K-34グリッドに位置する。曲線的に検出され、西側は調査区外に延び、東側はK8号溝に切られる。全体で6.00m調査して、平均的な幅は0.58mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は箱形を呈し、深さ0.24mを測る。遺物は肥前系磁器碗が3点(67g)が出土している。このうち1点はK6号溝を切るK9号溝から出土しており、K6号溝の遺物と接合する。

K7号溝(第241・244図)

K3段切の短冊区画の北辺で検出され、5J・K-34グリッドに位置する。曲線的に検出され、西側は調査区外に延び、東側はK6号溝と合流する。全体で9.00m調査して、平均的な幅は0.70mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は皿状を呈し、深さ0.28mを測る。遺物は出土していない。

K8号溝(第245・246図)

K3段切の短冊区画の北側と東側を区画する溝で、5J・K-33・34グリッドに位置する。緩やかにくの字状に屈曲する北側も東側も直線的に検出され、西側は調査区外に延び、東側はK19号溝に切られる。全体で16.15m調査して、平均的な幅は0.80mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は箱形を呈し、深さ0.39mを測る。遺物は21点(961g)出土しており、その内訳は瀬戸・美濃系陶器鉢3点(546g)、瀬戸・美濃系陶器皿1点(99g)、肥前系磁器碗3点(197g)、京・信楽系陶器碗14点(119g)である。

K8号溝出土遺物(第249図、第21表、図版47・48)

k82は瀬戸・美濃の乗碗、k83は磁器で肥前系の碗である。k84・k85は陶器で、k84は京・信楽系の碗、k85は瀬戸・美濃系の鉢である。

K9号溝(第241・244図)

K3段切の短冊区画の北辺で検出され、5K-34グリッドに位置する。直線的に検出され、北側はK6号溝、東側はK15号土坑に切られる。全体で1.0m調査して、平均的な幅は0.27mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は皿状を呈し、深さ0.03mを測る。遺物は2点(21g)出土しており、その内訳は肥前系磁器碗片1点(6g)、肥前系磁器水注片1点(15g)である。

K10号溝(第241・244図)

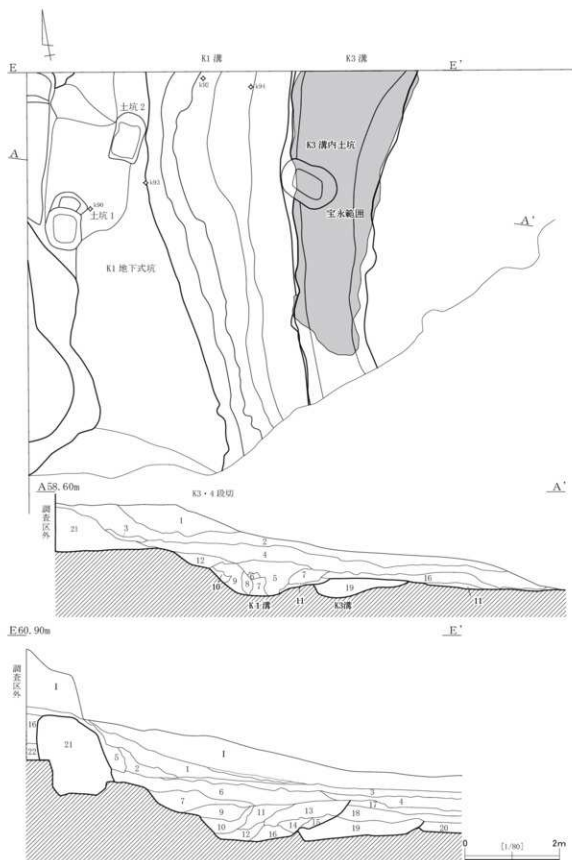
K3段切の崖下よりで検出され、5K-34・35グリッドに位置する。直線的に検出され、西側は掘削で途切れ、東側は立ち上がる。全体で5.70m調査して、平均的な幅は0.52mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は皿状を呈し、深さ0.10mを測る。遺物は出土していない。

K11号溝(第241図)

K3段切の崖直下で検出され、5J・K-34・35グリッドに位置する。直線的に検出され、西側は調査区外に延び、東側はK2号溝に切られる。全体で9.50m調査して、平均的な幅は0.43mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は皿状を呈し、深さ0.19mを測る。遺物は出土していない。

K12号溝(第241図)

K3段切の崖直下で検出され、5J-34グリッドに位置する。K13号・K14号溝と重複する。直線的に検出され、西側は調査区外に延び、東側は屈曲して立ち上がる。全体で5.50m調査して、平均的な幅は0.46



第247図 K1・3号溝 [1/80]

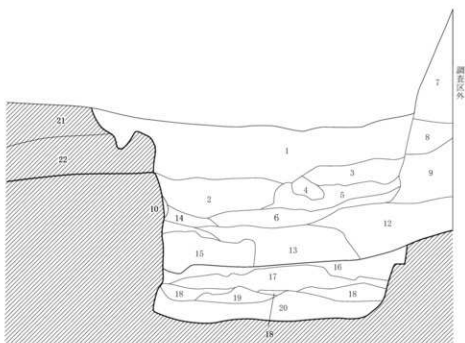
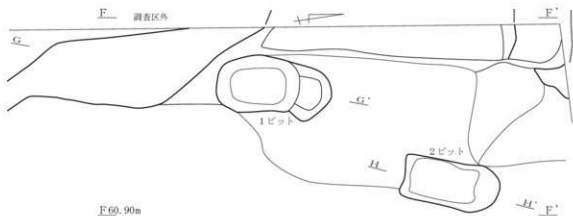
K1・3号溝 E-E' (北壁)

- 1層 表土、黒褐色土 表土。径1～5mmの黒色スコリアを多量、径1～4mmの橙色スコリアを中量含む。最下層に土丹のような土が堆積する。しまり・粘性やや強い。
- 第1層 黒褐色土 径1～7mmの黒色スコリアを多量、径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまり・粘性やや弱い。
- 第2層 黒褐色土 1層を主体とし、ロームが斑にやや多く混じった。しまり・粘性やや弱い。
- 第3層 褐色土 径1～7mmの黒色スコリア・径1～3mmの橙色スコリアを多量含む。しまり強い・粘性やや弱い。
- 第4層 褐色土 3層よりも若干暗い。基本的には3層と同質。以下、同様。
- 第5層 黄褐色土 ロームと黒褐色土の混合土(炭、5:1の比率)。径1～4mmの黒色スコリア少量、径1～7mmの橙色スコリアを多量含む。しまり・粘性やや弱い。
- 第6層 暗黄褐色土 ロームと黒褐色土の混合土(炭、3:1の比率)。径1～5mmの黒色スコリア・径1～4mmの橙色スコリアを多量含む。しまり・粘性やや弱い。
- 第7層 黄褐色土 ロームと黒褐色土の混合土(炭、2:1の比率)。径1～5mmの黒色スコリア中量、径1～4mmの橙色スコリアを多量含む。しまり・粘性やや弱い。
- 第8層 暗黄褐色土 6層に似ている。ロームと黒褐色土の混合土(炭、2:1の比率)。径1～5mmの黒色スコリア・径1～4mmの橙色スコリアを多量含む。しまり弱い・粘性やや強い。
- 第9層 黄褐色土 ローム主体土。しまり・粘性やや弱い。
- 第10層 暗褐色土 黒褐色土とロームの混合土(均一、2:1の比率)。径1～6mmの黒色スコリア・径1～3mmの橙色スコリアを中量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
- 第11層 黒褐色土 径1～7mmの黒色スコリアを中量、径1～2mmの橙色スコリアを少量含む。しまり弱い・粘性やや強い。
- 第12層 褐色土 黒褐色土とロームの混合土(均一、1:1の比率)。径1～5mmの黒色スコリアを少量、径1～3mmの橙色スコリアを多量含む。しまり弱い・粘性やや強い。
- 第13層 暗黄褐色土 ロームと黒褐色土の混合土(均一、4:1の比率)。径1～7mmの黒色スコリアを中量、径1～3mmの橙色スコリアを多量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
- 第14層 暗褐色土 ロームが均一に少量混じる。径1～7mmの黒色スコリア・径1～5mmの橙色スコリアを中量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
- 第15層 暗褐色土 宝永火山灰がやや多く混じる。径1～6mmの黒色スコリアを中量、径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。
- 第16層 黄褐色土 ローム主体土。しまり・粘性やや弱い。
- 第17層 暗褐色土 宝永火山灰の影響を受けた土。径1～7mmの黒色スコリア多量、径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまり・粘性やや弱い。
- 第18層 暗褐色土 宝永火山灰を含む。径1～7mmの黒色スコリア多量、径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまり・粘性弱い。
- 第19層 青灰色土 宝永火山灰、K3号溝埋土。
- 第20層 暗褐色土 4層に似ている。径1～7mmの黒色スコリア・径1～3mmの橙色スコリアを多量含む。しまり・粘性やや強い。
- 第21層 黄褐色土 径1～2mmの橙色スコリアを多量含む。しまり良好・粘性あり。ローム土(天井)の崩落土、K1号地下式坑埋土。
- 第22層 暗褐色土 ロームが少量混じる。径1～6mmの黒色スコリア・径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまり・粘性やや強い。

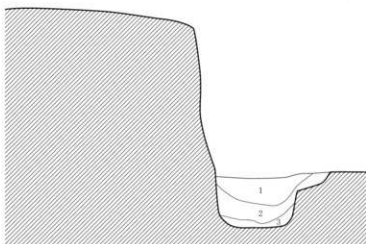
K1号地下式坑F-F' (西壁)

- 第1層 黒褐色土 径1～8mmの黒色スコリアを多量、径1～3mmの橙色スコリア、径10mm以下の炭化粒、ロームブロックを少量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
- 第2層 黒褐色土 基本的に1層と同質。若干明るい。径1～8mmの黒色スコリアを多量、径1～3mmの橙色スコリアを少量含む。しまり・粘性やや弱い。
- 第3層 暗褐色土 1層よりもやや明るい。径1～7mmの黒色スコリアを中量、径1～3mmの橙色スコリアを多量含む。しまり極めて強い・粘性強い。富士土主体土。
- 第4層 黄褐色土 ローム主体土。径1～4mmの黒色スコリアを微量、径1～4mmの橙色スコリアを多量含む。しまりやや強い・粘性強い。
- 第5層 暗褐色土 基本的に3層と同質。径1～7mmの黒色スコリアを多量、径1～3mmの橙色スコリアを中量、径2mm以下の炭化粒少量、径10mm以下のロームブロックを少量含む。しまりやや弱い・粘性強い。VI層起源の土主体。
- 第6層 暗褐色土 3層を主体としロームがやや多く混入する。特に本層上半部に多く認められる。しまり・粘性極めて強い。
- 第7層 暗褐色土 径1～10mmの黒色スコリアを中量、径1～2mmの橙色スコリアを微量含む。しまり・粘性やや弱い。表土層に近い層。
- 第8層 暗褐色土 径1～6mmの黒色スコリア、径1～3mmの橙色スコリアを中量含む。しまり極めて強い・粘性強い。
- 第9層 暗褐色土 径1～8mmの黒色スコリア、径1～5mmの橙色スコリアを中量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
- 第10層 暗褐色土 径1～5mmの黒色スコリア、径1～3mmの橙色スコリアを中量、径5mm以下の6層の硬い暗褐色土をブロック状に多量、ロームを少量含む。しまり弱い・粘性やや強い。
- 第11層 暗黄褐色土 ロームと10層の混合土(炭に3:1の割合)。
- 第12層 暗褐色土 径1～7mmの黒色スコリアを中量、径1～5mmの橙色スコリアを多量、ロームを少量含む。しまりやや強い・粘性強い。
- 第13層 黄褐色土 ハードローム(天井部)が崩落し、多少、VI層が混じった層。しまり極めて強い・粘性やや強い。
- 第14層 黒褐色土 1層に近似している。径1～6mmの黒色スコリア多量、径1～2mmの橙色スコリアを中量含む。しまり弱い・粘性やや強い。
- 第15層 暗褐色土 1・2層を主体とした土に径1～20mmのローム粒が均一に多く混じる。径1～8mmの黒色スコリア多量、径1～3mmの橙色スコリアを中量含む。
- 第16層 黄褐色土 ローム(天井部の崩落)しまり極めて強い・粘性強い。
- 第17層 暗褐色土 3層(富士土)を主体とし、径1～20mmのローム粒を多量に均一に混じる。しまり極めて強い・粘性強い。
- 第18層 黒褐色土 1・2層と同質の土を主体とし、径1～10mmのローム粒が中量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
- 第19層 暗褐色土 17層に似ているが、ロームをさらに多く含むため明るく見える。しまり極めて強い・粘性強い。
- 第20層 黄褐色土 ローム粒主体土。天井部のロームが少しずつ落下し堆積したもの。したがって、この時点では天井は崩落していない。
- 第21層 暗茶褐色土 径1～3mmの黒色スコリア微量、径1～4mmの橙色スコリアを中量含む。しまり・粘性極めて強い。
- 第22層 暗褐色土 径1～5mmの黒色スコリア微量、径1～4mmの橙色スコリアを多量含む。しまり・粘性極めて強い。

K1・3号溝・K1号地下式坑



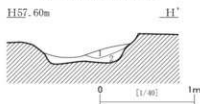
G 59.20m

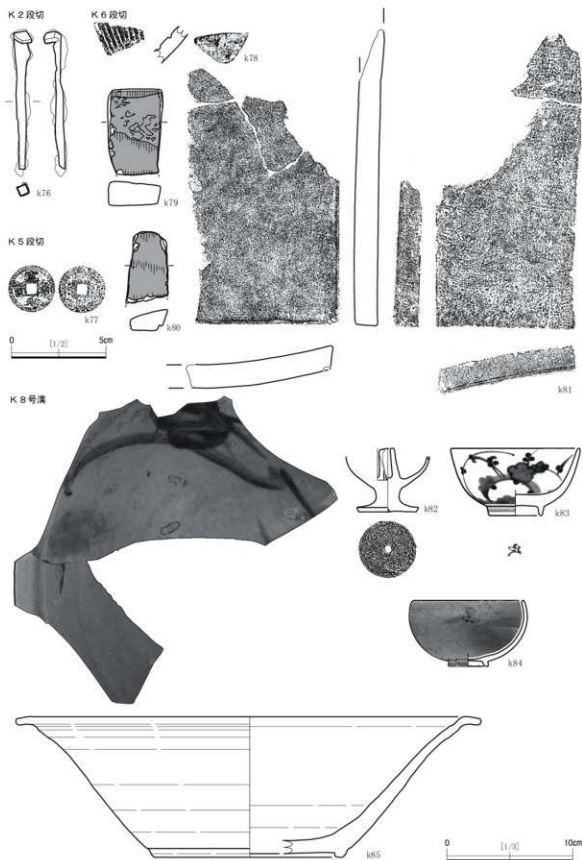


第248図 K1号地下式坑 [1/40]

- K1号地下式坑内土坑1
 G' 第1層 黄褐色ローム土 硬質ロームの二次堆積層。部分的に黒褐色ブロックがシミ状に混在する。
 第2層 黒褐色土 径1～3mmのローム粒を含む。ローム質土がシミ状に堆積する。しりなし・粘性あり。
 第3層 暗茶褐色土 径1～3mmのローム土と黒褐色土(2層)の混土層。しりなし・粘性あり。
- K1号地下式坑内土坑2
 第1層 黒茶褐色土 径1mm以下の橙色スコリアを少量、径1～2mmローム粒を多量含む。しり良好・粘性強い。
 第2層 黒褐色土 径1mmのローム粒を少量含む。しり良好・粘性あり。

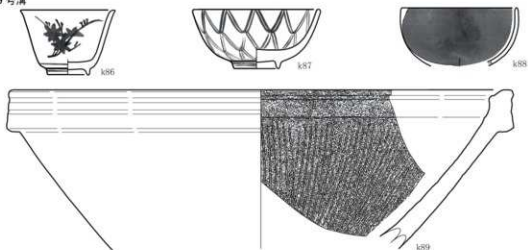
H 57.60m



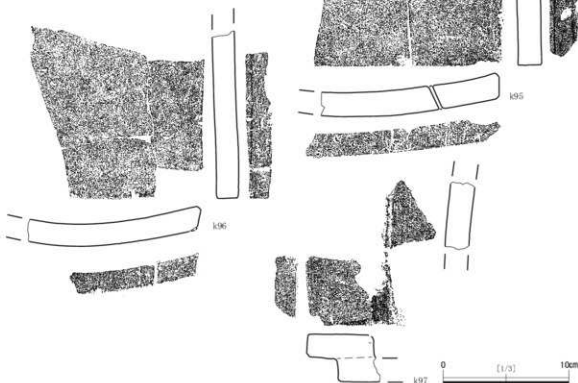
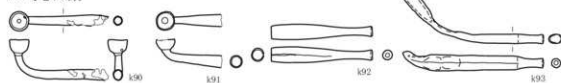


第249図 K段切・K8号溝出土遺物 [1/2・1/3]

K19号溝



K1号地下式坑



第250図 K19号溝・K1号地下式坑出土遺物 [1/3]

mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は箱形を呈し、深さ0.33mを測る。遺物は出土していない。

K13号溝(第241図)

K3段切の崖直下で検出され、5J-34グリッドに位置する。K12号・K14号溝と重複する。直線的に検出され、西側は調査区外に延び、東側は攪乱に切られる。全体で1.60m調査して、平均的な幅は0.30mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は箱形を呈し、深さ0.18mを測る。遺物は出土していない。

K14号溝(第241図)

K3段切の崖直下で検出され、5J-34グリッドに位置する。K12号・K13号溝と重複する。直線的に検出され、西側は調査区外に延び、東側は攪乱に切られる。全体で3.50m調査して、平均的な幅は0.33mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は箱形を呈し、深さ0.11mを測る。遺物は出土していない。

K15号溝(第241図)

K3段切の短冊区画の北辺で検出され、5K-34グリッドに位置する。K8号溝と並行に曲線的に検出され、両端は立ち上がる。全体で3.00m調査して、平均的な幅は0.20mを測り、覆土は暗褐色土で、断面形は箱形を呈し、深さ0.04mを測る。遺物は出土していない。

K16号溝(第241図)

K3段切の短冊区画の西辺で検出され、5J-33グリッドに位置する。K8号溝と並行に直線的に検出され、西側及び南側は調査区外に延びる。全体で4.40m調査して、平均的な幅は0.30mを測る。覆土は暗褐色土で、断面形は箱形を呈し、深さ0.25mを測る。遺物は出土していない。

K17号溝(第245図)

K3段切の短冊区画の東辺南側で検出され、5K-33グリッドに位置する。K8号溝と並行に直線的に検出され、北側は立ち上がり、南側は調査区外に延びる。全体で6.40m調査して、平均的な幅は0.22mを測る。覆土は暗褐色土で、断面形は皿状を呈し、深さ0.45mを測る。遺物は出土していない。

K18号溝(第245図)

K3段切の短冊区画の東辺南側で検出され、5K-33グリッドに位置する。K8号溝と並行に直線的に検出され、北側は二股に分かれ(a溝、b溝)立ち上がり、南側は谷に接続する。全体で9.90m調査して、平均的な幅は0.90mを測る。覆土は暗褐色土で、断面形は皿状を呈し、深さ0.10mを測る。最も深い地点で0.55mを測る。遺物は、溝の南半分で腰が集中して堆積する箇所がある。遺物は瀬戸・美濃系陶器皿片1点(10g)が出土している。

K19号溝(第245図)

K18号溝の南半分で断面F-F'で上面で確認される。5K-33グリッドに位置する。K18号溝と並行で、全体で0.50m確認され、平均的な幅は0.52mを測る。覆土は暗褐色土で、断面形は皿状を呈し、深さ0.30mを測る。遺物は10点(1230g)出土しており、その内訳は瀬戸・美濃系陶器鉢2点(139g)、肥前系磁器碗3点(265g)、京・信楽系陶器碗1点(31g)、堺・明石系土器鉢4点(795g)である。

K19号溝出土遺物(第250図、第21表、図版47)

k86・k87は肥前系の磁器碗、k88は京・信楽系の陶器碗、k89は堺・明石系の土器鉢である。

K20号溝(第245図)

K18号溝の真ん中付近で上面で確認され、5K-33グリッドに位置する。K18号溝と直交して、全体で1.50m確認され、平均的な幅は0.36mを測る。覆土は暗褐色土で、断面形は皿状を呈し、深さ0.06mを測る。

遺物は出土していない。

K21号溝 (第241・244図)

K5段切の北側で接続して検出され、5 J・K-33 グリッドに位置する。北側は立ち上がり、K5段切となる。全体で3.40 m調査して、平均的な幅は1.30 mを測る。覆土は暗褐色土で、断面形は皿状を呈し、深さ0.12 mを測る。遺物は肥前系磁器碗1点 (8g) が出土している。

(3) 地下式坑

K1号地下式坑 (第248図)

ピア15 (下り) 区北東隅から検出された。5 J-35 グリッドに位置する。くの字状に屈曲する崖線の西側を利用して、横基を掘削している。今回の調査範囲では入り口部分のK1号地下式坑の正面に位置し、K1・3号溝が正面に位置する。ややカーブして検出され、北側は調査区外に延び、南側はK3段切に切られる。長軸9.00 m、短軸 (奥行) (3.30) m、深さ3.26 mを測る。覆土はロームと黒色土の混土層で、入り口付近では天井の崩落土はわずかに観察されるにすぎない。入り口部分の断面形は箱形を呈し、入口両側に一對のピットが検出された。共に平面は長方形、断面は箱形を呈し、南側の1ピットは長軸1.25 m、短軸0.75 m、深さ0.58 mを測り、北側の2ピットは長軸1.00 m、短軸0.60 m、深さ0.30 mを測る。出土遺物は瀬戸・美濃系陶器碗1点 (2g)・陶器皿6点 (164g)・陶器鉢8点 (205g)・陶器甕1点 (113g)・器台1点 (12g)・磁器碗12点 (124g)・磁器皿2点 (120g)・磁器鉢3点 (219g)・陶器瓶1点 (1g)・器種不明磁器1点 (2g)、肥前系陶器皿2点 (11g)・磁器碗19点 (102g)・磁器鉢1点 (12g)・磁器瓶1点 (18g)、京・信楽系陶器乗燭1点 (87g)、堺・明石系拓器鉢1点 (66g)、丹波系拓器鉢1点 (88g)・拓器壺1点 (50g)、常滑系拓器鉢2点 (16g)、在地系土器鉢1点 (29g)・器種不明土器1点 (31g)、産地不明陶器甕1点 (3 g)・陶器蓋2点 (17g)、産地および器種不明陶器1点 (2g)、煙管4点 (49g)、鉄刀子1点 (20g)、鉄滓1点 (102g)、瓦54点 (3,162g) である。

K1号地下式坑出土遺物 (第250図、第21・23・25表、図版49・52)

k90・k91・k92・k93は銅製品で煙管、k94は鉄製品の刀子、k95は平瓦、k96は棧瓦、k97は道具瓦礫瓦である。

(4) 土坑

K1号土坑 (第251図)

ピア15 (下り) 区北東、5 L-35 グリッドに位置する。北側は調査区街に続き、平面は不整形形を呈す。主軸はN-15° -Wを指す。長軸 (4.15) m、短軸5.26 m、深さ0.42 mを測り、断面は皿状を呈し、暗黄褐色土が覆土となる。遺物は瀬戸・美濃系陶器鉢片1点 (77g) が出土している。

K2号土坑 (第251図)

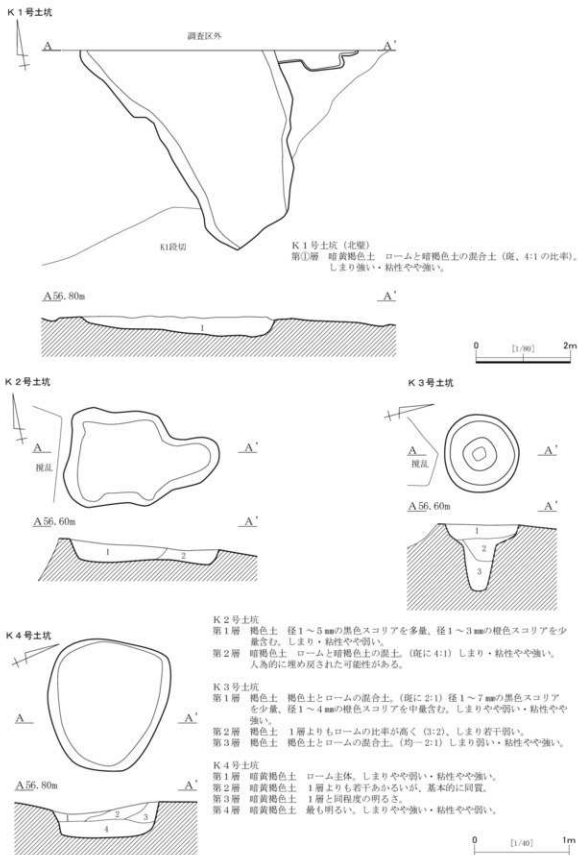
ピア15 (下り) 区北東、5 L-35 グリッドに位置する。平面はいびつな不整形形を呈す。主軸はN-10° -Eを指す。長軸1.63 m、短軸0.96 m、深さ0.25 mを測り、断面は皿状を呈し、褐色土が覆土となる。遺物は出土していない。

K3号土坑 (第251図)

調査区北東、5 L-35 グリッドに位置する。平面は円形を呈す。長軸0.85 m、短軸0.80 m、深さ0.70 mを測り、断面はU字状を呈し、褐色土が堆積し、中央が一段深くなる。遺物は出土していない。

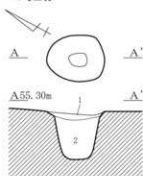
K4号土坑 (第251図)

ピア15 (下り) 区北西、5 J・K-35 グリッドに位置する。平面は楕円形を呈す。長軸1.38 m、短軸1.24



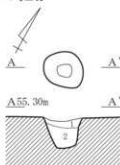
第251図 K1～4号土坑 [1/80・1/40]

K5号土坑



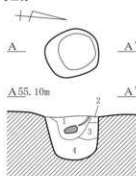
K5号土坑
第1層 黄褐色土 ローム土主体、一部
灰色又は、赤褐色を呈する。し
まり強い・粘性なし。
第2層 明褐色土 ロームブロック多量
含む。しまり弱い・粘性なし。

K6号土坑



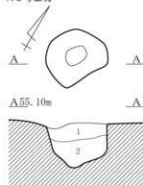
K6号土坑
第1層 黄褐色土 ローム土主体、褐
色土及び、暗褐色土を少量含
む。しまりやや強い・粘性弱い。
第2層 黄褐色土 ロームブロック等
から成る。しまり弱い・粘性
なし。

K7号土坑



K7号土坑
第1層 暗褐色土 宝永火山灰を含み、やや
砂質。ローム土を少量含む。しまり・
粘性なし。
第2層 明褐色土 ローム土主体。しまりや
や強い・粘性なし。
第3層 暗褐色砂質土 宝永火山灰を含み砂
質。ローム粒を少量含む。しまり・
粘性なし。
第4層 黄褐色土 ローム土主体。しまり・
粘性やや弱い。

K8号土坑



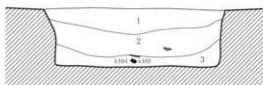
K8号土坑
第1層 暗褐色土 宝永火山灰
を含み、やや砂質。ローム
土を中量含む。しまり
やや強い・粘性弱い。
第2層 暗褐色土 宝永火山灰
を含み、やや砂質。ローム
ブロックを中量含む。
しまり弱い・粘性なし。

K9号土坑

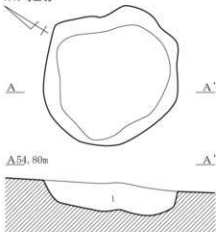


K9号土坑

K9号土坑
第1層 褐色砂質土 宝永火山灰を含み砂質。ロームブロックを少量
含む。しまりやや強い・粘性なし。
第2層 褐色砂質土 1層と同様の土ではあるがやや灰色味あり。し
まり・粘性なし。
第3層 灰褐色砂質土 宝永火山灰を含砂質。ローム土を少量含む。
しまり・粘性なし。

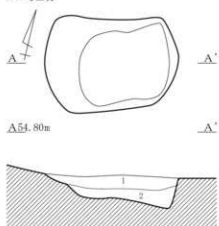


K10号土坑

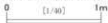


K10号土坑
第1層 暗褐色土 V層が主体。褐色土ブロックと
ローム土ブロックを少量含む。しまりやや弱
い・粘性やや強い。

K11号土坑

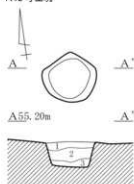


K11号土坑
第1層 灰褐色土 ローム粒を中量、炭化物を微量含む。しまり強
い・粘性強い。
第2層 灰褐色土 ローム粒を少量含む。しまり弱い・粘性やや弱
い。



第252図 K5～11号土坑 [1/40]

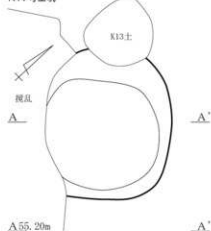
K12号土坑



K12号土坑

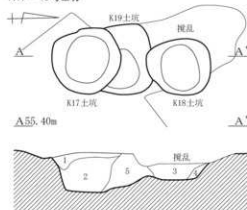
第1層 褐色土 ローム土やや中量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。
第2層 褐色土 ローム土を少量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。
第3層 黄灰褐色土 粘質土のローム土。しまり弱い・粘性強い。

K14号土坑



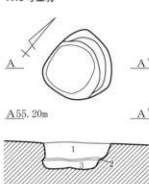
A55, 20m

K17～19号土坑



A55, 40m

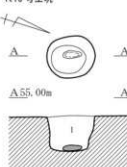
K13号土坑



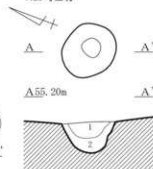
K13号土坑

第1層 暗褐色土 ローム粒を少量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。
第2層 灰褐色土 層厚0.5～1cmの砂層。
第3層 暗褐色土 径30mmのロームブロックを多量含む。しまり強い・粘性弱い。

K16号土坑



K20号土坑



A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

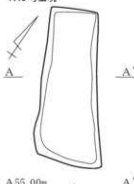
A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

A55, 20m

K15号土坑



K15号土坑

第1層 暗褐色土 ローム土を少量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。

K14号土坑

第1層 褐色土 径30mmのロームブロックと褐色土の混合土。しまり強い・粘性あり。

K16号土坑

第1層 褐色土 ローム土及びロームブロックを中量含む。しまりやや強い・粘性やや弱い。

K20号土坑

第1層 黄褐色土 ローム土が主体。ロームブロック少量、褐色土を少量含む。しまり・粘性やや強い。
第2層 褐色土 ローム土が主体。灰褐色土、ロームブロック少量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。

K21号土坑

第1層 暗褐色土 やや赤味あり。ローム土がベースで褐色土を中量、径3mmの赤褐色スコリアを中量含む。しまりやや強い・粘性やや強い。

K21号土坑

第2層 黄褐色土 ローム土が主体。褐色土を少量含む。しまり弱い・粘性やや強い。

K21号土坑

第1層 黄褐色土 ローム土主体。しまり強い・粘性弱い。K17号土坑。
第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、ローム土・ロームブロックを中量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。K17号土坑。
第3層 褐色土 ローム土及び明褐色土を中量含む。しまり・粘性やや強い。K18号土坑。
第4層 明褐色土 ローム土が主体。しまりやや強い。K18号土坑。
第5層 明褐色土 褐色土と黄褐色ローム土の混合土。ロームブロックを多量含む。しまり強い。K19号土坑。

K21号土坑

第1層 黄褐色土 ローム土主体。しまり強い・粘性弱い。K17号土坑。
第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、ローム土・ロームブロックを中量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。K17号土坑。
第3層 褐色土 ローム土及び明褐色土を中量含む。しまり・粘性やや強い。K18号土坑。
第4層 明褐色土 ローム土が主体。しまりやや強い。K18号土坑。
第5層 明褐色土 褐色土と黄褐色ローム土の混合土。ロームブロックを多量含む。しまり強い。K19号土坑。

K21号土坑

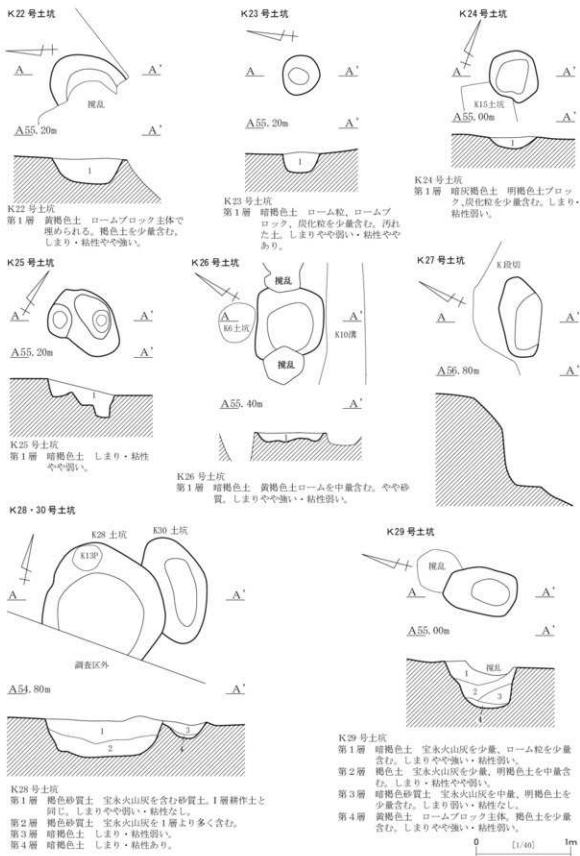
第1層 黄褐色土 ローム土主体。しまり強い・粘性弱い。K17号土坑。
第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、ローム土・ロームブロックを中量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。K17号土坑。
第3層 褐色土 ローム土及び明褐色土を中量含む。しまり・粘性やや強い。K18号土坑。
第4層 明褐色土 ローム土が主体。しまりやや強い。K18号土坑。
第5層 明褐色土 褐色土と黄褐色ローム土の混合土。ロームブロックを多量含む。しまり強い。K19号土坑。

K21号土坑

第1層 黄褐色土 ローム土主体。しまり強い・粘性弱い。K17号土坑。
第2層 暗褐色土 径3～5mmの黒色スコリアを少量、ローム土・ロームブロックを中量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。K17号土坑。
第3層 褐色土 ローム土及び明褐色土を中量含む。しまり・粘性やや強い。K18号土坑。
第4層 明褐色土 ローム土が主体。しまりやや強い。K18号土坑。
第5層 明褐色土 褐色土と黄褐色ローム土の混合土。ロームブロックを多量含む。しまり強い。K19号土坑。

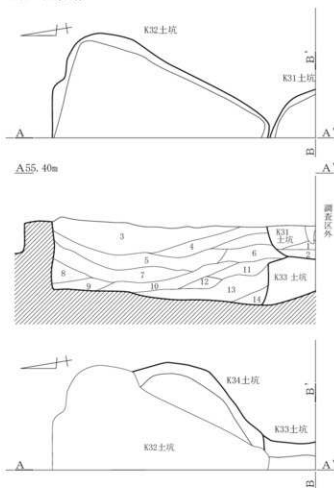
K21号土坑

第253図 K12～21号土坑 [1/40]



第254図 K22～30号土坑 [1/40]

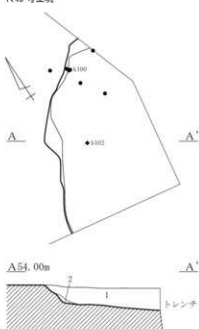
K31～34号土坑



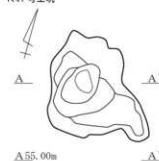
K41号土坑

- 第1層 褐色土 崩れたローム土主体。しまり強い。
 第2層 褐色土 褐色土と黄褐色土ロームブロックの
 混土層。しまり良好。
 第3層 暗褐色土 径50～100mmの黄褐色ロームブ
 ロックを含む。しまり良好・粘性弱い。
 第4層 明褐色土 ローム土が主体。しまり良好。
 第5層 暗褐色土 しまり良好。
 第6層 暗褐色土 しまり良好。
 第7層 明褐色土 ロームブロックを少量含む。しま
 り良好。
 第8層 暗褐色土 混入物少ない。しまり良好。
 第9層 明褐色土 ローム土を少量含む。しまりや強い・粘性なし。
 第10層 黄褐色土 ロームブロックを多量含む。しま
 り良好・粘性なし。
 第11層 褐色土 しまり良好・粘性やや弱い。
 第12層 暗褐色土 しまり良好・粘性なし。
 第13層 明褐色土 しまり良好・粘性やや強い。
 第14層 明褐色土 しまり良好・粘性やや強い。

K43号土坑



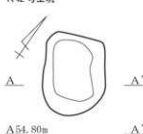
K41号土坑



K41号土坑

- 第1層 暗褐色土 径10～20mmの黄
 褐色土ロームブロック。ロ
 ム土を少量含む。しまり・粘
 性やや弱い。

K42号土坑



K42号土坑

- 第1層 明褐色土 褐色土ベースで径10
 ～30mmの褐色土ブロックを中量。
 明褐色土を少量含む。しまりや
 や強い・粘性やや弱い。
 第2層 暗灰褐色粘質土 明褐色土及び
 黄褐色土ロームブロックを少量含
 む。しまりやや弱い・粘性やや
 強い。

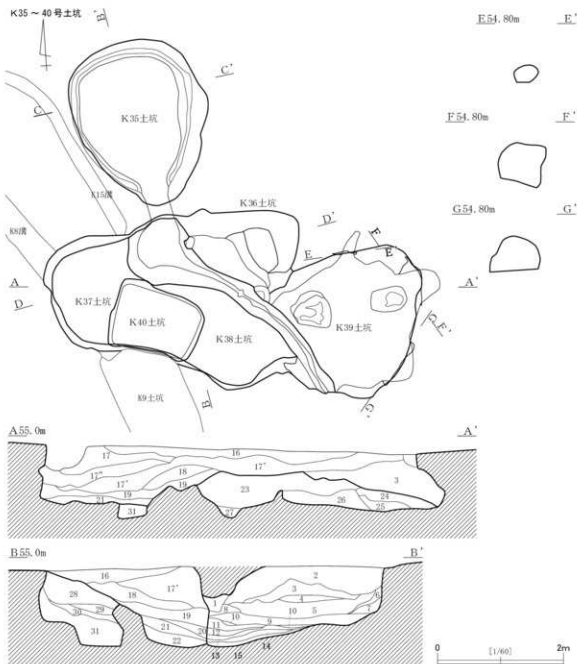
K43号土坑

- 第1層 暗青灰色土 黄灰褐色土、黒色スコリア
 を少量含む。やや砂質の土。しまり・粘
 性やや弱い。
 第2層 暗青灰色土 黒色スコリアを少量含む。
 やや砂質の土。しまり・粘性やや弱い。

0 [1/40] 1m

0 [1/80] 2m

第255図 K31～34・41～43号土坑 [1/40・1/80]



K35号土坑

- 第1層 明褐色土 崩れたローム土主体。しまり強い。
 第2層 暗褐色土と黄褐色土ロームブロックの混在層。径50～100mmのロームブロックを多量、暗褐色土を少量含む。しまりやや弱い。
 第3層 暗褐色土 径50～100mmの黄褐色土ロームブロックを中量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。
 第4層 明褐色土 崩れたローム土主体。暗褐色土を少量含む。しまりやや弱い・粘性弱い。
 第5層 明褐色土 崩れたローム土主体。径50～100mmの黄褐色土ロームブロックを中量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。
 第6層 暗褐色土 崩れたローム土を中量含む。しまりなし・粘性やや弱い。
 第7層 明褐色土 崩れたローム土主体。明褐色土ロームブロックを少量含む。しまり弱い・粘性やや強い。
 第8層 暗褐色土 崩れたローム土主体。しまり・粘性弱い。
 第9層 明褐色土 崩れたローム土主体。赤褐色スコリア質ローム土が主であり、全体に赤味を帯びる。黄褐色土ロームブロック少量含む。しまりやや強い、粘性なし。
 第10層 暗赤褐色土 径3～5mmの暗赤褐色スコリアを多量含む。しまり弱い・粘性なし。
 第11層 明褐色土 崩れたローム土主体。黄褐色土ロームブロックを少量含む。しまり弱い・粘性やや弱い。
 第12層 暗褐色土 崩れたローム土主体。径3mmの暗赤褐色土スコリアを少量含む。しまりやや強い・粘性なし。
 第13層 明褐色土 明褐色粘質土と灰褐色粘質土を少量含む。しまり弱い・粘性やや強い。
 第14層 暗褐色土 崩れたローム土主体。径3mmの暗赤褐色スコリアを多量、明褐色土を少量含む。しまり弱い・粘性やや弱い。
 第15層 黄褐色土 黄褐色土ローム土が主体。灰褐色粘質土を中量含む。しまりやや弱い・粘性やや強い。

第256図 K35～40号土坑 (1) [1/60]